

公益財団法人 豊郷病院 年報

vol.20

2020

(令和2年度版)



公益財団法人 豊郷病院

年報発刊によせて コロナ禍を乗り越えて改革を進める

公益財団法人 豊郷病院
業務執行理事 病院長

横 田 徹



いよいよ、オリンピックが始まりました。新型コロナウイルスで世界全体が疲弊し、東京、沖縄に加えて大阪、神奈川、埼玉、千葉が非常事態宣言下という、今までに経験したことのない状況のなか、数々の困難を乗り越えての開催です。是非とも成功してほしいと願います。

2019年に始まったコロナ禍は、当院にとっても大きな試練でした。診療体制の制限、職員の自宅待機や休業要請、入退院の制限など、病院運営は困難を極めました。昨年度は、病院運営に国や豊郷町から貴重な補助金をいただきました。また、当初より感染対策を講じ、行政と協力しながら感染防御の徹底を図りましたが、病棟でクラスターが発生する結果になりました。クラスター発生時には、彦根保健所をはじめ滋賀県のコロナチームの方々のご支援を頂き、無事終息させることが出来たのは大変有り難いことでした。その節は、患者様やご家族様、関連の医療施設の方々に、多大なご負担をお掛けしました。改めてお詫び申し上げるとともに、皆さまのご協力に対し心より感謝を申し上げます。また法人運営にご尽力下さった皆さまにも厚く御礼申し上げます。

一方この一年は、コロナ禍がもたらす悪いことばかりがあったわけではありません。コロナ感染対策のための多くのアイデアと感染防御対策が大きくすすみ、コロナ以外の感染症は激減しました。こうした緊急事態のなか、前向きに、職員が助けあい、職責を全うしてくれたことにも頼もしさを感じました。人の移動や物流が大きく変わり、テレワークが一気に進んだ今日、医療界でも働き方改革や地域医療構想、医師遍在対策といった対応すべき問題が山積みです。こうしたなか、当院がこの地域の基幹病院として、近隣の施設と連携しながら、変化する年齢・疾病構造に対応した、適切な診療体制の構築・改革を進めていかねばなりません。ひき続き、ご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2021（令和3年）8月

目 次

年報発刊によせて…………… 業務執行理事・病院長 横田 徹

公益財団法人 豊郷病院 基本理念

□ 法人の部

1 法人沿革……………	1
2 法人概要……………	3
3 施設認定・施設指定……………	4
4 施設基準……………	5
5 法人組織図……………	7
6 病院組織図……………	8
7 病院会議・委員会組織図……………	9
8 介護施設組織図……………	10
9 病院概要図……………	11
10 法人役員名簿……………	12
11 法人管理者組織名簿……………	13
12 法人部門別職員数……………	14
13 活動内容……………	15
14 公益財団法人 豊郷病院長期事業計画・中期計画……………	17
15 2021年度 経営方針……………	19
16 地域交流 TQM 活動……………	20
17 人権教育研修……………	21

I 医療事業の部

〈診療部門〉 医師理念

1 診療部事業経過……………	23
2 各科の事業・業績報告……………	24
循環器内科……………	24
呼吸器内科・呼吸器外科……………	24
消化器内科……………	25
内科（糖尿病）……………	26
外科・消化器外科……………	26
泌尿器科……………	27
整形外科……………	27
脳神経外科……………	28
眼 科……………	29
耳鼻咽喉科……………	30
小児科……………	30
皮膚科……………	31
婦人科……………	31
脳神経内科……………	31
精神科……………	32
歯科口腔外科……………	33
麻酔科……………	33
リハビリテーション科……………	34
放射線科……………	36
機能別病棟……………	40
臨床検査科……………	41
医療安全室……………	44
感染管理室……………	45
血液浄化センター……………	46
内視鏡センター……………	46
健診センター……………	47
認知症疾患医療センター……………	47
回復期リハビリテーションセンター……………	48
在宅療養サポートセンター(とよサポ)……………	49
3 愛知・犬上医師連絡会……………	50
4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル……………	50
5 全職員研修会……………	51

6	災害総合避難訓練	52
7	ボランティア活動	53
8	院内（外）地域交流活動	54
9	実習生受入状況	55
10	受賞・表彰関係	57
11	各種委員会報告	58

〈薬剤部門・医療技術部門〉薬剤部理念

1	薬剤部事業報告	71
2	医療技術部事業報告	72
	栄養科	72
	放射線科	73
	臨床検査科	73
	臨床工学科	74

〈看護部門〉看護部理念

1	看護部組織系統図	75
2	看護部運営委員会組織図	76
3	看護サービス提供組織図	77
4	看護部 単位別目標及び評価	78
5	各種委員会	86
6	看護教育委員会事業報告書	90
7	看護院内研究発表会	92

〈地域連携室部門・医療福祉相談室部門〉医療福祉相談室理念

1	地域連携室事業報告	93
2	医療福祉相談室事業報告	97

〈事務部門・診療情報管理室部門・各種統計資料〉事務部理念

1	事務部・診療情報管理室事業報告	101
2	各種統計資料	105

II 介護事業の部 パストラールとよさと きらら・ゆうゆう 経営理念
けやき・らくらく

1	介護事業・各事業所業績	125
2	介護事業・各事業所別事業報告	126
	訪問リハビリテーション・アイルとよさと	126
	訪問看護ステーション・レインボウとよさと・サテライトはたしょう・ひこね	127
	介護老人保健施設・パストラールとよさと	131
	居宅介護支援センター・マックスとよさと・ひこね	135
	彦根市デイサービスセンター きらら	137
	彦根市グループホーム ゆうゆう	140
	彦根市地域包括支援センター きらら	141
	甲良町デイサービスセンター けやき	143
	甲良町グループホーム らくらく	145

III 教育研究事業の部

	公益財団法人 豊郷病院附属准看護学院報告	147
	臨床精神医学研究所報告	148

表紙：豊郷病院第3病棟・初期認知症対応型地域包括ケア病棟
遠望 鈴鹿山脈・湖東平野・新幹線・近江鉄道

基本理念

豊かな郷で心と体の健康を 家族のように

1. 郷土愛と博愛の創立精神に基づき、地域の医療・保健・福祉を支える。
2. 医学の進歩に同調し、わかりやすく信頼される医療を行う。
3. 温もりと心をこめたサービスで、快適な療養環境を築く。
4. 患者さまの権利を尊重し人権をまもる。
5. 職員の労働環境に配慮し、効率よい安定した病院経営を行う。



公益財団法人 豊郷病院



法人の部

2020年度上期は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大で、我が国は「緊急事態宣言」の発出の頃から急激に経済活動が悪化、第1四半期（4－6月）が最悪となり、各業界共対応に苦慮し、下期においても感染防止と社会経済活動の復活がポイントとなった、正に新型コロナウイルス感染症の1年であり、通期GDPは戦後最悪の Δ 4.6%となりました。

法人におきましては、4月の診療報酬改定では Δ 0.46%と厳しいなか、第1四半期（4～6月）が外来・入院共に大幅な患者減となり、最悪の経営状況に見まわれました。また、今年度は中期計画（3年計画）の最終年であり、過去2年は計画通り順調に推移しましたが、最終年の2020年は最悪となりました。一方、コロナ対応の結果、国・県ならびに地元豊郷町の応分の補助金を病院ならびに介護施設で受領しました。

また、医療事業・病院では、11月に地域包括ケア病棟（3－2病棟）でクラスターが発生（患者4人・職員7名、合計11名）し、約30日に亘り苦慮致しました。

一方、介護事業においても新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用控えが起こり収入は横這いなるも、新型コロナ関連の感染対策費増のため低調となりました。

1 法人沿革

大正 14 年(1925)	4 月 27 日	九代目伊藤長兵衛翁(1868～1941)の寄付により、内務大臣の許可を得て、財団法人 豊郷病院設立
15 年(1926)	7 月 6 日	本館竣工 病床 18 床、内科・外科・耳鼻咽喉科・X 線科開設
昭和 9 年(1934)	10 月 5 日	産婦人科新設
昭和 16 年(1941)	11 月 19 日	高松宮殿下 御成
	12 月 10 日	創立者 伊藤長兵衛翁逝去
17 年(1942)	3 月 1 日	眼科新設
27 年(1952)	2 月 20 日	呼吸器科新設 病床 80 床となる
	12 月 1 日	整形外科新設
	12 月 19 日	豊郷村外 11ヶ町村伝染病院組合立の伝染病床併設
28 年(1953)	4 月 1 日	歯科新設
29 年(1954)	1 月 29 日	准看護婦養成所開設
32 年(1957)	4 月 1 日	精神科・神経科新設 許可病床 290 床となる
33 年(1958)	10 月 1 日	総合病院の指定
40 年(1965)	5 月 31 日	診療棟、病舎、鉄筋コンクリート3階建てに改築 許可病床 372 床となる
42 年(1967)	3 月 1 日	救急病院の指定
	8 月 30 日	精神科病棟3階建増築
45 年(1970)	3 月 1 日	医療相談室開設
46 年(1971)	11 月 30 日	病棟、外来診療棟、リハビリ及び管理棟増改築
47 年(1972)	2 月 1 日	血液センター豊郷出張所開設
	11 月 1 日	脳神経外科新設
50 年(1975)	5 月 20 日	豊郷町外7ヶ市町伝染病組合立の伝染病棟改築 15 床
60 年(1985)	11 月 20 日	病院創立 60 周年(60 年史刊行)
62 年(1987)	7 月 1 日	肛門科新設
	7 月 6 日	泌尿器科新設
63 年(1988)	11 月 1 日	財団法人豊郷病院総合近代化工事着工
平成 2 年(1990)	7 月 1 日	一般病棟 30 床増床 総 394 床
3 年(1991)	8 月 1 日	准看護婦養成所から准看護学院に変更
7 年(1995)	6 月 1 日	認知症疾患医療センターならびに認知症外来開設
8 年(1996)	3 月 25 日	第7代理事長 成宮秀男就任
	6 月 1 日	老人保健施設パストラルとよさと開設(法人 70 周年記念事業)
9 年(1997)	12 月 5 日	訪問看護ステーションレインボウとよさと開設
11 年(1999)	4 月 1 日	皮膚科新設
	11 月 1 日	医療相談室から医療福祉相談室に名称変更
	12 月 1 日	訪問看護ステーションレインボウはたしょう開設
12 年(2000)	4 月 1 日	介護保険制度発足
		寄付行為の目的を「医療事業と介護事業」に改定
		同時に各サービス事業開設
		居宅介護支援センターマックスとよさと開設
		ヘルパーステーションピンポンとよさと開設
	7 月 1 日	精神科 デイケア開始
	10 月 1 日	小児科新設
13 年(2001)	5 月 1 日	訪問リハビリテーションアイルとよさと開設

- 14年(2002) 2月12日 彦根市デイサービスセンターきらら、グループホームゆうゆう、在宅介護支援センター開設
10月1日 近代化建築事業・3病棟新館開所
- 15年(2003) 3月10日 甲良町デイサービスセンターけやき、グループホームらくらく開設
4月1日 療養病棟開設 32床
7月1日 総合リハビリセンター開設
8月1日 血液浄化センター開設 18床、地域連携室開設
- 16年(2004) 8月1日 訪問看護ステーション レインボウとよさと サテライトひこね開設
居宅介護支援センター レインボウひこね開設
9月1日 歯科口腔外科新設
12月8日 診療情報管理室設置
- 17年(2005) 11月1日 訪問看護ステーション レインボウひこね開設
12月2日 言語療法室開設
- 18年(2006) 9月25日 日本医療機能評価認定(ver4)
- 20年(2008) 1月1日 医療安全室開設
4月1日 麻酔科開設
8月1日 亜急性期病床開設
- 22年(2010) 4月1日 豊郷病院附属臨床精神医学研究所設立
5月1日 精神療養病棟開設
- 23年(2011) 3月31日 事業目的を「医療事業・介護事業・教育研究事業」に改定
9月25日 日本医療機能評価認定(ver6)
- 24年(2012) 2月10日 訪問看護ステーション レインボウたが開設
4月1日 公益財団法人豊郷病院認可・彦根市地域包括支援センターきらら開設
5月1日 回復期リハビリテーション病棟開所(30床)
7月1日 第8代 代表理事 佐藤公彦就任
- 25年(2013) 10月1日 居宅介護支援センター マックスひこね開設
- 26年(2014) 3月1日 びわこメディカルネットワーク事業参入
9月1日 一般病棟のうち地域包括ケア病棟(51床) 承認開設
11月28日 第9代 代表理事 友吉唯夫就任
- 27年(2015) 12月10日 創立90周年式典・創業者75回忌法要
- 28年(2016) 3月19日 地域交流第1回 TQM 発表会
4月1日 認知症初期集中支援チーム“オレンジファイブ”及び在宅療養サポートセンター“とよサポ”発足
- 29年(2017) 2月25日 地域交流第2回 TQM 発表会
3月3日 日本医療機能評価機構認定3回目(3rdG:ver.1.1.)
5月1日 電子診療録(電子カルテ)導入
- 30年(2018) 5月24日 地域交流第3回 TQM 発表会
6月22日 第10代 代表理事 佐藤公彦就任
- 31年(2019) 3月19日 地域交流第4回 TQM 発表会
- 令和元年(2019) 5月1日 新元号「令和」
7月1日 療養病棟(32床)を地域包括ケア病棟に変更
- 令和2年(2020) 2月20日 地域交流第5回 TQM 発表会
4月7日 日本政府「新型コロナ」緊急事態宣言

2021年7月現在

2 法人概要

〈法人の事業目的〉

1. 医療事業 2. 介護事業 3. 教育研究事業

医療事業

〈病床数〉

一般病棟……………	186 床	(内 一般病床 105 床、地域包括ケア病床 51 床、回復期リハビリテーション病床 30 床)
療養病棟……………	32 床	(地域包括ケア病床・初期認知症対応型)
精神病棟……………	120 床	(精神急性期病床 60 床、療養病床 60 床)
計……………	338 床	

〈診療科目〉	内科・外科・消化器外科・整形外科・消化器内科 呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科 脳神経外科・眼科・泌尿器科 耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科 小児科・婦人科・皮膚科 精神科・心療内科・神経内科	リハビリテーション科・放射線科 血液浄化センター 認知症疾患医療センター オアシス 内視鏡センター 健診センター
--------	---	--

介護事業

〈施設指定・事業所及び利用定員〉

1. 豊郷病院/居宅療養管理指導 …………… 在宅
2. 訪問看護ステーション レインボウとよさと …………… 在宅
3. 訪問看護サテライト レインボウはたしょう …………… 在宅
4. 訪問看護ステーション レインボウひこね …………… 在宅
5. 訪問リハビリテーション アイルとよさと …………… 在宅
6. 介護老人保健施設 パストラールとよさと …………… 入所100床
7. 短期入所療養介護 パストラールとよさと …………… (内 4床)
8. 通所リハビリテーション パストラールとよさと …………… 定員20人/日
9. 彦根市デイサービスセンター きらら …………… 定員40人/日
10. 彦根市グループホーム ゆうゆう …………… 利用者9床
11. 彦根市地域包括支援センター きらら …………… 支援センター (要支援)
12. 甲良町デイサービスセンター けやき …………… 定員25人/日
13. 甲良町グループホーム らくらく …………… 利用者9床
14. 居宅介護支援センター マックスとよさと …………… 支援センター (要介護)
15. 居宅介護支援センター マックスひこね …………… 支援センター (要介護)
16. 認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ …………… 在宅

教育研究事業

准看護学院

臨床精神医学研究所

(2021年7月現在)

3 施設認定・施設指定

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
日本呼吸器科学会認定施設
日本外科学会専門医制度修練施設（関連施設）
日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本静脈経腸栄養学会・NST 稼働認定施設
日本手外科学会手外科専門医制度研修施設
日本認知症学会専門医制度教育施設

施設指定

保険医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関
救急告示病院
精神保護及び精神障害者福祉に関する法律に基づく指定病院
認知症疾患医療センター
指定自立支援医療機関（更生医療）
指定自立支援医療機関（育成医療）
指定自立支援医療機関（精神通院医療）
難病医療費助成指定医療機関
小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関
臨床研修病院（協力型臨床研修病院）

その他

大阪市立大学医学部脳神経外科研修病院
滋賀医科大学学外臨床実習協力病院
滋賀医療技術専門学校実習病院
滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科専門医関連施設

(2021年7月現在)

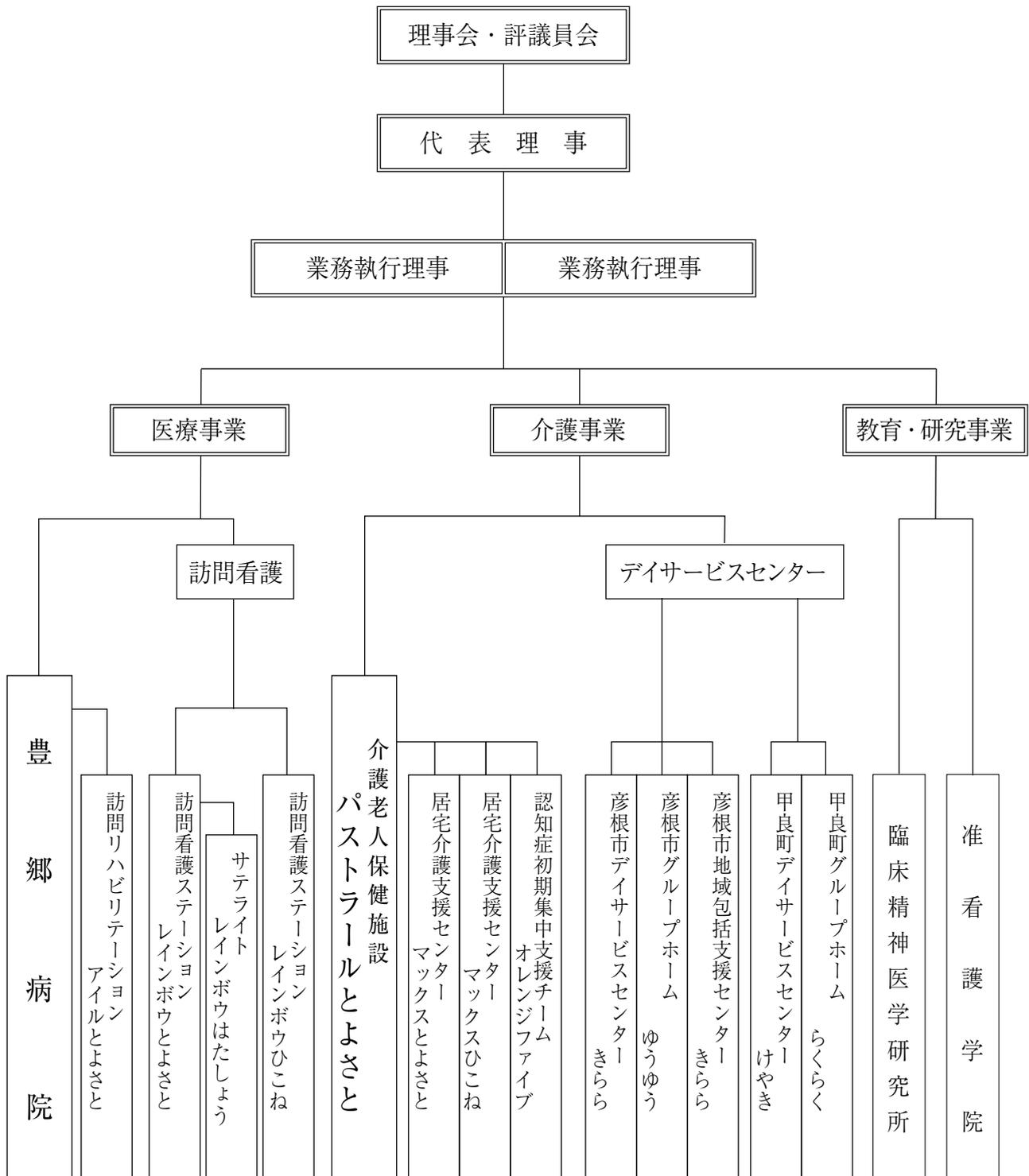
4 施設基準

受理届出名称	受 理 記 号	受 理 番 号	算定開始年月日
初診料（歯科）の注1に掲げる基準	歯 初 診	第 1 5 号	平成 30 年 4 月 1 日
歯科外来診療環境体制加算 1	外 来 環 1	第 2 3 3 号	平成 30 年 5 月 1 日
一般病棟入院基本料	一 般 入 院	第 7 9 5 号	令和 3 年 3 月 1 日
救急医療管理加算	救 急 医 療	第 3 号	令和 2 年 4 月 1 日
診療録管理体制加算 1	診 療 録 1	第 1 号	平成 26 年 4 月 1 日
医師事務作業補助体制加算 1	事 補 1	第 1 0 号	令和 2 年 4 月 1 日
急性期看護補助体制加算	急 性 看 補	第 1 1 号	平成 28 年 4 月 1 日
看護職員夜間配置加算	看 夜 配	第 1 3 号	平成 29 年 9 月 1 日
看護補助加算	看 補	第 7 5 4 号	平成 22 年 5 月 1 日
療養環境加算	療	第 9 3 号	平成 26 年 9 月 1 日
重症者等療養環境特別加算	重	第 7 4 号	平成 14 年 10 月 1 日
精神科身体合併症管理加算	精 合 併 加 算	第 7 号	平成 20 年 4 月 1 日
栄養サポートチーム加算	栄 養 サ 支	第 2 6 号	平成 31 年 1 月 1 日
医療安全対策加算 1	医 療 安 全 1	第 1 7 号	平成 30 年 4 月 1 日
感染防止対策加算 1	感 染 防 止 1	第 5 号	令和元年 5 月 1 日
患者サポート体制充実加算	患 サ ポ	第 1 1 号	平成 24 年 4 月 1 日
精神科救急搬送患者地域連携受入加算	精 救 急 受 入	第 2 号	平成 24 年 6 月 1 日
後発医薬品使用体制加算 1	後 発 使 1	第 2 4 号	平成 30 年 12 月 1 日
データ提出加算	デ ー タ 提	第 2 3 号	平成 31 年 4 月 1 日
入退院支援加算	入 退 支	第 2 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
認知症ケア加算	認 ケ ア	第 3 9 号	平成 31 年 3 月 1 日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	せん 妄 ケ ア	第 2 号	令和 2 年 4 月 1 日
精神疾患診療体制加算	精 疾 診	第 1 号	平成 28 年 4 月 1 日
回復期リハビリテーション病棟入院料 2	回 2	第 1 3 号	令和 2 年 8 月 1 日
地域包括ケア病棟入院料 2 及び地域包括ケア入院医療管理料 2	地 包 ケ ア 2	第 4 号	令和 2 年 10 月 1 日
精神科急性期治療病棟入院料 2	精 急 2	第 2 号	平成 30 年 1 月 1 日
精神療養病棟入院料	精 療	第 2 1 号	平成 26 年 4 月 1 日
入院時食事療養／生活療養（I）	食	第 2 7 8 号	平成 2 年 7 月 1 日
歯科疾患管理料の注 11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	医 管	第 6 5 号	平成 28 年 11 月 1 日
糖尿病合併症管理料	糖 管	第 3 0 号	平成 25 年 11 月 1 日
がん性疼痛緩和指導管理料	が ん 疼	第 8 5 号	平成 29 年 8 月 1 日
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算	救 搬 看 体	第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
ニコチン依存症管理料	ニ コ	第 2 4 8 号	令和 2 年 7 月 1 日

がん治療連携指導料	が ん 指	第 450 号	平成 28 年 6 月 1 日
薬剤管理指導料	薬	第 22 号	平成 22 年 5 月 1 日
医療機器安全管理料 1	機 安 1	第 4 号	平成 20 年 4 月 1 日
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に掲げる遠隔 モニタリング加算	遠 隔 持 陽	第 39 号	令和 3 年 1 月 1 日
持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動 する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グ ルコース測定	持 血 測 1	第 8 号	平成 27 年 9 月 1 日
検体検査管理加算（Ⅰ）	検 Ⅰ	第 53 号	平成 20 年 4 月 1 日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	歩 行	第 15 号	平成 25 年 3 月 1 日
コンタクトレンズ検査料 1	コ ン 1	第 140 号	平成 28 年 4 月 1 日
小児食物アレルギー負荷検査	小 検	第 21 号	平成 23 年 5 月 1 日
C T 撮影及びMR I 撮影	C ・ M	第 109 号	平成 27 年 4 月 1 日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	抗 悪 処 方	第 10 号	平成 22 年 4 月 1 日
外来化学療法加算 1	外 化 1	第 40 号	平成 24 年 9 月 1 日
連携充実加算	外 化 連	第 12 号	令和 2 年 10 月 1 日
無菌製剤処理料	菌	第 31 号	平成 20 年 4 月 1 日
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	脳 Ⅰ	第 28 号	平成 24 年 4 月 1 日
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	運 Ⅰ	第 26 号	平成 24 年 4 月 1 日
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	呼 Ⅰ	第 9 号	平成 24 年 4 月 1 日
がん患者リハビリテーション料	が ん リ ハ	第 22 号	平成 29 年 8 月 1 日
精神科作業療法	精	第 8 号	平成 13 年 8 月 1 日
認知療法・認知行動療法 1	認 1	第 9 号	令和 2 年 10 月 1 日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失 調症治療指導管理料に限る。）	抗 治 療	第 6 号	平成 29 年 8 月 1 日
人工腎臓	人 工 腎 臓	第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
導入期加算 1	導 入 1	第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	透 析 水	第 23 号	平成 25 年 12 月 1 日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	肢 梢	第 16 号	平成 28 年 4 月 1 日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	脊 刺	第 3 号	平成 13 年 12 月 1 日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	ペ	第 26 号	平成 10 年 5 月 1 日
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	腎	第 27 号	平成 26 年 11 月 1 日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる 手術	胃 瘻 造	第 8 号	平成 26 年 4 月 1 日
クラウン・ブリッジ維持管理料	補 管	第 491 号	平成 12 年 4 月 1 日
酸素の購入単価	酸 単	第 4506 号	令和 3 年 4 月 1 日

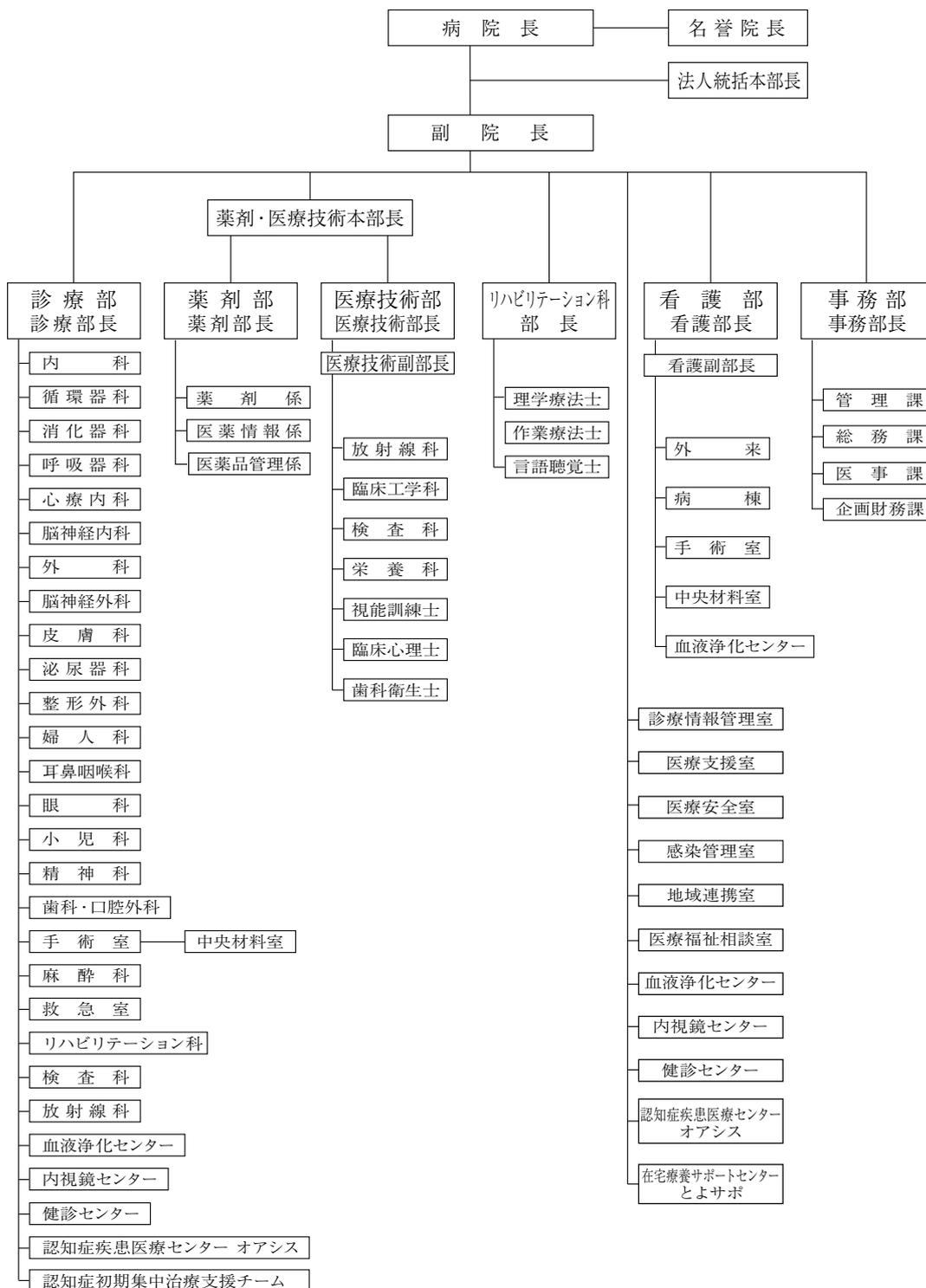
(2021 年 7 月現在)

5 法人組織図



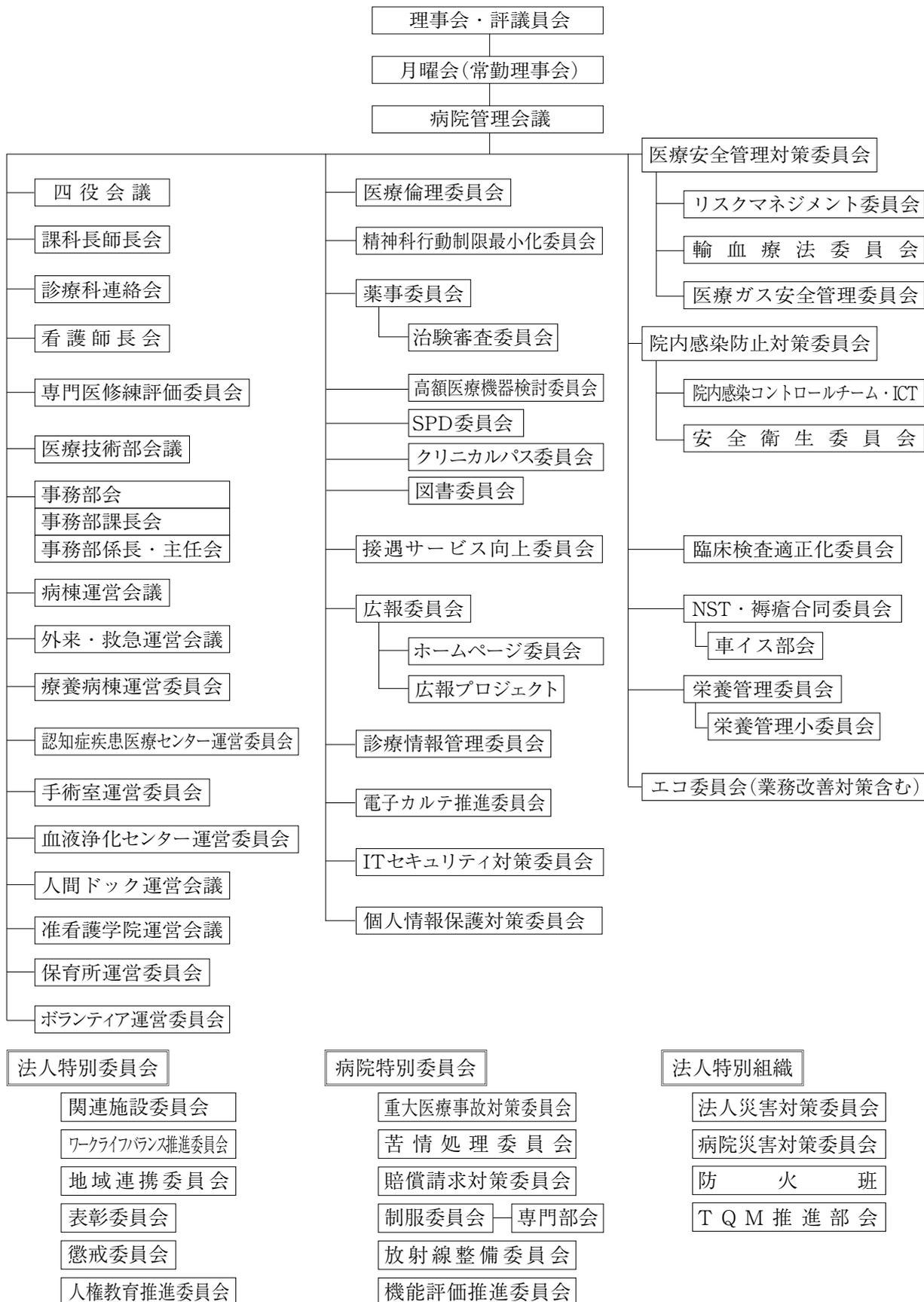
(2021年7月現在)

6 病院組織図



(2021年7月現在)

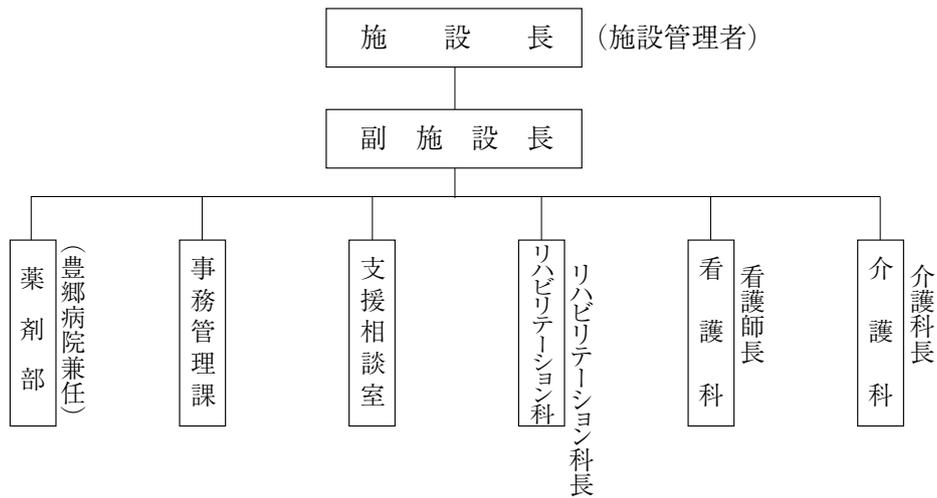
7 病院会議・委員会組織図



(2021年7月現在)

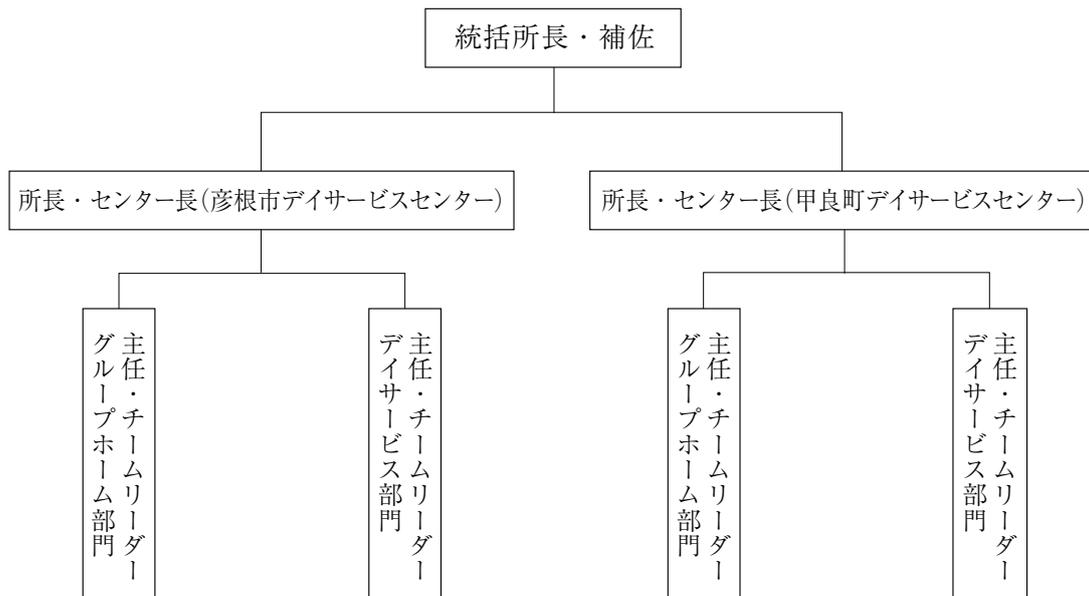
8 介護施設組織図

介護老人保健施設 パストラルとよさと 組織図



デイサービスセンター 組織図

彦根市デイサービスセンター	きらら	甲良町デイサービスセンター	けやき
彦根市グループホーム	ゆうゆう	甲良町グループホーム	らくらく



(2021年7月現在)

10 法人役員名簿

	役員名	氏名	現職
理事	代表理事	佐藤 公彦	名誉院長
	業務執行理事	横田 徹	病院長
	業務執行理事	種村 榮二	法人統括本部長
	理事	松末 吉隆	
	理事	上本 伸二	滋賀医科大学学長
	理事	林 拓二	顧問・臨床精神医学研究所所長・ 准看護学院長
	理事	川村 喜三郎	薬剤・医療技術本部長
	理事	川村 宏	事務部長
評議員	評議員	世一 市郎	
	評議員	若林 直之	
	評議員	若山 喜久穂	
	評議員	若林 保幸	
監事	監事	山本 洋昭	
	監事	西山 憲和	
	監事	藤田 敦	顧問税理士
	監事	伊藤 豊	

(2021年7月現在)

11 法人管理者組織名簿

部 署	役 職	氏 名
	代表理事・名誉院長	佐藤 公彦
	院長	横田 徹
	顧問	林 拓二
	法人統括本部長	種村 榮二
	病院長特別補佐・副院長	曾我 弘樹
	副院長	成田 実
	副院長	土井 久和
診 療 部	診療部長	曾我 弘樹
		(非常勤医師)
健 診 セ ン タ ー	副院長(消化器内科)	土井 久和
	部長(糖尿病内科)	高木 敬文
	部長(循環器内科)	富田 行則
	部長(循環器内科)	川島 明代志
	医長(消化器内科)	門元 優
呼 吸 器 科	代表理事・名誉院長	佐藤 公彦
	内科系統括部長・部長	伊部 邦宏
	部長	坂下 拓人
外 科	院長	横田 徹
	副院長	井内 武和
泌 尿 器 科	病院長特別補佐・副院長	曾我 弘樹
	部長	鄭 裕午
皮 膚 科		(非常勤医師)
脳 神 経 外 科	部長	木築 裕彦
整 形 外 科	部長	富田 真梨子
眼 科	部長	富田 靖之
	医員	岡本 庄一郎
婦 人 科		(非常勤医師)
耳 鼻 咽 喉 科	部長	大道 千奈津
小 児 科	部長	三村 由卯
精 神 科	顧問	林 拓二
	副院長	成田 実
	部長	阪上 悌司
	部長	中江 尊保
	部長	堀川 健志
医長	岡村 恭子	
歯 科 口 腔 外 科	医長	藤居 孝文
放 射 線 科	医長	土井 久和
検 査 科	医長	高木 敬文
手 術 室	室長	井内 武和
診 療 情 報 管 理 室	室長	横田 徹
リハビリテーション科	医長	富田 真梨子
内 視 鏡 セ ン タ ー	センター長	門元 優
血 液 浄 化 セ ン タ ー	センター長	曾我 弘樹
認知症疾患医療センター	センター長	成田 実
臨床精神医学研究所	所長	林 拓二
救 急 室	室長	高木 敬文
医 療 安 全 室	室長・医療安全管理担当医	井内 武和
	医療安全担当医	土井 久和
感 染 管 理 室	室長	伊部 邦宏
地 域 包 括 ケ ア 病 棟 (3-2)	医長	富田 行則
一 般 病 棟 (3-3)	医長	井内 武和
一 般 病 棟 (3-4)	医長	伊部 邦宏
療 養 病 棟 (1-3)	医長	成田 実
精 神 科 病 棟 (3-5)	医長	阪上 悌司
精 神 科 病 棟 (3-6)	医長	岡村 恭子
回復期リハビリテーション病棟(5-2)	センター長	木築 裕彦
薬 剤 ・ 医 療 技 術 部	薬剤・医療技術本部長	川村 喜三郎
薬 剤 部	部長	岡田 尚也
	科長	中村 薫
医 療 技 術 部	部長・臨床工学科技士長	福本 喜之
	副部長・放射線科技師長	川俣 佳彦
	栄養科科長	篠原 ひづき
	検査科担当科長	福本 喜之

部 署	役 職	氏 名
リハビリテーション科	部長	吉田 環
	顧問	片山 美穂
	看護部長	西村 美穂
	看護副部長5病棟2階師長	外川 栄子
	看護副部長兼3病棟2階師長	加藤 郁
	在宅療養サポートセンター長	古川 みどり
	在宅療養サポートセンター師長	堀尾 素子
	外来師長	田中 和子
	3病棟3階師長	野田 静
	3病棟4階師長	猪田 縁
	3病棟5階師長	古田 成年
	3病棟6階師長	木村 千江
	1病棟3階師長	川口 恵子
	手術室師長	大辻 和代
血液浄化センター	銚立 優作	
医 療 安 全 室	師長	田畑 靖代
感 染 管 理 室	師長	竹内 淑江
医 療 福 祉 相 談 室	室長	上野 志保
地 域 連 携 室	室長	上野 志保
診 療 情 報 管 理 室	担当課長	山本 保
医 療 支 援 室	担当課長	山本 保
事 務 部	部長	川村 宏
	管理課長	宇野 玲子
	医事課長	岡村 昌彦
	企画財務課長	山本 保
	総務課長	岩佐 武
准 看 護 学 院	学院長	林 拓二
	教務主任	川合 小百合
訪問看護ステーション		
訪問看護ステーション	統括所長	山田 里美
レインボウとよさと	所長	西川 くるみ
レインボウひこね	所長	山田 里美
介護老人保健施設 バストラールとよさと		
	施設長	奥田 和美
	副施設長	菅原 幸一
	介護科長	山口 康子
	リハビリ科科長・副技師長	南部 美和
	師長	井上 尚子
介護事業・医療事業・相談室		
	統括所長	菅原 幸一
	統括所長補佐	山口 康子
居宅介護支援センター	マックスとよさと・マックスひこね	
	統括所長	高橋 ひとみ
居宅介護支援センター	マックスとよさと	
	所長	高田 奈緒
居宅介護支援センター	マックスひこね	
	所長	西野 祐生
彦根市デイサービスセンターさらら		
	所長	土川 裕人
グループホームゆうゆう		
	所長	小島 由香里
彦根市地域包括支援センターさらら		
	センター長	高橋 ひとみ
甲良町デイサービスセンター		
	センター長	山口 康子
デイサービスセンター けやき		
	所長	林 和弥
グループホームらくらく		
	所長	米谷 利子
認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ		
	リーダー	菅原 幸一

(2021年7月現在)

12 法人部門別職員数

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
医療事業				
医局	医師	24	70	94
	歯科医師	1	2	3
薬剤部	薬剤師	8		8
	薬剤部事務		2	2
看護部	看護師	147	28	175
	准看護師	33	11	44
	ケアワーカー	50	7	57
眼科	視能訓練士	2		2
	助手		1	1
歯科	歯科衛生士	3		3
	助手		1	1
精神科	公認心理士	1	1	2
	臨床心理士		1	1
放射線科	放射線技師	7		7
リハビリテーション科	理学療法士	17		17
	作業療法士	16		16
	言語聴覚士	2		2
	助手	1	1	2
検査科	臨床検査技師	2	1	3
臨床工学科	臨床工学技士	5		5
栄養科	管理栄養士	4		4
医療福祉相談室	ソーシャルワーカー	7	1	8
	(うち精神保健福祉士)	(5)		(5)
事務部	事務員	34	5	39
	寮母	1		1
	営繕(工務)	3		3
	運転手		1	1
訪問看護ステーション				
レインボウ とよさと	看護師	4	2	6
	作業療法士	1	1	2
	事務員	1		1
サテライト レインボウはたしょう	看護師	4	3	7
	事務員		1	1
レインボウひこね	看護師	6	3	9
	作業療法士	1		1
	事務員	1		1
計		386	143	529

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
介護事業				
介護老人保健施設バストラール とよさと				
	医師	1		1
	看護師	6	2	8
	准看護師	2	2	4
	介護福祉士	33		33
	介護士	8	6	14
	管理栄養士	2		2
	相談員	4		4
	理学療法士	3		3
	作業療法士	2	1	3
事務員 他	5	6	11	
居宅介護支援センター マックスとよさと				
	介護支援専門員 他	3		3
居宅介護支援センター マックスひこね				
	介護支援専門員 他	3		3
彦根市デイサービスセンター きらら				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	11	8	19
彦根市グループホーム ゆうゆう				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	6	1	7
彦根市地域包括支援センター				
	センター長	1		1
	介護支援専門員 他	4		4
甲良町デイサービスセンター けやき				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	4	9	13
甲良町グループホーム らくらく				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	4	5	9
計		106	40	146

総職員数：675名

(2021年7月現在)

13 活動内容

〈病院関係〉

- 2020年 4月 1日 入職式
 1～3日 新規採用者オリエンテーション
 2日 病棟の面会禁止
 7日 国の緊急事態宣言
 9日 准看護学院入学式
 27日 互助会献血
 30日 感染対策の今後について
 議題 感染症入院受入に伴う診療体制
- 5月 1日 新型コロナ感染症対策会議
 11日 オンライン面会実施
 25日 国の緊急事態宣言解除
 26～28日 職員健康診断（対象者のみ）
 27日 団体交渉
- 6月 5日 会計監査
 7日 2019年度第5回TQMキックオフ研修会
 15日 病棟面会禁止から制限をかけて実施
 24日 決算役員会（みなし決議）
- 8月 1日 電子マネー（ペイペイ）窓口支払い開始
 19日 盂蘭盆会、新型コロナウイルス感染症終息祈願ならび邪気払い
 28日 ほめたつ研修
 31日 新型コロナウイルス感染症対策会議
- 9月14日 互助会献血
- 10月 5日 にこにこオンライン面会開始
 12日 インフルエンザ予防接種開始
 14日 互助会美化運動
 19日 AI問診システムのプレゼン
 デモ担当 エーザイ株式会社 伊藤氏
- 27～29日 職員健康診断
 31日 感染対策DVD研修会
- 11月26日 中間役員会（みなし決議）
- 12月 8日 物故者追弔会
 18日 新型コロナウイルス核酸キット（PCR検査）導入
- 2021年 1月 4日 互礼会
 13日 人権オンライン研修
 18日 発熱外来開始
- 3月 2日 准看護学院卒業式
 8日 月曜会・予算理事会
 16日 初期消火避難訓練
 16日 事務部勉強会
 議題 オンライン資格確認の概要について
 講師 総合メディカル 栗林洋佑氏
- 24日 予算役員会（みなし決議）
- 29日 医療安全研修会
 議題 医療事故調査制度に基づいた報告事例
 講師 曾我医療安全室長・田畑医療安全管理者

〈介護施設関係〉

- 2020年 4月2～7日 中庭で花見(きらら)
5月25日 春季避難訓練(きらら)
7月3日 ケアマネジメント支援会議(マックスひこね)
4日 地域包括単位地域ケア会議(葛籠町、出町、法士町、犬方町)
5日 川瀬自治会清掃活動(包括きらら、ゆうゆう)
9日 避難訓練(パストラール)
21日 ケアマネジメント支援会議(マックスひこね)
8月19日 地藏盆(パストラール)
9月4日 ケアマネジメント支援会議(マックスひこね)
12日 地域包括単位地域ケア会議(葛籠町、出町、法士町、犬方町)
15日 ケアマネジメント支援会議(マックスひこね)
16日 敬老会(パストラール)
22～25日 敬老会(きらら)
25日 愛荘町アクションプラン作成会議(オレンジ)
10月
13～16日 運動会(きらら)
21日 運動会(パストラール)
11月1日 河瀬自治会清掃活動(きらら・ゆうゆう)
2～16日 文化祭(パストラール)
6日 ケアマネジメント支援会議(マックスひこね)
9～13日 介護の日(パストラール)
17日 ケアマネジメント支援会議(マックスひこね)
25日 きらら・ゆうゆう秋季避難訓練
12月13日 地域包括単位地域ケア会議(三津屋町、須越町、八坂町)
24・25日 クリスマス会(きらら)
2021年 1月18日 マックスとよさと・ひこね合同勉強会
2月10日 避難訓練(パストラール)
14日 地域包括単位地域ケア会議(三津屋町、須越町、八坂町)
15日 甲良中学校 認知症啓発講座(けやき・らくらく)
3月29日 避難訓練(ゆうゆう)
※毎週第4木曜日 オレンジ定例会

14 公益財団法人 豊郷病院 長期事業計画

(2018年度～2027年度)

テーマ step to 100

さあ 100周年に向けて!!

〈内容〉 sensibility (感度) をあげ teamwork (協調) して
energy (活力) をつけて performance (実行) する
感度をあげ協調し活力をつけて実行し 100 年に向かう

2018 年 (平成 30 年) 度は平成の最後の年で同時に、これからの時代が大きく変化する転換期になることが予測される。またそこからはじまる 10 年間となる。

2050 年の脱炭素時代に向かつて世界は大きく舵を切り SDGs の定着する社会に向けてガソリンから EV、IT やロボット化、デジタル化が更に進みキャッシュレス時代、働き方改革や、人員不足から外国人労働者の導入や高齢者雇用の増加がすすみ、特に 2025 年 (創立 100 周年) には、全人口の 18% が後期高齢者で 3 割以上が 65 歳以上となり今迄国を支えた世代が給付を受ける側となり社会保障費の膨張・税不足・生産労働人口の減少の三重苦に見まわれることになる。

一方、現在 (2018 年) 滋賀県では地域別で見ると医療需要の緩やかな減少地域で医療費は全国平均程度でその内、二次医療圏別の湖東地域は人口の減少地域で医療需要が減少することが予測される。そのことから、今後各病棟をどのように機能転換するかが重要なポイントになる。

また、機能転換後の後方病床は地域の基幹病院の動向に大きく左右される時代になることから、どう特色を出す病棟にしてゆくかが問われることになる。このことから、法人としては更に研鑽し経営の健全化と良質な医療を効率的に提供するため安定した財務体質の法人経営を構築する。

法人は 2025 年に創立 100 年となるが、あらためて今日迄、創立精神である「郷土愛と博愛ならびに奉仕の心」で地域の発展と法人の拡大に努力してきたが、この背景となる時代の大きな変化の転換期に医療業界も入ってゆく重要な 10 年間と認識すると共に「豊かな郷で心と体の健康を 家族のように」の基本理念のもと、今後も地域の医療・保健・福祉を支えるために医療事業・介護事業・教育研究事業の複合体組織で安定した法人経営を行い地域に貢献し発展させる。

また、前期から進めた医療事業では、地域包括ケアシステムにおいては急性期医療から回復期・慢性期の診療と精神医療の急性期・療養期、更には認知症医療も含め、介護事業では 18 事業の介護サービス事業で通所、訪問、施設、入所や入居施設を運営して、当法人グループ内連携の下で「医療から介護迄を一貫で支援」することを更に強化する。

尚、2020 年度は年初から新型コロナウイルス感染症の世界的な流行から医療ならびに介護業界が大きな影響を受け経営悪化したことから、2021 年度からはじまる 3 年間の中期計画を境に新しい仕組みを構築し運営する方法に大きく舵を切る経営に進んで行くことが重要となる。

またこの長期計画を基にして、3 年毎に中期計画を作成し推進する。

長期計画書

※以下、詳細 10 項目については、掲載省略

中期計画

(2021年度～2023年度)

テーマ “パワーアップ 5 トヨサト”

A&A【活気(activity)と行動(action)】

法人運営

I. 法人の基本方針

当院は基本理念「豊かな郷で 心と体の健康を 家族のように」及び基本方針を全職員が自分の思いとして日々の業務に努めることを旨としている。

2021 年は、第 7 次医療計画継続（2023 年度迄）、第 8 期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画、介護報酬改定などの各制度の改定とコロナ禍で議論休止中であるが国としては 2025 年に向けた「地域包括ケアシステム」と「地域医療構想」を推進することから法人としても再検討せねばならない年となる。

当法人の中期計画書においても、この制度改定と合わせて重要な期間であり、従来までの取り組みとさらに今後の法人経営を盤石なものにしなければならない期間である。

当院は 5 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）、及び 5 事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療）の事業を担っているが、2020 年度は猛威を振るった“新型コロナウイルス”による患者減少が経営悪化になった。

この中期計画書は、2021 年度以降の経営を立て直すために、法人の“基本理念・方針”を中心に病院が持つ現有資源と地域医療の基盤づくりを経営方針とする。

“パワーアップ 5 トヨサト”の具体的な骨子

- ① 質の向上と生産性向上
- ② 経営基盤の拡充
- ③ ガバナンス運営の強化
- ④ 連携強化
- ⑤ 各部署の経営参画

※以下詳細説明及び事業部門別・部科（課）別計画書ならびに法人の年間目標額については掲載省略

15 2021年度 経営方針

- ① 新型コロナウイルス感染症で仕組みが大きく変化し、元の状況に戻らないことから、これを乗り越える新しい形態の構築と行動する活力、更に部門の活性化と提案力ならびに目標達成
- ② 組織力強化ならびに A&A【活気 (activity) と行動 (action)】
- ③ 2021 年から始まる 3 年計画 “パワーアップ 5 トヨタ” の実行

1. 質の向上

患者（利用者）重視及びサービス・満足度の向上
コロナ禍での変化の対応力
チーム医療の推進・業務改善 / 合理化、効率化
医療安全・感染防止対策・人権教育の推進
職員教育 / 職種別研修 / 接遇強化 / 人材確保
やりがいのある働きやすい職場風土の醸成
医療・介護連携・病床機能再構築・体制仕組みづくり
病院機能評価更新に向けた取り組み

2. 生産性の向上

新規患者・利用者の確保 / 断らない運営 / 救急 / 手術強化
ベッドコントロールの徹底と平均在院日数維持、稼働率
一般急性期病棟の入院数ならびに回転率アップ
収益確保と財務体質強化、効率運営
材料費、委託費、人件費、経費の大幅削減
データ活用による目標の達成と各部署の経営参画
集患対策、広報、PR 強化策、営業活動

16 地域交流 TQM 活動

2020年度発表会

2020年度のTQM活動は6年目となりました。今年度も24チームが継続して行い、よりよい病院にすべく各職員は一年間にわたり積極的な活動を行いました。

このうち、グッドジョブ賞8チーム、きらっと賞6チーム、エントリー賞10チームを表彰しました。

	チーム名	取り組むテーマ	所属
1	は行の3人：とよサボ	用紙の改善	在宅療養サポートセンター
2	安心してえ～よう	そのルール（表記）ってどうなの？ ～安心・安全な食事の提供を！～食物アレルギー編	栄養科
3	X-RAYZAP	コツコツ骨活、骨折り損はさせない！～骨密度検査を広めよう～	放射線科
4	#経営コンサルトCE 改	“探し物はなんですかあ～戸？見つけにくいものですかあ～♪？” ～ME室の消耗品をCE不在時でも持っていける体制づくり～Ver2	臨床工学科
5	Toyosato switch（仮）	へらそう！Hファイルの差（仮）	医事課・診療情報管理室
6	感戦5レンジャー+小梅	ちっくしょ～！！感染対策できてねえ…感戦5レンジャー 出勤！！ ～お互いが指摘し合える環境を作り、みんなで感染対策頑張ろう～	豊郷病院 ICT
7	何でも知っとき隊	レントゲン・心電図のとり忘れ	血液浄化センター
8	ヘッドハンターズ	緊急事態宣言解除！Go To TOYOSATO HOSPITAL ～積極的な病院の広報活動により優秀な人材を確保しよう～	薬剤部、管理課、診療情報管理室、 パストラールとよさと
9	5年2組 栄子先生	まるこ「働きやすい職場づくりを目指して 病棟スタッフ全員で考える」の巻	5-2 病棟
10	三代目ひまわり活性隊 デラックス	ひまわり昼夜活性化 ～患者さんの心の安寧を目指して～	1-3 病棟
11	ビジネスレビュー	機器、物品の見直し	手術室
12	美魔女集団（仮）	患者様の安心・安全な入院環境を整える為のチーム医療	3-6 病棟
13	リハビリテーション科 TQM班	顔が見えないからこそ今一度知ろう…電話対応	リハビリテーション科
14	信頼され隊、満足し隊	介護現場における接遇について ～三者の笑顔～を大切に	甲良町デイサービスセンターけやき 甲良町グループホームらくらく
15	外来チーム	クリーン大作戦	外来
16	3-5 病棟	業務改善（新型コロナ感染予防対策）	3-5 病棟
17	3-2 全員集合 13 ペア PNSを活かそう	“かかり活動大作戦”で元気の出る職場作り	3-2 病棟
18	Power（底力）チーム	包交車の物品不足の解消と清潔の保持を行うために	3-4 病棟①
19	デスカンファレンスを広め隊	デスカンファレンスを通、終末期ケアの質向上に繋げたい	3-4 病棟②
20	高めよう向上心、 深めよう知識！	e-ラーニングを活用し看護の質を高めよう	3-4 病棟③
21	火事場の馬鹿チーム	災害に備える・災害に対応するための準備	看護部
22	青チーム	みんなで退院支援	3-3 病棟①
23	ピンクチーム	ベッドサイド周囲の清掃	3-3 病棟②
24	黄色チーム	患者さんの全体像を把握し看護に活かす	3-3 病棟③

17 人権教育研修

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

2020年度 人権啓発活動目標

みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～
相手の気持ちを考えて行動しよう

活動状況

(1) 開催時期 2020年4月15日(月)

2020年10月19日(月)

(2) 研修・学習内容

院内 ・新入職員・各職場人権教育推進担当者・准看護学院学生対象人権研修会

2020年4月13日(月) 新入職員32名

講演 豊郷病院の人権の取り組みとコロナ差別について

講師 管理課長

・2020 豊郷病院人権研修会 参加者592名

DVD研修

1月中旬から2月末までの間にDVD研修にて実施

(2本以上視聴し、アンケートを記入)

テーマ：新型コロナウイルスと人権

①新型コロナウイルス感染症に関する人権の配慮について

②【日本赤十字社】ウイルスの次にやってくるもの

③【日本赤十字社】新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう

④とくしま こころのサポート2

⑤とくしま こころのサポート3

・職場別人権学習

職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施

院外 ・研修会等に4回参加 参加者2名

主催 滋賀県

滋賀人権啓発企業連絡会

滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック

彦根・愛知・犬上職業対策連絡協議会

等

I

医療事業の部

2020年度は、中期計画（3年計画）トヨタチャレンジ6の最終年であり、業務効率向上・情報の共有化・データの一元管理・医療安全の確保、退院促進など、効果的な運用を目指しました。

しかしながら、新型コロナの感染拡大の影響により、紹介・救急搬入件数の減少、内視鏡検査・手術等の延期や中止、健診やりハビリの制限、面会禁止等により大きな影響を受けました。さらに整形外科常勤医師の退職、消化器内科常勤医師の病欠（8月から復帰）などの要因が重なり、患者数が大幅に減少しました。整形外科、麻酔科の体制につきましては、地域医療を担う上で重要性が高く、継続して派遣いただけるよう滋賀医大へ依頼しているところです。

また、病院では感染管理、医療安全、人権尊重の3大項目を重点的に取り組んでおりますが、特に今期は全ての項目で大きな事例が発生しました。

感染管理では、11月に院内クラスターが発生し約1か月間、入退院の制限を余儀なくされ稼働率が低下。その間、患者・ご家族・関係先にご迷惑をおかけしたため、患者が安心して受診できる環境整備や、職員を守るため感染拡大防止に努め、また県から依頼の帰国者・接触者外来の開設をはじめ、オンライン面会や薬受診なども行いました。

医療安全では、医療事故制度に基づき医療事故として日本医療安全調査機構へ報告し、院内調査と調査支援団体による支援を受け、原因究明と再発防止を行いました。

人権関係では職場内パワーハラスメントやコロナ感染に伴う人権問題が発生しましたが、職員に対して心のケアを行いながら、解決に取り組みました。今回の事例において、大規模災害発生時の対応と同じように職員が一丸となり解決に向けた取り組みが大きな収穫となりました。

2021年度は新たに始まる3ヶ年中期計画“パワーアップ5トヨタ”の初年度であり、病院機能評価更新に向けて「質の向上と生産性向上」や人材育成、外国人労働の採用、データ活用による診療の質の向上と収益改善を行い、経営改善を進めます。

アフターコロナ禍において来院を控えている患者に対してオンライン診療・来院前問診(AI問診)を利用すると共に、支出削減対策では、固定費の削減や特に変動費への対応など、経費削減を強化してまいります。

〈診 療 部 門〉

医師理念

安価な医療の提供！

患者さまには率直で心をこめて説明！

EBMにいきなりEBMから出でよ！

基本目標

- 1：的確で迅速な診断、最小限の検査と安全な治療を行う。
- 2：トータルコストは安く、在院日数を短縮し単価は維持する。
- 3：チーム医療を大切にし、お互いの職業理念を尊重する。
- 4：対面診察、説明と同意、診療情報管理を大切にする。
- 5：プライマリー・ケアー、ACLSとEBMの基本を身につける。
- 6：患者さまの権利と個人情報の保護は重大な責務と認識する。

1 診療部事業経過

令和2年度(2020.4.1~2021.3.31)の医局の人事異動は次のとおりです。

採用の常勤医師として、富田真梨子先生(2020.5.1 整形外科)が入職されました。退職された先生は、本原功二郎先生(2020.5.31 整形外科)、難波江正浩先生(2020.9.30 整形外科)、吉川邦生先生(2021.3.31 健診センター)、吉橋彩子(2021.3.31 呼吸器内科)の4名です。

難波江正浩先生は平成19年から13年間、整形外科の中心として勤務され、平成26年からは副院長としても病院の運営にご尽力頂きました。また吉橋彩子先生は新型コロナ対策でご活躍いただきました。退職されました先生がたの今後のご活躍を祈念しております。

昨年度は新型コロナウイルスの感染対策に始まり、診療体制の制限、手術や内視鏡検査制限などに加え、病棟で発生したクラスターへの対応など、診療部というより病院全体での感染対策に追われた1年で、現在も継続しています。

一方で会議や学会の開催中止やZOOMによるWEB開催など、診療部の働き方、自己研修にも大きな変化が起きました。新型コロナの感染のなかで非常勤、常勤の先生がたが奮闘して診療に御協力頂いたことに改めて感謝申し上げます。

しかし、診療体制を維持するための医師確保は、コロナ禍で更に困難な状況となりました。

医師を派遣していただいている滋賀医科大学、京都大学の医局のご協力のもと皆さまに安全で十分な医療を提供できるよう地域と共に歩んでいきたいと考えています。今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

診療部
病院長
横田 徹

2 各科の事業・業績報告

循環器内科

① スタッフ

富田行則（部長）、川島明代志（部長）

常勤医師 2 人 非常勤医師 6 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

従来と大きな変化はなく、現在は心臓カテーテル検査など侵襲的加療は行っておりませんが、侵襲的加療の適応外や望まれない患者様を薬物治療、リハビリテーションを用い、退院後への橋渡しという面に重点を置いております。高齢心不全患者の増加に伴い、必要な特色と考えて日々の診療を行っております。

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

Comparison Between Clopidogrel and Prasugrel Associated With CYP2C19 Genotypes in Patients Receiving Percutaneous Coronary Intervention in a Japanese Population.

Yuichi Sawayama, Takashi Yamamoto, Yukinori Tomita, …

筆頭著者ではありませんが、私富田の発案で開始した数年間の臨床研究データを後輩が論文として完成させ、Circulation journal に掲載されました。

④ その他特記事項

これまで脳血管、廃用症候群のリハビリテーションで代用して行ってきましたが、正式に心臓リハビリテーションを行えるように準備段階中であり、本年度中に始動予定となっております。

また経験のある川島医師が常勤医となりましたので、当院でも侵襲的加療に関しても現在ペースメーカー治療や一部の心臓カテーテル検査（右心カテーテル検査）も施行できるように準備・検討しております。

呼吸器内科・呼吸器外科

① スタッフ

佐藤公彦（代表理事・名誉院長）、伊部邦宏（内科系統括部長、部長）、坂下拓人（部長）

常勤医師 3 名、非常勤医師 9 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科は、呼吸器感染症・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・びまん性肺疾患・胸部悪性腫瘍・睡眠時無呼吸症候群などあらゆる呼吸器疾患に対応できるよう取り組んでいます。

2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、COVID-19 チームを結成し、帰国者接触者外来および発熱者外来を運営しました。

＜帰国者接触者外来および発熱外来の受診者数と陽性者数（2020年4月～2021年3月）＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
帰接外来	22	5	5	23	20	4	0	6	12	10	6	21
帰接外来陽性者数	1	0	0	0	1	0	0	0	8	5	4	4
発熱外来						4	6	35	33	95	99	156
発熱外来陽性者数						0	0	2	1	4	1	5

＜2020年度診療実績＞

年間患者数：外来 10,093 人、入院 10,567 人

外来患者数 34.5 名／日、新規入院患者数 302 名／日、CPAP 患者数 244 名

気管支鏡検査 1 件／年、局麻下胸腔鏡 1 件／年、PSG 検査 53 件／年

健診部門 SAS 簡易 PSG 検査 9 件／年、胸部 CT 22 件／年、呼吸機能検査 4 件／年

＜2020年度入院加療病名（退院時主病名より）＞

（単位：名）

呼吸器感染症		肺癌などの悪性疾患	23
肺炎（誤嚥性、気管支炎を含む）	110	COPD	16
COVID-19 感染後	2	びまん性・間質性肺疾患	17
抗酸菌感染症	3（うち肺結核 1）	気管支喘息発作	3
胸膜炎・肺膿瘍・膿胸	9	気胸（外傷性含む）、縦隔気腫	5
慢性気管支炎・気管支拡張症	3	その他	5

呼吸器疾患以外 アルツハイマー型認知症、うっ血性心不全、パーキンソン病、パーキンソン症候群、めまい症、悪性リンパ腫、胃腸炎、肝癌、関節リウマチ、急性腎盂腎炎、急性薬物中毒、脊椎圧迫骨折、顕微鏡的多発血管炎、正常圧水頭症、多系統萎縮症、総胆管結石性胆管炎、脱水症、低ナトリウム血症、骨髄異形成症候群、褥瘡、蜂窩織炎、脳梗塞、上行結腸癌、大腿骨転子部骨折、廃用症候群、不明熱、来院時心肺停止など。

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

本年はなし

消化器内科

① スタッフ

土井久和（副院長） 門元優（医長・内視鏡センター長） 吉川邦生（健診部長）

常勤医師 3 人 非常勤医師 5 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

滋賀県内でも高齢者の割合が多い湖東地域において、複数の基礎疾患を持った高齢者の消化器疾患と、人間ドックによる無症候性消化器疾患治療の両面で診療を行なっています。精神科を有する当院では、他病院では診療困難な精神疾患や認知症を持つ患者さんの消化器診療も可能です。

年間患者数：外来 5,818 人、入院 5,818 人

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

〈講演〉

2020年11月20日 福井肝疾患カンファレンス 招待講演
肝硬変症に対するアルブミン治療の役割

2021年3月12日 中性脂肪管理を考える会 特別講演
肥満・NASH（非アルコール性脂肪性肝炎）合併高TG血症患者へのパルモディア
（PPAR α ）投与の検討

内科（糖尿病）

① スタッフ

高木敬文（糖尿病内科部長）

常勤医師 1人 非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 5,279人、入院 1,375人

外科・消化器外科

① スタッフ

常勤 2名 横田 徹
井内 武和

非常勤 3名 谷 眞至 消化器・一般外科
村田 聡 消化器・一般外科
森 毅 乳腺外科

② 特色・症例・治療・成績・実績

主要手術件数	上部消化管	7件	(10)	
	下部消化管	20件	(27)	
	胆嚢	13件	(9)	
	肝	2件	(1)	
	肛門疾患	6件	(13)	
	ヘルニア	31件	(30)	()は2019年度

年間患者数：外来 3,665 人 入院 7,732 人 手術件数 79 件

③ 論文、学会・研究発表・講演・トピックス

なし

泌尿器科

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・診療部長） 鄭裕午（部長）

常勤医師 2人 非常勤医師 6人

② 特色・症例・治療・成績・実績

泌尿器科では毎年前立腺癌・膀胱癌の新規患者様が多数来院され、状態に合わせて前立腺癌の腹腔鏡下手術・放射線治療以外の加療を施行しております。腹腔鏡下手術・放射線治療ご希望時には滋賀医科大学他、近隣の施設へご紹介しております。その他精巣腫瘍、腎癌、腎盂尿管癌等に関しては、できる限り当科にて腹腔鏡・後腹膜鏡下手術も含めて加療しております。

悪性腫瘍以外では前立腺肥大症は薬物療法が中心となりますが、必要時には経尿道的手術を施行しております。その他の排尿障害や過活動膀胱等に関しては、薬物療法・行動療法を中心に治療しております。

尿路結石に対しては体外衝撃波結石破碎術（ESWL）とともに必要に応じて経尿道的手術も施行しております。

また当科では血液透析患者の導入・維持管理を内科医師とも連携して担当しており、必要に応じて内シャント造設術・再建術、シャントPTA等も施行しております。

年間患者数：外来 7,142人 入院 3,268人 手術件数 78件

③ 論文、学会、研究会発表、講演、トピックス

2020年度は特記すべきものはありません

整形外科

① スタッフ

富田真梨子（部長） 非常勤医師 11名

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数： 外来：13,354人 入院：2,220人

③ 論文、学会、研究会発表、講演、トピックス

本年はなし

脳神経外科

① スタッフ

木築裕彦 (部長)

日本脳神経外科学会 専門医

日本脳卒中学会 専門医

日本頭痛学会 専門医

日本頭痛学会 指導医

日本認知症学会 専門医

日本認知症学会 指導医

認知症サポート医

認知症相談医

平井久雄 (非常勤・湖東記念病院脳神経外科・副院長)

医学博士

日本脳神経外科学会 専門医

日本神経内視鏡学会 技術認定医

嶋 綾子 (非常勤・湖東記念病院脳神経外科)

医学博士

日本脳神経外科学会 専門医

日本神経内視鏡学会 技術認定医

常勤 1名、非常勤 2名

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間外来患者数 1,651例 (新患 358例)

③ 論文・学会・研究発表・講演・トピックス

(学会発表)

木築裕彦

『頭痛診療における鎮痛薬を再考する ～適応症と薬物動態から考える～』

第21回 京都頭痛懇話会, 2020.09.12. web

(講演・シンポジウム)

木築裕彦

『『不眠症』と『睡眠薬』をちゃんと考える』

エーザイ株式会社 社員研修会, 2020.08.06. 滋賀県草津市

木築裕彦

『せん妄』

令和2年度看護職員認知症対応能力向上研修会, 2020.09.18. 滋賀県草津市

木築裕彦

『滋賀県医師会看護師認知症対応能力向上研修会: 認知症』

令和2年度診療所・病院外来部門で働く看護職対象認知症対応能力向上研修会, 2020.11.12.

滋賀県草津市

木築裕彦

『『不眠』と『不眠症』をちゃんと考えてみる ～睡眠障害と頭痛の関連～』

山武郡土師会共催不眠症 WEB セミナー, 2020.11.19. web

④ その他特記事項

脳神経外科では、火曜日ならびに金曜日に、『頭痛専門外来』を開設しております。お困りの症例がございましたら御一報を賜りましたら幸甚に存じます。

また、2020年度には、木築裕彦が日本認知症学会の専門医ならびに指導医を取得し、公益財団

法人豊郷病院は日本認知症学会認定の教育施設となりました。従来より認知症疾患医療センター『オアシス』にて認知症の診断治療に努めてまいりましたが、今後より一層地域の認知症診療に貢献できるよう邁進してゆく所存でございます。今後とも御指導を賜ります様、何卒宜しくお願い申し上げます。

眼科

① スタッフ

富田靖之（部長）

常勤医師 1名 非常勤医師 8名 視能訓練士 2名 眼科検査助手 1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数 外来 7,504人、入院 651人、手術件数 234件、年間健診数 1,019人

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

特になし

④ その他特記事項

なし

眼科検査

2020年度

項目	外来 (回数)	入院 (回数)	合計
精密眼底検査（片側）	122	5	127
精密眼底検査（両側）	3,992	94	4,086
眼底カメラ撮影（蛍光眼底法）	2	0	2
眼底カメラ撮影	207	1	208
角膜内皮細胞顕微鏡検査	212	1	213
細隙燈顕微鏡検査（前眼部及び後眼部）	1,177	15	1,192
動的量的視野検査（片側）	92	0	92
静的量的視野検査（片側）	672	0	672
屈折検査（6歳未満）	1	0	1
屈折検査	561	66	627
屈折検査（6歳未満）（調節麻痺剤使用）	1	0	1
屈折検査（1以外）（薬剤負荷）	18	0	18
調節検査	2	0	2
矯正視力1（眼鏡処方箋の交付無し）	3,779	90	3,869
矯正視力2（1以外）	100	5	105
精密眼圧測定	3,869	91	3,960
精密眼圧測定（負荷による）	1	0	1
角膜曲率半径計測	820	10	830
眼筋機能精密検査	24	0	24
眼筋機能精密検査（幼）	2	0	2
輻輳検査	1	0	1
両眼視機能精密検査	6	0	6
細隙燈顕微鏡検査（前眼部）	3,489	111	3,600
細隙燈顕微鏡検査（乳）	1	0	1
細隙燈顕微鏡検査（前眼部）後生体染色再検	288	4	292

圧迫隅角検査	1	0	1
弱視視能訓練	9	0	9
涙液分泌機能検査	1	0	1
涙管通水・通色素検査	127	1	128
眼球突出度測定	3	0	3
眼底三次元画像解析	684	8	692
中心フリッカー試験	46	1	47
合 計	20,310	503	20,813

(統計：医事課)

耳鼻咽喉科

① スタッフ

非常勤医師 3人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 2,940人

耳鼻咽喉科検査

2020年度

項 目	外 来 (回数)	入 院 (回数)	合 計
標準純音聴力検査	77	1	78
平衡機能検査(標準検査)	96	6	102
平衡機能(その他)	45	6	51
気道純音聴力検査	174	12	186
静脈性嗅覚検査	2	0	2
簡易聴力検査	61	0	61
チンパノメトリー	9	0	9
合 計	464	25	489

(統計：医事課)

小児科

① スタッフ

三村由卯(部長)

常勤医師 1人 非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 1,645人 年間健診数：11人

皮膚科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 2,784人

婦人科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 583人

脳神経内科

① スタッフ

非常勤医師 1人

② 特色・症例・治療・成績・実績

神経内科は近年の高齢化社会とともに神経内科に対する社会的ニーズも高まっていることから、地域医療をさらに充実・発展すべく平成28年19月より滋賀医科大学の全面的バックアップにより新規開設しました。

脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科で専門医師が問診を神経学的な診察、画像検査や電気生理学的を駆使してその症状の原因となる体の場所や病態を診断いたします。

特に頭痛、しびれやめまい、筋力低下、歩行困難、ふらつき、けいれん、むせ、しゃべりにくい、二重に見える、勝手に体が動く、もの忘れなどの症状の方が対象です。

年間患者数：外来 821人（但し土曜日、月間4回）

精神科

① スタッフ

林拓二（顧問）、阪上悌司（部長）、中江尊保（部長）、堀川健志（部長）、岡村恭子（医長）、成田実（副院長・認知症担当）

常勤医師（認知症担当を含む）6人（精神科指定医3人、精神科専門医2人、指導医1人）、非常勤医師2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

精神科の医師スタッフは常勤医師6名、非常勤医師2名であり、前年まで勤めていた西嶋泰洋医師が退職となった。

当精神科は、滋賀県湖東地域における中核的病院として多様な患者を診る必要があり、外来・病棟とも内因性精神病を中心に老人疾患、アルコール、思春期、さらに精神遅滞の患者も受け入れ、措置入院を引き受けている。

精神科病棟は、平成14年竣工の新病棟の5階と6階の2フロアを占め、3-6病棟（6階）は入院病棟（閉鎖病棟）であり、保護室4床と観察室2床を備え、3-5病棟（5階）は療養病棟（一部開放の閉鎖病棟）で、いずれも男女混合であり、定床はそれぞれ60床の計120床であるが、100床前後で運用されている。しかし、近年の精神科医療の趨勢を踏まえ、平成30年1月より入院病棟は精神科急性期治療病棟として運用し、近隣の精神科クリニックや病院との連携を深めながら新規入院患者を確保し、救急を含め地域の精神医療に果たすべき役割を引き受けている。

治療としては通常の精神科治療のほかに、修正型電気けいれん療法を施行、難治性の統合失調症の治療剤であるクロザリルも使用している。

精神科外来は3診体制である。当科は医療観察法指定医療機関として通院患者の診療を担当し、大津地方検察庁長浜・彦根支部管内の刑事精神鑑定も随時引き受けている。

年間患者数： 外来 19,577人 入院 36,804人 手術件数 25件

③ 論文、学会、研究発表、トピックス

1. 林 拓二：精神疾患の分類と診断について. 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、1-3、2020
2. 林 拓二他10名共著：精神疾患の40年以上の長期経過について. 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、6-17、2020
3. 阪上悌司：現代精神医学批判. 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、18-31、2020
4. 金丸貴行他2名共著：発達障害患者の青年期における排泄行動変容. 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、32-35、2020
5. 木津賢太：精神科での心理社会的介入の充実化の試み. 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、36-44、2020
6. 伊藤優里：箱づくり法の事例検討. 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、45-54、2020
7. 林 拓二：エッセイ「私の趣味の世界 - 歩き続ける -」. 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、55-56、2020
8. 武本一美：エッセイ「思い出すこと - 髑髏（ドクロ）とメント・モリ（死を忘るな） -」. 豊郷

病院精神医学研究所年報、第10巻、57-61, 2020

9. 林 拓二：精神科医として50年(1). 豊郷病院精神医学研究所年報、第10巻、63-67, 2020

歯科口腔外科

① スタッフ

藤居 孝文 (医員)

常勤 1名 非常勤 3名 歯科衛生士 2名 歯科助手 1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科では、智歯(親知らず)の抜歯や炎症性疾患(化膿、腫れもの)、顎関節症、外傷(歯の破折・脱臼、裂傷、骨折)、腫瘍性疾患や全身疾患があり、病院歯科での治療が必要である患者さんを中心に治療を行っております。また、睡眠時無呼吸症候群と診断され、マウスピースでの治療が必要である方への口腔内装置作製や、脳血管障害などで摂食・嚥下(食べて、飲み込む)が困難である方に対し、嚥下リハビリテーションチームが行う摂食機能療法を行っております。

年間患者数：外来 5,688名 入院 100名 手術件数 98例

③ 論文・学会・研究発表・講演

学会

「当科における摂食・嚥下リハビリテーションの現状」

藤居 孝文、木村 喜久子、鈴木 百美子、戸田 兼輔、藤原 宏実

第36回 滋賀歯学会 誌上発表 2020 2021.3.3

麻酔科

① スタッフ

非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間麻酔件数：全麻 145件、腰麻 74件、局麻他 397件 合計 616件

麻酔科件数

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全麻	29	13	13	12	16	11	10	7	6	6	11	11	145
腰麻	8	8	5	4	6	4	7	8	6	7	8	3	74
局麻	47	23	38	30	40	27	32	29	17	29	18	42	372
その他	2	3	5	2	2	2	1	1	3	1	3	0	25
計	86	47	61	48	64	44	50	45	32	43	40	56	616

(統計：手術室)

リハビリテーション科

① スタッフ

リハ医 横田徹 曾我弘樹 土井久和 富田真梨子 木築裕彦 藤居孝文

理学療法士 一般科 7名 回復期6名 アイルとよさと2名

レインボウ1名 パストラール3名

作業療法士 一般科5名 回復期6名 精神3名

レインボウ1名、非常勤1名 パストラール2名

言語聴覚士 一般科 1名 回復期1名

産休・育休 PT1 OT 2

② 特色・症例・治療・成績・実績

令和2年8月25日(火)

精神科作業療法士 佐々木慎 事例報告 滋賀県作業療法士会精神分野普及部勉強会

令和2年9月19日(土)

精神科作業療法士 伊藤優里 事例報告 滋賀県作業療法士会精神分野普及部勉強会

〈特徴〉

リハビリテーション科では一般科入院・外来、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟など様々な環境で介入しており、また言語聴覚士による摂食嚥下、言語訓練も実施。介護分野では訪問リハビリテーションアイルとよさと、介護老人保健施設など多岐にわたりサービ体制を整えております。

精神科作業療法では、作業活動を通して心身機能の回復を目指すだけでなく、患者さん自身が自分の特徴を振り返って学びになるよう取り組んでおります。箱作り法検査では視覚的に特徴を共有しやすく、今後の生活を検討するために役立ち、患者さまにも「やってよかった」と感想をいただいております。また、今年度は今まで関わらせていただく機会がなかった他機関の方々との情報共有をはじめ、現地訪問もさせていただくことができました。特に10代の若い患者様に関連する、学校や養護施設、児童相談所など、精神科作業療法士が関わらせていただく分野の広がりを感じつつ、今後も地域の皆様へ貢献できるよう励んでまいります。

療法別延患者数(病院)

延患者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
理学療法	脳血管疾患等	入院	485	405	327	328	355	430	515	372	276	261	296	312	4,362
		外来	6	3	6	8	4	6	5	5	3	3	3	4	56
		計	491	408	333	336	359	436	520	377	279	264	299	316	4,418
	運動器	入院	750	668	885	860	664	508	625	700	717	844	811	902	8,934
		外来	267	220	221	241	209	207	231	189	142	162	171	210	2,470
		計	1,017	888	1,106	1,101	873	715	856	889	859	1,006	982	1,112	11,404
	呼吸器	入院	17	23	50	61	38	24	15	38	21	26	56	106	475
		外来	25	20	26	25	11	25	29	22	17	14	18	19	251
		計	42	43	76	86	49	49	44	60	38	40	74	125	726
	合計	入院	1,252	1,096	1,262	1,249	1,057	962	1,155	1,110	1,014	1,131	1,163	1,320	13,771
		外来	298	243	253	274	224	238	265	216	162	179	192	233	2,777
		計	1,550	1,339	1,515	1,523	1,281	1,200	1,420	1,326	1,176	1,310	1,355	1,553	16,548
作業療法	脳血管疾患等	入院	493	409	300	315	323	401	497	349	283	255	269	326	4,220
		外来	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	10
		計	495	410	301	316	324	402	498	350	284	255	269	326	4,230
	運動器	入院	602	639	848	800	596	513	615	698	730	818	747	865	8,471
		外来	98	98	109	109	101	89	73	52	21	18	18	18	804
		計	700	737	957	909	697	602	688	750	751	836	765	883	9,275
	呼吸器	入院	9	4	23	33	18	18	4	0	0	0	0	8	117
		外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	9	4	23	33	18	18	4	0	0	0	0	8	117
	合計	入院	1,095	1,048	1,148	1,115	919	914	1,112	1,047	1,013	1,073	1,016	1,191	12,691
		外来	100	99	110	110	102	90	74	53	22	18	18	18	814
		計	1,195	1,147	1,258	1,225	1,021	1,004	1,186	1,100	1,035	1,091	1,034	1,209	13,505
言語療法	脳血管疾患等	入院	135	117	122	123	102	119	126	39	0	13	23	51	970
		外来	5	4	3	3	4	4	5	2	2	4	3	4	43
		計	140	121	125	126	106	123	131	41	2	17	26	55	1,013
	合計	入院	135	117	122	123	102	119	126	39	0	13	23	51	970
		外来	5	4	3	3	4	4	5	2	2	4	3	4	43
計	140	121	125	126	106	123	131	41	2	17	26	55	1,013		
精神科作業療法		664	700	702	765	783	792	754	766	631	689	704	667	846	
訪問リハビリテーション		434	448	392	451	409	363	391	397	362	356	360	346	352	

介護老人保健施設

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延患者数	1,424	1,372	1,183	1,381	1,289	1,259	1,276	1,332	1,170	1,289	1,227	1,211	15,413

(統計：リハビリテーション科)

放射線科

① スタッフ

放射線科医長	土井 久和 (副院長・医師)
医長	1名 (常勤)
放射線科医	7名 (非常勤・内5名遠隔)
診療放射線技師	7名 (常勤)
看護師	1名 (非常勤)

② 研修参加実績

演題発表実績

2020年12月17日 第1回滋放技学術研修会 (Web開催)

「支部発表 医療安全部門」演題「新型コロナウイルス基礎知識及び放射線科での状況報告」

公益財団法人 豊郷病院 放射線科 中尾 喜彦

参加実績

2020年12月17日 第1回滋放技学術研修会 (Web開催：滋賀県診療放射線技師会)

2021年3月13日 「MRI Jump over to the future MRI 2021」

(MRI学会セミナー動画 Web研修：キャノンメディカル株式会社)

放射線撮影人数

【科別】

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全科	撮影	1,211	1,044	1,409	1,276	1,237	1,232	1,316	1,121	809	959	983	1,144	13,741
	C T	452	504	550	535	559	498	526	446	477	536	477	627	6,187
	M R I	150	123	171	157	181	169	159	113	129	110	114	198	1,774
内科計	撮影	230	156	214	186	185	198	208	169	136	152	172	186	2,192
	C T	122	107	96	117	124	116	113	116	122	123	118	138	1,412
	M R I	9	17	16	11	9	21	21	19	6	12	13	34	188
循環器科	撮影	130	79	120	94	87	107	113	85	58	69	82	92	1,116
	C T	26	18	22	28	25	20	27	30	35	30	31	29	321
	M R I	5	2	3	0	2	2	5	6	0	0	3	5	33
消化器科	撮影	13	7	8	9	10	10	18	7	5	9	19	12	127
	C T	69	59	43	63	63	59	52	63	52	58	55	63	699
	M R I	3	13	10	10	5	17	11	10	4	12	8	23	126
心療内科	撮影	6	0	7	10	5	4	8	4	3	5	1	8	61
	C T	5	5	4	15	8	9	10	6	7	10	10	21	110
	M R I	1	0	0	1	1	0	2	1	0	0	0	3	9
一般内科	撮影	20	10	21	14	23	22	8	15	12	17	12	15	189
	C T	18	16	21	7	23	26	14	11	22	21	16	21	216
	M R I	0	1	2	0	1	2	2	2	2	0	1	3	16
透析	撮影	61	60	58	59	60	55	61	58	58	52	58	59	699
	C T	4	9	6	4	5	2	10	6	6	4	6	4	66
	M R I	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4
呼吸器科	撮影	301	243	314	308	281	277	295	248	230	226	242	372	3,337
	C T	163	137	172	175	192	171	170	145	152	177	161	257	2,072
	M R I	5	2	8	4	9	8	5	2	1	2	5	2	53
外科	撮影	53	39	60	80	68	59	79	63	54	60	55	54	724
	C T	39	59	60	70	58	49	55	61	53	74	44	42	664
	M R I	6	6	8	5	2	3	7	1	5	2	6	2	53

泌尿器科	撮影	39	32	53	29	26	35	35	20	41	35	42	27	414
	C T	25	35	33	19	28	32	32	18	38	26	21	35	342
	M R I	5	3	5	3	6	0	5	4	8	1	6	7	53
皮膚科	撮影	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	C T	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	4
	M R I	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
脳神経外科	撮影	8	5	7	9	6	11	10	7	4	5	5	4	81
	C T	7	16	16	8	13	13	14	9	9	10	8	12	135
	M R I	13	15	27	33	27	26	26	19	11	16	15	23	251
整形外科	撮影	328	353	419	323	390	328	318	229	169	226	195	237	3,515
	C T	16	46	43	28	14	19	21	5	6	14	6	7	225
	M R I	29	21	28	20	36	22	17	12	19	17	12	21	254
小児科	撮影	3	1	5	1	8	15	2	3	2	11	2	3	56
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	M R I	2	0	1	2	0	2	0	1	0	1	0	0	9
産婦人科	撮影	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	M R I	0	1	0	0	1	2	2	2	0	0	0	1	9
耳鼻咽喉科	撮影	5	2	1	1	2	1	3	3	2	3	3	1	27
	C T	7	7	11	6	9	4	5	0	8	6	6	4	73
	M R I	2	3	2	2	1	3	5	1	3	1	1	7	31
眼科	撮影	11	10	11	14	11	16	15	18	9	7	10	17	149
	C T	0	11	0	1	1	1	0	1	1	9	0	3	28
	M R I	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5
歯科口腔外科	撮影	99	86	143	113	114	96	115	110	48	107	101	111	1,243
	C T	11	19	38	19	19	14	17	18	9	15	27	15	221
	M R I	0	0	2	0	1	3	2	2	0	5	1	1	17
精神神経科	撮影	11	7	19	13	17	13	21	19	15	15	10	12	172
	C T	17	27	23	25	28	20	30	24	34	31	27	29	315
	M R I	5	4	3	4	5	13	4	7	8	5	2	7	67
認知症外来	撮影	3	4	6	4	2	5	11	10	7	8	13	10	83
	C T	21	24	32	30	31	29	29	22	25	30	32	43	348
	M R I	2	3	2	0	0	3	0	2	3	3	1	0	19
神経内科	撮影	2	0	1	2	1	0	0	1	0	1	2	0	10
	C T	1	1	0	4	2	0	2	2	1	1	3	2	19
	M R I	6	4	3	6	6	6	9	6	12	2	5	8	73
健診	撮影	113	104	147	186	122	168	192	220	92	99	128	103	1,674
	C T	2	3	1	2	3	0	5	0	2	2	1	2	23
	M R I	2	0	9	6	4	6	3	4	5	3	5	1	48
老健科	撮影	4	1	4	5	5	1	20	1	3	3	3	3	53
	C T	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	M R I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	撮影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C T	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	M R I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外	撮影	5	2	8	7	4	9	11	1	0	4	3	6	60
	C T	21	12	24	30	37	30	33	24	17	16	23	38	305
	M R I	62	43	56	61	74	51	53	30	48	39	41	83	641

(統計：放射線科)

【部位別】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
頭頸部	単純	5	3	5	4	4	1	3	4	2	4	6	1	42	
	造影	脳血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		頭部造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頸部	パノラマ	44	41	70	56	52	50	59	52	24	49	60	69	626	
	デンタル	59	48	85	53	61	51	59	60	34	64	41	46	661	
	その他	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	
	小計	108	95	160	113	117	102	122	116	60	117	107	116	1,333	
	単純	709	513	715	691	640	687	742	667	510	530	557	699	7,660	
胸部	造影	血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	3	2	2	2	1	2	0	2	2	2	4	2	24
	乳腺	9	15	38	36	27	34	32	30	14	15	27	28	305	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	721	530	755	729	668	723	774	699	526	547	588	729	7,989	
腹部	単純	119	102	146	110	104	74	131	78	74	65	75	52	1,130	
	造影	消化管	44	35	18	29	19	28	38	34	18	11	18	18	310
		尿路	2	5	6	1	0	3	2	3	5	3	2	2	34
		血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	1	0	1	0	1	1	2	1	3	0	0	10
	その他	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	5	
小計	166	143	171	142	123	106	172	117	99	83	95	72	1,489		
脊椎四肢等	単純	285	386	434	343	401	346	309	221	164	254	218	243	3,604	
	造影	血管	8	9	2	6	10	4	2	2	6	0	11	8	68
		その他	3	3	0	4	0	3	1	2	0	1	0	1	18
	骨塩定量	20	13	34	24	13	26	45	25	14	20	17	27	278	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	316	411	470	377	424	379	357	250	184	275	246	279	3,968		
ポータブル	41	36	53	54	33	56	51	34	27	36	34	24	479		
外科イメージ	2	2	5	2	2	2	1	0	3	1	3	0	23		
その他	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	5		
合計		1,354	1,217	1,614	1,418	1,368	1,369	1,478	1,217	899	1,059	1,073	1,220	15,286	

(統計：放射線科)

部位別【CT】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	Plain	76	97	160	130	139	110	116	90	102	87	119	116	1,342
	CE	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
	Plain + CE	1	3	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	9
	(画像処理)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	小計	77	100	161	132	140	111	116	92	102	90	119	116	1,356
胸部	Plain	168	211	179	196	209	172	195	169	181	254	189	287	2,410
	CE	5	4	0	4	1	2	2	3	5	2	3	2	33
	Plain + CE	1	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	1	6
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	174	215	179	200	212	174	198	173	186	256	192	290	2,449
腹部	Plain	145	143	155	153	147	160	158	134	146	140	120	165	1,766
	CE	6	3	6	4	5	5	5	5	5	2	5	5	56
	Plain + CE	22	14	16	24	25	21	23	25	20	26	18	23	257
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	173	160	177	181	177	186	186	164	171	168	143	193	2,079
脊椎	Plain	2	3	4	2	8	0	0	2	1	1	3	0	26
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2	3	4	2	8	0	0	2	1	1	3	0	26

関節等・	Plain	18	18	14	20	12	13	12	10	5	20	7	7	156
	CE	1	0	1	0	1	2	2	0	1	2	2	1	13
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	19	18	15	20	13	15	14	10	6	22	9	8	169
その他	Plain	12	13	22	13	23	22	19	10	14	13	16	29	206
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	Plain + CE	1	0	0	1	5	0	3	0	2	0	1	0	13
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	13	13	22	14	28	22	22	10	17	13	17	29	220
計	458	509	558	549	578	508	536	451	483	550	483	636	6,299	

(統計：放射線科)

画像処理には、3D, CTA, AngioCT, MPR, mip等の処理。

部位別【MRI】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭頸部	Plain	14	12	16	15	16	29	21	13	11	15	13	13	188
	CE	2	1	1	0	2	0	0	1	0	1	1	0	9
	Plain + CE	2	3	2	3	2	2	1	2	2	3	1	4	27
	MRA	32	27	47	51	44	43	46	33	33	25	27	52	460
	小計	50	43	66	69	64	74	68	49	46	44	42	69	684
胸部	Plain	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
	CE	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	Plain + CE	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2	0	6
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1	0	3	1	1	2	0	0	1	0	2	0	11
腹部	Plain	11	21	13	15	13	18	16	20	12	13	14	27	193
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	Plain + CE	5	3	3	3	0	0	2	1	1	1	4	4	27
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	16	24	16	18	13	18	18	21	13	15	18	31	221
脊椎	Plain	45	35	49	39	54	41	41	25	33	23	26	60	471
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	45	35	49	39	54	41	41	25	33	23	26	60	471
関節等・	Plain	38	24	28	24	44	29	32	15	30	25	19	35	343
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38	24	28	24	45	29	32	15	31	25	19	35	345
その他	Plain	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Plain + CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MRA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	150	126	162	151	177	164	159	110	124	107	107	195	1,732	

MRAは腹部の場合にはMRCPを含む。

(統計：放射線科)

機能別病棟

- (1) 2025年に向けて、より効率的な医療提供体制の方向に進め、急性期からリハビリを活用して回復期リハビリ・在宅復帰支援と在宅医療の医療提供を行い、精神科医療と併せて入院から社会復帰できる支援を行う「地域密着型病院」を目指しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大から特に3-2病棟のクラスター発生に伴う大幅な患者減少をはじめ各病棟稼働率の低下となりました。
- (2) 業務効率向上・情報の共有化・データ一元管理・医療安全の確保、退院促進を実施し効果的な運用を目指しました。
- (3) 平均在院日数短縮にむけて積極的な新規入院患者の獲得や退院・転棟を実施しました。
- (4) 初期認知症対応型の地域包括ケア病棟を運用し、入院時から退院にむけてチーム医療で在宅復帰の支援を行い、施設基準を4から2へランクアップを行いました。
- (5) 回復期リハビリテーション病棟について、看護配置を見直し、重症者の受け入れを行い退院時に受ける日常生活機能の改善を図り施設基準を4から2へランクアップを行いました。
- (6) 中期計画（3年計画）“トヨサトチャレンジ6”の最終年であり、医療の質の向上の、医療安全・感染対策の徹底、病院の効率運営、並びに稼働率90%を目指しましたが。新型コロナウイルス感染拡大により77%となりました。
- (7) 精神科急性期病棟も安定稼働を行い急性期から慢性期治療をそれぞれ特化し新規患者の獲得と退院支援が出来ました。

機能別病棟

2020（令和2年）度実績

病棟	定数	年間延人数	一日当り	稼働率
一般病棟	186	50,500	138	74%
3-3（一般急性期）	51	14,560	40	78%
3-4（一般急性期）	54	15,088	41	77%
3-2（地域包括ケア）	51	10,537	29	57%
5-2（回復期リハ）	30	10,315	28	94%
療養病棟 1-3（地域包括ケア・初期認知症）	32	7,545	21	65%
精神病棟	120	36,804	101	84%
3-5（精神療養）	60	19,367	53	88%
3-6（精神急性期）	60	17,437	48	80%
合計	338	94,849	260	77%

臨床検査科

① スタッフ

高木敬文（医長）

福本喜之（医療技術部長 兼 検査科科长）

臨床検査技師 7名

（常勤3名、非常勤1名、メディック3名）

② 活動状況

2020年度における検査件数は、検体検査が437,345件（88.0%）生理検査が7,319件（93.3%）で検体検査は前年度比12%減、生理検査は前年度比6.7%減となった。今年度はコロナウイルス流行の影響もあり、検体検査では全分類が同比に減少している。中でも免疫学検査が前年度33.0%と減少しているのが全体の比率に大きく影響していると思われる。生理検査も同様にコロナ禍における影響を受けたのが、FVカーブ、負荷心電図検査で、前年度比58.3～66.7%と大きく減少。他の検査も同様に減少傾向は見られており、肺機能検査35.6%、Holter心電図25.8%、頸動脈エコー24.5%と大きな減少をみせた。新規検査項目として前年度3月から開始した乳腺超音波検査・甲状腺超音波検査が180%、6月に開始したNOガス分析検査が検査件数の増となり、全体として6.7%減に留まった。また患者様をお待たせする事無く、臨床に迅速に結果を報告するため、緊急検体検査は30分以内、脳波・心電図・心臓エコー・下肢エコー・腹部エコー・乳腺エコーも予約外オーダーに対応、即時対応しタイムリーに結果を報告している。

検査科の基本理念である「迅速・正確・丁寧な臨床検査」を保証するために日々の内部精度管理はもとより、外部精度管理として日本医師会、日本臨床検査技師会、滋賀県臨床検査技師会サーベイに毎年参加している。2020年度においては、日本臨床検査技師会の参加が不可能であったが、滋賀県技師会の精度管理では全ての項目でA評価を、また日本医師会の精度管理で今年は100.0点と高評価が得られた。（本精度管理は検査のレベルを計る指標となっている。）

最後に研修会への参加も積極的に進めており、各種学会・研修会への参加、院内での勉強会・講習会等の開催を行い、日常業務における検査レベルの向上を行っている。

生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	335	267	390	383	321	380	367	314	263	251	313	307	3,891
負荷心電図	2	2	0	1	1	6	0	0	0	1	1	1	15
ホルター心電図	8	6	5	6	5	9	6	7	5	3	7	5	72
肺気量分画・FVカーブ	31	19	73	98	95	64	73	75	55	62	67	68	780
フローボリュームカーブ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
NOガス分析	0	0	24	27	10	13	23	21	11	11	9	14	163
脳波 12 L	7	3	14	5	13	16	10	8	10	9	9	8	112
脳波 12 L 負荷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終夜睡眠ポリグラフ	5	2	4	6	4	6	7	2	3	4	3	7	53
血管伸展性検査	14	13	19	14	16	6	18	17	12	16	19	18	182
心エコーグラム	56	56	75	68	63	75	78	63	49	56	63	68	770
腹部エコーグラム	26	25	47	61	58	62	53	57	48	47	45	37	566
頸動脈エコーグラム	2	0	8	7	2	2	3	7	2	1	0	6	40
下肢血管エコーグラム	5	5	2	7	6	4	5	4	7	4	3	3	55
乳腺エコーグラム	1	0	1	3	0	6	1	3	1	0	0	0	16
内臓脂肪検査	1	0	0	2	0	1	2	3	3	4	3	1	20
聴力検査	35	37	59	66	45	63	76	66	36	38	51	42	614
計	528	435	722	754	605	713	722	647	505	509	678	585	7,319

検体検査件数

【院内】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度 合計
一般検査(尿・便)	680	773	803	789	705	782	1,277	701	624	624	634	683	9,075
血液学検査	2,138	1,995	2,276	2,247	2,343	2,261	2,180	1,983	1,920	1,911	2,003	2,324	25,581
生化学検査Ⅰ	21,673	20,734	23,863	23,354	24,228	23,555	22,071	20,666	19,442	19,405	20,384	24,384	263,759
生化学検査Ⅱ	417	412	501	483	498	479	450	393	396	388	396	468	5,281
免疫学検査	1,094	958	1,089	1,073	1,081	1,056	948	956	838	919	947	1,105	12,064
微生物学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病理学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血中薬物検査	15	30	15	26	16	28	19	14	19	21	14	32	249
輸血検査	31	19	29	33	24	23	15	19	23	7	16	16	255
合計	26,048	24,921	28,576	28,005	28,895	28,184	26,960	24,732	23,262	23,275	24,394	29,012	316,264

【院外】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度 合計
一般検査(尿・便)	208	191	303	324	289	320	382	290	198	225	267	214	3,211
血液学検査	1,393	1,247	1,469	1,532	1,459	1,665	1,597	1,470	1,282	1,308	1,347	1,437	17,206
生化学検査Ⅰ	5,458	4,502	6,137	6,298	5,751	7,614	6,773	5,976	5,290	5,060	5,414	6,332	70,605
生化学検査Ⅱ	750	693	851	770	765	860	802	745	731	717	714	784	9,182
免疫学検査	943	795	825	814	738	793	821	783	681	699	780	807	9,479
微生物学検査	853	693	918	931	610	759	797	656	614	617	754	982	9,184
病理学検査	134	138	142	157	165	131	183	140	126	136	138	158	1,748
血中薬物検査	26	20	22	30	20	108	27	23	29	22	15	96	438
輸血検査	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
機能検査	0	6	2	2	2	2	0	0	0	4	0	7	25
合計	9,766	8,285	10,669	10,858	9,799	12,252	11,383	10,083	8,951	8,788	9,430	10,817	121,081

注) 検体検査は1項目1件 輸血検査は交叉試験でIパック1件
(統計:株式会社メディック)

【分類別合計】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度 合計
一般検査(尿・便)	888	964	1,106	1,113	994	1,102	1,659	991	822	849	901	897	12,286
血液学検査	3,531	3,242	3,745	3,779	3,802	3,926	3,777	3,453	3,202	3,219	3,350	3,761	42,787
生化学検査Ⅰ	27,131	25,236	30,000	29,652	29,979	31,169	28,844	26,642	24,732	24,465	25,798	30,716	334,364
生化学検査Ⅱ	1,167	1,105	1,352	1,253	1,263	1,339	1,252	1,138	1,127	1,105	1,110	1,252	14,463
免疫学検査	2,037	1,753	1,914	1,887	1,819	1,849	1,769	1,739	1,519	1,618	1,727	1,912	21,543
微生物学検査	853	693	918	931	610	759	797	656	614	617	754	982	9,184
病理学検査	134	138	142	157	165	131	183	140	126	136	138	158	1,748
血中薬物検査	41	50	37	56	36	136	46	37	48	43	29	128	687
輸血検査	32	19	29	33	24	23	16	19	23	7	17	16	258
機能検査	0	6	2	2	2	2	0	0	0	4	0	7	25
合計	35,814	33,206	39,245	38,863	38,694	40,436	38,343	34,815	32,213	32,063	33,824	39,829	437,345

※ 2019年度合計件数 502,530件 前年度比 87.0%

医療安全室

① スタッフ

曾我 弘樹	医療安全室室長	福本 喜之	医療機器安全管理責任者
田畑 靖代	医療安全管理者	岡田 尚也	医薬品安全管理責任者
横田 こず江	医療安全管理者	岡村 昌彦	事務員
片山 美穂	看護部長 (医療安全管理者)		

② 活動内容

医療安全の確立を図り、安全な医療の遂行を徹底するため、個人の責任追及ではなく医療安全管理システムの問題として捉え、医療安全室のメンバーが中心に組織横断的に取り組む。

- ・ インシデント・アクシデントレポートの内容確認、集積の集計と分析、再発防止策の立案
- ・ 院内を巡回し、マニュアルの遵守、改善策の状況確認を行うとともに、必要な指導
- ・ 医療安全マニュアルの作成と見直し
- ・ M & M カンファレンスの実施
- ・ 医療事故発生時には報告または連絡を受け、直ちに状況把握を行い対応を行う
- ・ 医療安全地域連携に関する活動 (連携訪問による相互評価 年1回)
- ・ 医療安全の教育・指導・研修会の計画・実施・評価
- ・ 患者相談窓口担当者と連携及び医療安全対策に係る患者・家族の相談対応

③ 医療安全研修会報告

- 第1回 DVD研修 ①安全のための改善活動 ～私ができる医療安全
②現場でできるヒューマンエラー対策
③医療安全 ～事故防止の基本心構え、事故発生時の対応～
参加者：377名

2020年11月2日～12月7日まで

第2回 「事故調査制度に基づいた事例報告」 参加者：368名

2020年3月29日 17:15～18:10

コロナ対策人数制限を行い実施、他の職員はDVD研修

④ 2021年度の取り組み

- ・ インシデント・アクシデントレポート報告を分析し改善策を立案し業務改善に繋げる。
- ・ インシデント・アクシデントレポート報告によりマニュアルの作成や修正を行う。
- ・ 医療安全地域連携の活動
- ・ 医療安全研修 (企画・運営)
- ・ M & M カンファレンスの取り組み

感染管理室

① スタッフ

伊部邦宏 室長 感染制御医 (ICD)

竹内淑江 感染管理認定看護師 (CNIC)

堀江美紀 感染管理認定看護師 (CNIC)

感染制御医 (ICD) 1名と感染管理認定看護師 (CNIC) 2名、薬剤師1名、検査技師1名が感染対策チーム (ICT) の中核となり、それぞれの専門性を活かし連携しながら感染対策に関する問題点を把握し改善策を講じるなど、組織横断的な活動を行う。また、近隣の医療機関とも連携・協力しながら地域全体の感染対策のレベルアップに取り組む。

② 活動内容

- 1) 各種関連委員会との連携・調整
- 2) 感染症の流行状況・感染情報の収集と把握、対策検討
- 3) サーベイランス
耐性菌、手指消毒剤使用量、CLABSI (中心ライン関連血流感染)、血液体液曝露など
- 4) ICT ラウンド；1回/週
- 5) AST カンファレンス (抗菌薬適正使用、血培陽性患者等)；1回/週
- 6) 職業感染対策 (B型肝炎、流行性ウイルス疾患等)
- 7) 感染対策システムの構築とマニュアル作成・改訂
- 8) 感染対策の教育・指導、研修会の計画・実施・評価
- 9) 感染対策相談 (コンサルテーション)
- 10) アウトブレイク対応
- 11) 感染対策地域連携に関する活動 (合同カンファレンス8回、相互評価ラウンド2回実施)
- 12) COVID-19 対策

③ 研修会

* 全体研修

第1回 新型コロナウイルス特別講習会 DVD 研修

第2回 感染対策間違い探し

* AST 研修

第1回 抗菌薬適正使用のための院内研修；医師対象

第2回 抗菌薬適正使用のための院内研修；医師以外の各部署所属長対象

④ 2020年度の取り組み

- 1) アサーティブコミュニケーションを取り入れた積極的な助言・指摘による感染対策の強化
- 2) COVID-19 対応 (帰国者接触者外来・発熱トリアージ外来・クラスター対策・ワクチン接種)
- 3) 地域連携活動 (5 医療機関との合同カンファレンスと 4 医療機関との相互評価ラウンドおよび感染相談) による感染対策のレベルアップ

血液浄化センター

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・センター長）

常勤兼務 3人 非常勤 5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

2003年8月以来、導入・維持期の血液透析血液濾過透析を中心に実施している。
透析看護認定看護師在籍。

人工透析実績

月	患者数	外来数	入院数	新規導入			転帰			治療方法										手術 (当院)
				新規患者	紹介(転入)	導入	離脱	転院	死亡	血液透析	腹水透析	吸着療法	血漿交換	白血球採取	幹細胞採取	体外循環	HDF	CAPD	他	
4	646	597	49	0	0	0	0	1	1	586	0	0	0	0	0	1	20	0	39	2
5	641	604	37	1	0	1	0	0	0	589	0	0	0	0	0	0	13	0	39	1
6	663	618	45	1	0	0	0	0	0	611	0	0	0	0	0	0	13	0	39	1
7	698	663	35	0	0	0	0	0	0	622	0	0	0	0	0	0	13	0	63	1
8	666	628	38	1	0	0	0	0	0	579	0	0	0	0	0	0	22	0	65	1
9	665	628	37	1	0	0	0	1	1	590	0	0	0	0	0	0	16	0	59	1
10	681	632	49	1	1	0	0	0	0	608	0	0	0	0	0	0	14	0	59	1
11	626	576	50	0	0	0	0	1	1	564	0	0	0	0	0	0	12	0	50	1
12	651	614	37	1	0	1	0	0	1	583	0	0	0	0	0	0	14	0	54	1
1	622	594	28	1	0	0	0	0	1	557	0	0	0	0	0	0	13	0	52	2
2	573	536	37	0	0	0	0	0	0	513	0	0	0	0	0	0	12	0	48	2
3	647	613	34	0	0	0	0	0	0	580	0	0	0	0	0	0	13	0	54	1
合計	7,779	7,303	476	7	1	2	0	3	5	6,982	0	0	0	0	0	1	175	0	621	15

内視鏡センター

① スタッフ

門元優（医長・センター長）

常勤 1人 非常勤 6人 看護師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

上部消化管内視鏡（経口内視鏡・経鼻内視鏡）および下部内視鏡、腹部超音波を用いて消化器疾患の診断、悪性病変の早期発見に努めている。

内視鏡機器の進歩に伴って増加している内視鏡治療にも力を入れ消化管出血止血術、早期癌切除術、総胆管結石除去術など地域の消化器疾患撲滅を目標に治療を行っている。

内視鏡件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
BF	B F	1	1	1	0	1	0	1	2	0	0	1	1	9
CF	C F	19	17	21	35	36	24	31	36	29	38	27	32	345
	ポリペクEMR	5	3	6	8	11	5	13	5	4	7	7	5	79
	その他	0	2	0	0	0	0	1	3	1	2	0	0	5
GF	G F	44	32	115	138	115	131	132	115	86	97	103	89	1,197
	ERCP	0	2	1	0	0	2	1	1	0	3	1	0	11
	ESD	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	8
	PEG造設	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
	PEG交換	2	3	4	1	0	4	2	1	3	3	0	2	25

(統計：内視鏡センター)

健診センター

① スタッフ

常勤 1人 非常勤 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

一般健診・日帰りドック・乳癌検診・子宮頸癌検診・生活習慣病予防検診・脳ドック（脳動脈瘤、脳腫瘍の早期発見、脳血管障害予防等）など、あらゆる健診に対応しております。

人間ドック・一般検診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人間ドック	7	6	20	29	31	26	28	31	31	30	25	16	280
一般健診	53	41	84	75	50	67	88	66	35	44	58	48	709
その他健診	8	9	12	26	23	46	31	24	6	7	11	5	208
合計	68	56	116	130	104	139	147	121	72	81	94	69	1,197

(統計：健診)

認知症疾患医療センター

① スタッフ

成田 実（部長・センター長）

常勤 1人 非常勤 1人

精神保健福祉士 専属1名、兼務1名

臨床心理技術者 兼務1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理事件数	15	22	43	29	32	26	34	16	19	23	24	31	314

新規受理事件数（地域別）

地域別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
彦根	7	11	21	11	12	16	18	8	11	7	14	14	150
多賀	1	2	0	2	3	3	2	1	1	4	0	3	22
甲良	1	2	8	3	3	2	6	2	2	4	1	2	36
豊郷	3	2	2	2	4	1	0	3	2	2	5	6	32
愛荘	2	3	5	3	4	3	4	1	2	2	1	3	33
東近江	1	1	7	8	5	0	3	1	0	2	2	3	33
その他	0	1	0	1	1	1	1	0	1	2	0	0	8
小計	15	22	43	30	32	26	34	16	19	23	23	31	314

新規受理事件数（紹介元別）

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科診療所	6	9	14	9	9	6	10	3	3	6	8	7	0
精神科診療所	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
病院	1	0	1	1	3	2	1	1	0	0	1	1	12
保健所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
市町	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
地域包括支援センター	1	0	1	0	3	1	1	4	0	4	1	1	17
DS、訪問Ns、HH	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	5
居宅介護支援事業所(CM)	0	4	5	6	2	1	5	3	4	0	5	2	37
家族	2	2	8	3	8	6	7	0	4	6	1	4	51
老健・入所施設・サ高住	0	2	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	9
院内	3	2	6	6	4	3	8	2	2	5	2	12	55
その他	2	2	4	3	1	4	0	1	5	1	5	3	31
合計	15	22	43	29	32	26	34	16	19	23	24	31	314

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

本年はなし

回復期リハビリテーションセンター

① スタッフ

医師（センター長）	木築 裕彦	作業療法士	6名
看護師長	外川 栄子	言語聴覚士	1名
看護師（含准看護師）	18名	薬剤師	1名
リハビリテーション係長	近藤 則子	ケアワーカー・クラーク	6名
理学療法士	6名	医療ソーシャルワーカー	3名

② 特色・症例・治療・成績・実績

豊郷病院回復期リハビリテーションセンターでは、急性期での治療後患者様が安心して在宅での生活をしていただくために、入院による回復期リハビリテーションを行っております。

2020 年度ご紹介元医療施設

彦根市立病院	98 件
湖東記念病院	15 件
その他病院	12 件
当院一般急性期病棟	24 件
当院地域包括病院	3 件
計	152 件

2020 年度疾患別のべ症例件数

運動期リハビリテーション	325 件
脳血管リハビリテーション	103 件
廃用症候群リハビリテーション	7 件
計	435 件

在宅療養サポートセンター（とよサポ）

① スタッフ

古川みどり（センター長・師長） 堀尾素子（認知症認定看護師・師長）
常勤兼務 1 人 非常勤兼務 1 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

2016（平成 28 年）4 月開設。患者様ならびにご家族の療養生活をサポートするセンターで専門看護師が常駐し病気に関する疑問や暮らし方についての相談を受付けております。住まいの開業医や地域包括支援センター、担当ケアマネージャー、訪問看護師と協力して療養生活をサポートします。院内では管理栄養士、薬剤師、医療相談員とも協議し食事のことから薬や認知症のことその他不安なこと疑問などの安心を届ける窓口として活動しております。

とよサポ相談件数

	病院 診療所	訪問 Ns	ケア マネ	施設	外来 Ns	病棟 Ns	患者 家族	院内 他職種	地域 包括	その 他	とよ サポ	年間 合計	月間
													一日
一般相談	-	781	790	118	419	91	315	395	275	101	1,053	4,338	365.5 14.7
認知症相談	13	49	237	38	38	81	298	55	94	11	543	1,457	121.4 4.9
合計	13	830	1,027	156	457	172	613	450	369	112	1,596	5,795	482.9 19.31

3 愛知・犬上医師連絡会

講演・研究発表

日時・場所・内容

年間予定 2020年6月12日(金)

9月11日(金)

2021年1月21日(木)

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、すべて中止

地域連携室事業

4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル

□ 公開セミナー

新型コロナウイルス感染症拡大状況により、企画できず

□ 出前講座

◇日時： 2020年(R2)年11月8日(日) 9時40分～10時40分

場所： 愛荘町栗田老人憩いの家

依頼元： 愛荘町栗田老人クラブ

テーマ： 『正しい薬の飲み方について』

講演： 師長 古川みどり 看護師

◇日時： 2021(R3)年2月27日(土) 13時30分～14時30分

⇒ 中止(新型コロナウイルス感染拡大防止の為)

場所： 多賀町中央公民館

依頼元： 多賀町

テーマ： 『認知症』

講演： 副院長(認知症疾患医療センター長) 成田 実 医師

◇日時： 2021(R3)年2月27日(土) 9時30分～11時00分

⇒ 中止(新型コロナウイルス感染拡大防止の為)

場所： 甲良町

依頼元： 甲良町デイサービスけやき

テーマ： 『テーマ未定』

講演： 副院長(認知症疾患医療センター長) 成田 実 医師

□ 豊郷町健康フェスティバル

⇒中止(新型コロナウイルス感染拡大防止の為)

◇健康啓発コーナー(各種測定、相談など)

日時： 2020(R2)年10月18日(日)

場所： 豊郷町民体育館 談話室

◇救護班(けがや体調不良の救急処置など)

日時： 2020(R2)年10月18日(日)

場所： 豊郷町民体育館 玄関前大会本部

地域連携室事業

5 全職員研修会

	日 時	テーマ	担 当
1	10月28日 17:00～18:00	事務部勉強会 「入院収入最大化 web セミナー」	医事課長・企画財務課長
2	11月2日	医療安全 DVD 研修会 ①安全のための改善活動 ②現場でできるヒューマンエラー対策 ③医療安全～事故防止の基本的心構え	医療安全管理対策委員会 医療安全室
3	11月	感染防止対策 DVD 研修会 ① COVID-19: 臨床像・画像・経過 ②新型コロナウイルス感染症 ③ COVID-19 環境整備・個人防護具の適正使用 ④環境消毒 ⑤発熱外来、専用病床・擬似症病床 ⑥非 COVID 病床 ⑦院内感染発生時の初期対応 ⑧高齢者施設との連携 ⑨行政・保健所との連携 ⑩地域における医療連携	院内感染防止対策委員会 感染管理室
4	11月	医療ガス安全オンライン研修会	医療ガス安全委員会
5	11月	医療放射線安全管理オンライン研修会	医療放射線安全管理委員会
6	1月13日	人権研修会 ①新型コロナウイルス感染に関する人権の配慮 ②ウイルスの次にやってくるもの ③新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう ④とくしまこころのサポート2 ⑤とくしまこころのサポート3	人権教育推進委員会
7	3月16日	感染防止対策研修会「間違い探しクイズ」	院内感染防止対策委員会 感染管理室
8	3月29日 17:15～	医療安全研修会 「医療事故調査制度に基づいた報告事例」	医療安全管理対策委員会 医療安全室

6 災害総合避難訓練

目的 医療に従事する者として、火災発生時に患者さんの立場に立って避難誘導をどのようにすればよいか、また患者さんに安心して使用していただくための避難器具を体験して技術を習得することを目的とする。

日時 2020(令和2)年10月20日(火)午後2時00分(想定 午後2時00)

訓練の内容

① M7.5の地震発生、直ちに全館放送にて全職員に連絡を行い、各所属長が施設等に被害の状況を確認し本部(3病棟1階北出入口付近)へ報告。

② 訓練火災警報発令(①から約3分後)

地震訓練に引き続き火災訓練を実施。

現場は3病棟3階デイルーム付近から、火災報知機のベルが鳴り、自動火災警報が作動。延焼の恐れあり、直ちに全館放送が流れ、初期消火、避難誘導を行う。

③ 避難誘導実施

模擬患者配置(午後2時03分に各自配置につく)

3病棟3階A棟西側付近(約20名前後)に集合。模擬患者役として新人職員ならびに准看護学院の生徒が参加。訓練といえど真剣に取り組むことを指導。

④ 避難器具の訓練

スカイダー(らせん階段)を利用して避難訓練を実施。

必ず防火班員の指示に従い、落ち着いて安全に実施すること。

担送や護送の患者役は、救護班の要請が有り、担架や補助器具を利用し搬送されるので、その指示に従い速やかに避難場所まで移動。

⑤ スカイダー訓練終了後、引き続きトリアージ訓練を行う。

⑥ 消火器の取り扱い説明と実射訓練

⑦ 消防署員による講評

⑧ 院長による講評 終了

防災管理者 山本 洋道

7 ボランティア活動

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項
 - ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
 - ・ボランティア保険の加入について
 - ・催し（七夕コンサート / 生け花の展示 / 病棟レクボランティア等）について
- (3) ボランティアの活動
 - 1、拡大紙芝居 毎月1回 定期実施（サロンひまわり）
※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止
 - 2、生け花展示 ①2020年 6月30日～ 7月 8日実施
②2020年12月15日～12月22日実施
 - 3、七夕コンサート 年1回7月開催
※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止
 - 4、花壇の整備 随時
 - 5、精神科病棟、回復期病棟でのボランティア：臨時（単発）
- (4) 交流会の開催
 - 目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等
 - ※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止

ボランティア運営委員会事業

8 院内（外）地域交流活動

1. 職員献血運動	4月27日（月） 9月14日（月）
2. 院外周辺美化運動	5月25日（月） 10月14日（水）
3. 宇曾川・街並みクリーン作戦 （豊郷町行事参加）	中止
4. とっとまつり （豊郷町行事参加）	中止
5. 豊郷町健康フェスティバル （各種測定・看護栄養相談）	中止
6. 物故者追弔会	12月14日（月）
7. 地藏盆・盂蘭盆会・ 新型コロナウイルス感染症終息祈願・邪気払い法要	8月19日（水）
8. 夏祭り	中止
9. 地域に向けた公開セミナー	中止
10. 七夕コンサート	中止
11. 出前講座	11月8日（日）

※本年2020年は新型コロナウイルス感染症のためあらゆる地域交流活動が中止となりました。

9 実習生受入状況

診療部

滋賀医科大学 精神科研修医 2020年7月1日～7月31日 1名
 ※コロナ禍にて例年通りの実習等に行えなくなった。

[理学療法(一般科・回復期)]

京都橘大学	令和2年7月13日～8月21日	1名
	令和2年8月31日～10月9日	1名
滋賀医療技術専門学校	令和2年9月7日～9月20日	2名
	令和2年9月21日～10月4日	2名
京都医健専門学校	令和2年8月3日～10月2日	1名
愛媛十全医療学院	令和2年7月13日～8月29日	2名
	令和2年9月7日～10月31日	2名
近畿リハビリテーション学院	令和2年10月19日～11月14日	1名
	計12名	

[作業療法(一般科・回復期病棟)]

滋賀医療技術専門学校	令和2年9月7日～9月18日	1名
	令和2年10月5日～10月16日	1名
	計2名	

[作業療法(精神科)]

滋賀医療技術専門学校	令和2年8月24日～10月27日	1名
	計1名	

[言語聴覚療法学科(一般科・回復期病棟)]

大阪医療技術学園専門学校	令和2年7月6日～8月4日	4名
	令和2年8月17日～9月11日	3名
サンビレッジ国際医療福祉学院	令和2年9月14日～10月11日	1名
	計8名	

看護部

[看護実習]

聖泉大学	老年看護学実習 (3週間)	2020年11月	1-3病棟	1グループ (5名)
聖泉大学	老年看護学実習 (3週間)	2020年11月～12月	1-3病棟	1グループ (5名)

聖泉大学	老年看護学実習 (3週間)	2021年1月	3-2病棟	1グループ (5名)
聖泉大学	老年看護学実習Ⅱ (3週間)	2021年1月	3-2病棟	1グループ (5名)
聖泉大学	老年看護学実習Ⅱ (3週間)	2021年1月～2月	3-2病棟	1グループ (6名)
聖泉大学	老年看護学実習Ⅱ (3週間)	2021年2月～3月	3-2病棟	1グループ (5名)
聖泉大学	老年看護学実習Ⅱ (3週間)	2021年2月～3月	5-2病棟	1グループ (5名)
聖泉大学	精神看護学実習 (2週間)	2020年2月	3-5病棟	2グループ (10名)
聖泉大学	精神看護学実習 (2週間)	2021年3月	3-5病棟	1グループ (5名)
聖泉大学	精神看護学実習 (2週間)	2021年2月	3-6病棟	1グループ (5名)
聖泉大学	精神看護学実習 (2週間)	2021年3月	3-6病棟	1グループ (5名)
福岡看護専門学校	成人看護学実習 (2日間)	2020年8月	3-3病棟	2名
福岡看護専門学校	老年看護学実習 (2日間)	2020年8月	3-4病棟	2名
福岡看護専門学校	看護の統合と実践実習 (2日間)	2020年8月	5-2病棟	2名
福岡看護専門学校	精神看護学実習 (2日間)	2020年9月	3-6病棟	2名
滋賀県立大学	老年看護学実習 (2週間)	2020年9月～10月	5-2病棟	3グループ (20名)
豊郷病院准看護学院	基礎実習Ⅰ (1週間)	2020年7月	3-3・3-4病棟	2グループ (8名)
豊郷病院准看護学院	基礎実習Ⅱ (2週間)	2020年10月	3-3・3-4病棟	2グループ (8名)
豊郷病院准看護学院	基礎実習Ⅲ (3週間)	2021年2月	3-4・1-3病棟	2グループ (8名)
豊郷病院准看護学院	精神看護実習 (3週間)	2020年7月～8月	3-5・3-6病棟	2グループ (8名)
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習Ⅰ (3週間)	2020年7月	3-2・3-3・3-4病棟	3グループ (7名)
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習Ⅱ (3週間)	2019年8月	3-2・3-3病棟	3グループ (7名)
豊郷病院准看護学院	成人老年看護実習Ⅲ (3週間)	2019年11月	3-2・3-3・3-4病棟	3グループ (7名)

[養護教諭実習]

びわこ学院大学 養護教諭看護臨床実習 (10日間) 2021年2月 2名

医療福祉相談室

パストラールとよさと	2020年4月13日～4月18日	1名
マックスとよさと	2020年4月22日	1名
看護学生	2020年7月28日	4名
看護学生	2020年7月31日	2名
京都文教大学 見学実習	2020年8月3日	1名
びわこ学院大学 看護実習生	2021年2月15日	2名

薬 剤 部

大阪薬科大学	2020年8月24日～2020年11月8日	1名
京都薬科大学	2021年1月5日～2021年3月21日	1名

10 受賞・表彰関係

【院内表彰】

2021 / 1 / 4

永年勤続 20 年表彰

医師（代表理事）

理学療法士（主任）

作業療法士

看護師（地域包括統括部長）

看護師（師長）

看護師（係長）

看護師（主任）

看護師

准看護師

ケアワーカー

ケアワーカー

佐藤 公彦

北川 恭子

山田 由香

力石 泉

竹内 淑江

森田 美恵

渡邊 加代

小倉 実菜子

奥井 まゆみ

今村 いすみ

古川 かおる

【院外表彰】

滋賀県病院協会永年勤続 30 年表彰

薬剤師・科長

臨床検査技師

医技助手

看護師・副部長・師長

看護師・師長

看護師・係長

看護師・係長

看護師・係長

看護師

看護師

ケアワーカー

ケアワーカー

ケアワーカー

ソーシャルワーカー・事務長

事務職員・主任

中村 薫

松本 善光

北川 真由美

加藤 郁

田畑 靖代

伊知地 佳代

中江 喜久枝

羽田 美由紀

山口 香織

塚本 安江

古川 かおる

鈴木 みつ江

衣川 栄子

菅原 幸一

西村 誠二

滋賀県病院協会永年勤続 15 年表彰

医師・内科部長

薬剤師・部長

看護師・主任

看護師

看護師

准看護師

事務職員・係長

事務職員・診療情報管理士・係長

介護福祉士・主任

介護福祉士

介護福祉士

介護士

介護支援専門員

高木 敬文

岡田 尚也

仮屋 隆史

西川 由希子

岩崎 恵美

円城 美由紀

多林 晴美

清水 宏美

西村 俊秋

川村 知子

山林 優子

松居 朱実

谷口 節子

11 各種委員会報告

医療倫理委員会

人間を直接の対象とした医療行為および医学的研究行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に添った倫理的配慮のもとに行なわれること。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項
 - ・ COVID-19 に効果がある可能性の薬剤の適応外使用について
 - ・ 非弁膜性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究
All Nippon AF In Elderly Registry — ANAFIE Registry —
- (3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 6 名 (内地域住民代表 1 名)

輸血療法委員会

輸血、輸注の適切な使用および実施に伴う事故防止を図る。輸血療法が安全・適正かつ経済的に行われることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 年 6 回 偶数月の第 1 金曜日
- (2) 審議事項
 - ・ 1 か月ごとの使用状況の把握
 - ・ 1 か月ごとの科別使用率の把握
 - ・ 1 か月ごとの緊急で注文のあった血液単位数の把握
 - ・ 1 か月ごとの血液製剤の廃棄金額の把握
 - ・ 学会の報告、業務改善について
 - ・ 輸血業務に関する基準・手順について
- (3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 5 名 株式会社メディック 1 名

薬事委員会

病院の薬事に関する基本方針を定め、その方針にそって院内薬事業務を円滑に遂行する。

活動状況

- (1) 開催時期 原則 月 1 回 第 3 金曜日
- (2) 審議事項
 - ・ 新規仮採用医薬品の審議
新規仮採用医薬品の「医薬品仮採用願」の提出期限は前月 25 日までとし、申請できる医師は原則として医長以上とする。
 - ・ 採用削除医薬品の審議
削除する医薬品については残量を全医師に報告し、使用を促進する。
 - ・ 本採用医薬品の審議
本採用医薬品とは仮採用後、3 か月経過した医薬品のことをいう。
副作用の発現など問題がなければ本採用。
 - ・ 医薬品の適切な使用方法の協議
 - ・ 在庫医薬品の適切な管理と運用

- ・医薬品の副作用の検討
院内副作用報告書、厚生労働省医薬品等安全性情報など
 - ・その他薬事関係で円滑な病院運営に必要な事項の審議
- (3) 人員構成 委員長(薬剤部長)、常勤医師、看護部長(必要時他部門も出席)
※委員長に事故ある時は、病院長がその職務を代行する。

安全衛生委員会

職場における従業員の安全と健康を確保するため必要な業務を行う。

医療安全室との連携による院内感染防止対策

活動状況

- (1) 開催時期 月1回第1金曜日
- (2) 審議事項
- ・定期健康診断の実施
- 春の健康診断 5月26日(火)～28日(木)の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後4日間追加実施
対象者：夜勤・当直・電離関係者
- 秋の健康診断 10月27日(火)～29日(木)の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後5日間追加実施
対象者：全職員
- ・春・秋・年末の交通安全運動の推進
 - ・労働災害減少に向けた啓発活動
 - ・労働者の精神的健康の保持増進に向けた取り組み
 - ・ストレスチェック実施
- (3) 人員構成 委員長、産業医、衛生管理者3名、医療安全室1名、委員11名

院内感染防止対策委員会

院内感染防止に関する事項を審議し必要な感染対策の方針を決定する。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月1回 第4木曜日 16:30～
11月より 第4水曜日 17:00
- (2) 審議事項
- ①入院患者のMRSA、ESBL産生菌、MRCNS等の耐性菌等の検出状況
 - ②病院全体の細菌検出状況
 - ③血液培養検査の実施状況と検出結果等
 - ④手指消毒剤の使用量結果、向上のための取り組み
 - ⑤感染症の流行状況(院内・院外)の把握、早期発見、対応
 - ⑥血液・体液曝露報告
 - ⑦職員のインフルエンザ予防接種関連について
 - ⑧感染対策研修会の計画・実施・評価
 - ⑨CLABSI(中心ライン関連血流感染)サーベイランス結果
 - ⑩感染対策加算に伴う合同カンファレンスおよび相互評価の実施報告

⑪結核患者の発生報告

⑫抗菌薬の使用量

⑬新型コロナウイルス感染症対策（帰国者接触者外来・職員の就業制限・発熱外来等）

⑭ COVID-19 クラスタ発生対応

(3) 人員構成 委員長1名 委員15名 メディック職員1名

院内感染コントロールチーム (ICT委員会)

院内感染の予防を目的に、各部署の現状を把握してチームとして取り組む。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第2金曜日

(2) 審議事項 ・院内ラウンドの実施（毎週1回）

・抗菌薬ラウンドの実施（第1週・第2週・第5週 木曜日）
（第3週・第4週 金曜日）

・院内ラウンドの結果報告及び対策についての検討

・抗菌薬の使用状況及び抗菌薬ラウンドの結果報告

・入院患者における耐性菌の検出状況の報告

・耐性菌別検出状況の報告（MRSA・ESBL・MRCNS）

・Clostridium difficile（クロストリジウムディフィシル）の検出結果の報告

・手指消毒剤使用量（部署別）の報告

・血液・体液曝露サーベイランス結果の報告及び毎月の状況報告

・インフルエンザの発生状況の報告

・各種感染症に対する予防方法やリスク回避の検討

・中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの結果及び報告

・ノロウイルスの発生状況の報告

・感染防止対策加算1における合同カンファレンス及びラウンドの報告

・地域連携加算取得におけるラウンドの報告

・新型コロナウイルス感染症の予防対策及び当院でのクラスタ事例について

・院内感染対策研修会の開催

DVDによる新型コロナウイルス研修会

クイズ形式による間違い探しクイズ

抗菌薬適正使用に向けた研修会の開催

（医師・医師以外のコメディカル）

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 オブザーバー1名 委員16名

リスクマネジメント委員会

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第4火曜日

(2) 審議事項

・毎月のインシデント・アクシデント発生件数、内容、種類の集計報告

- ・事例発生の内容を検討と各委員会への業務改善依頼
- ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
- ・各部署からの事例報告からの改善策の提案と検討
- ・医療機器に関する事例報告からの改善策の報告
- ・医薬品に関する事例報告からの改善策の報告

(3) 人員構成 委員長1名 委員26名

医療安全管理対策委員会

適切な医療安全管理を推進し、医療事故防止対策の充実と安全な医療の提供を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第4火曜日（リスクマネジメント委員会終了後の開催）

(2) 審議事項

- ・医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療安全責任者から提案された事項について審議や決定
- ・院内で発生したアクシデント事例や患者相談窓口でのクレーム内容などの報告と対応の検討
- ・医療安全に関する規定の見直し、委員の変更
- ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
- ・アクシデント・インシデント年間集計報告
- ・医療安全地域連携訪問の報告
- ・M&Mカンファレンスの実施
- ・医療安全研修の企画と運営

(3) 人員構成 委員長1名 委員12名

重大医療事故対策委員会

活動状況

(1) 開催時期 随時

- ・医療事故報告書に基づく原因分析
- ・再発防止策への取り組み
- ・病院全体への周知

(2) 人員構成 委員長 委員15名

苦情処理委員会

活動状況

(1) 開催時期 随時

(2) 人員構成 委員長 委員8名

賠償請求対策委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 人員構成 委員長 委員 9名

広報委員会

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 病院紀要・年報の発行ならびに各種広報に関する取組
- (3) 人員構成 委員長 1名 委員 4名

ホームページ委員会

病院のホームページの管理・更新を行い、常に新しく正しい情報を発信していくことで、病院の広報活動を行っている。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項
 - ・ホームページの更新及び管理
 - ・WEBサーバー管理（委託）
 - ・プロバイダー管理（委託）
 - ・メールアドレスの発行
- (3) 人員構成 委員長 1名 委員 7名

広報プロジェクト

豊郷病院と地域の診療所がより密接な関係を築き、紹介患者や医療機器の共同利用を図るため、院内の情報を広く伝達、広報することを目的とし、広報紙を発行する。

「医心伝心」発行：年4回（4～5月、7月、10月、1月）

活動状況

- (1) 開催時期 「医心伝心」発行約1ヶ月前
 - ① 2020（令和2）年 5月12日（火）
 - ② 2020（令和2）年 8月 7日（金）
 - ③ 2020（令和2）年11月 5日（木）
 - ④ 2021（令和3）年 2月 3日（水）
- (2) 審議事項 掲載内容、作成日程、発行部数、配布先などの審議
- (3) 「医心伝心」発行
 - ・No.65 春季号 2020（令和2）年 4月
 - ・No.66 夏季号 2020（令和2）年 7月
 - ・No.67 秋季号 2020（令和2）年10月
 - ・号外版（豊郷小学校） 2020（令和2）年12月

- ・No.68 冬季号 2021 (令和3)年 1月
- ・号外版(栄養科) 2021 (令和3)年 1月
- ・号外版(眼科) 2021 (令和3)年 1月
- ・号外版(眼科) 2021 (令和3)年 1月

(4) 人員構成 委員6名(うち広報委員2名)

接遇サービス向上委員会

医療・介護サービスの充実を図り、信頼される病院づくりのために職員の接遇ならびに利用者のサービスを強力に推進し、苦情にも積極的に取り上げて、あらゆる角度から改善・実践する。また、その活動を通じて全職員が医療職として成長し、職場全体のモラルが向上することを目指す。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2水曜日 午後3時から
- (2) 審議事項
 - ・お手紙の回収と検討および改善
 - ・新採用者オリエンテーション
 - ・職員への接遇マナー研修会の企画・運営
- (3) 人員構成 委員長1名 委員17名

人権教育推進委員会

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

2020年度 人権啓発活動目標

みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～
相手の気持ちを考えて行動しよう

活動状況

- (1) 開催時期 2020年 4月15日(月)
2020年10月19日(月)
- (2) 研修・学習内容
 - 院内
 - ・新入職員・各職場人権教育推進担当者・准看護学院学生対象人権研修会
2020年4月13日(月) 新入職員32名
講演 豊郷病院の人権の取り組みとコロナ差別について
講師 管理課長
 - ・2020 豊郷病院人権研修会 参加者592名
DVD研修
1月中旬から2月末までの間にDVD研修にて実施(2本以上視聴し、アンケートを記入)
テーマ:新型コロナウイルスと人権
 - ①新型コロナウイルス感染症に関する人権の配慮について
 - ②【日本赤十字社】ウイルスの次にやってくるもの
 - ③【日本赤十字社】新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう

- ④とくしま こころのサポート 2
- ⑤とくしま こころのサポート 3
- ・職場別人権学習
職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施
- 院外 ・研修会等に4回参加 参加者2名
主催 滋賀県
滋賀人権啓発企業連絡会
滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック
彦根・愛知・犬上職業対策連絡協議会 等

地域連携委員会

外部との連携について、地域連携や外部発信・広報等の検討をする。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期開催
委員会開催日 2021(令和3)年2月15日(月)持ち回り会議
- (2) 審議事項 ・2020年度の行事報告(愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事)
・2021年度の行事計画(愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事)
・地域連携委員会構成メンバーについて
・その他、愛知犬上医師連絡会の行事計画・公開セミナー・豊郷町健康フェスティバル・豊郷町立図書館について・その他地域行事・開業医からの救急・入院受け入れについてなど
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員11名

防火班

病院の災害を防止し、安全かつ適切な防災体制を確立する。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3火曜日
防災訓練の実施
①防火避難総合訓練(3病棟3階にて)
2020年10月20日(火)
②初期消火避難訓練(3病棟5階にて)
2021年3月16日(火)
※但し、コロナ禍にあり、上記2回の訓練は規模を縮小し開催。
また、消防署の指導のもと水消火器を使用しての訓練なども取りやめとした。
- (2) 審議事項 ・2020年度防火班事業活動計画書
・消防訓練の計画準備 年2回(春季及び秋季)
・災害対策マニュアルに沿った訓練の実施及び消防計画の内容の周知拡大
・消防設備、火災受信機など器具の取扱いマスター保守管理
・秋季及び春季火災予防運動期間中のポスター掲示及び旗による防火啓発
- (3) 人員構成 防火管理者1名 班長1名 班員14名

医療ガス安全管理委員会

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。

活動状況

- (1) 開催時期 年4回(研修・訓練含む)
- (2) 審議事項
 - ・在宅酸素療法における火気の取扱いについて
 - ・火災等における緊急時のガス漏れ対応について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名

栄養管理委員会

入院患者・患者給食に対する栄養管理および給食業務の改善と合理化を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 栄養管理委員会 年2回
栄養管理小委員会 年10回
第1火曜日
- (2) 審議事項
 - ・電子カルテ運用(入力)について
 - ・献立について
 - ・栄養補助食品の検討
 - ・経腸栄養剤の検討
 - ・機材、食器等について
 - ・栄養管理情報提供書書式
 - ・備蓄食について
 - ・声の巣箱・苦情対応について
 - ・インシデント内容とその対策について
 - ・アンケート結果の検討
 - ・栄養指導件数報告
- (3) 人員構成 委員長1名 委員15名、うち日清医療食品㈱2名
(小委員会:委員11名、うち日清医療食品㈱1名)

図書委員会

職員の専門的知識を深め、質の向上を図るため。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
開催日 2020年6月4日
- (2) 審議事項
 - ・会計報告
 - ・年間予算額の決定
- (3) 人員構成 委員長1名 委員4名

個人情報保護対策委員会

個人情報保護法の対策を検討し、個人情報の保護が行われているのかの監査を行い、職員に実施されることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
- (2) 審議事項 個人情報保護対策委員会と情報セキュリティ委員会を統合することに決定
個人情報またはセキュリティの研修は入職時とケアワーカー研修で毎年行っている
- (3) 人員構成 委員長（院長） 副院長 各診療部長 委員 18名

手術室運営委員会

手術室運営委員会は、以下の事項を審議して安全に円滑に手術室運営が行えるようにする。

- ・手術室運営に関する事
- ・医療設備に関する検討
- ・医療機器の修理、新規購入に関する事項
- ・電子カルテに関する取り決め手順などの統一

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回
- (2) 審議事項
 - ・手術予定に関して協力要請
 - ・衛生材料不足に関する処理
 - ・手術室医療事故報告
 - ・新型コロナウイルス感染症に対する当手術室の入室基準とその対応
麻酔科 挿管手技に伴う呼吸器感染暴露予防について 他
- (3) 人員構成 委員長1名 委員4名 手術室スタッフ

ボランティア運営委員会

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項
 - ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
 - ・ボランティア保険の加入について
 - ・催し（七夕コンサート / 生け花の展示 / 病棟レクボランティア等）について
- (3) ボランティアの活動
 - 1、拡大紙芝居 毎月1回 定期実施（サロンひまわり）
※ 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止
 - 2、生け花展示 ① 2020年 6月30日～ 7月 8日実施
② 2020年 12月15日～ 12月22日実施
 - 3、七夕コンサート 年1回7月開催
※ 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止
 - 4、花壇の整備 随時

5、精神科病棟、回復期病棟でのボランティア 臨時（単発）

(4) 交流会の開催

目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止

(5) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員5名

電子カルテ委員会

電子カルテの運用を検討し、保存義務のある情報を適切に保存するとともに、電適正に利用することに資することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 隔月1回 第3火曜日
- (2) 審議事項
- ・マスタの設定または運用の見直し
 - ・適正利用の確認
 - ・改善要望の進捗報告
- (3) 人員構成 委員長 委員 21名

診療情報管理委員会

診療情報管理の円滑な運営を図るため、診療情報管理及び診療記録に関する事項の検討を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2水曜日
- (2) 審議事項
- ・診療記載の開示等について
 - ・診療記録の記載について
 - ・各文書の書式変更について
 - ・メンバー変更について
 - ・診療情報の共有について（オーダーでの文書管理）
 - ・サマリーの記入率について
 - ・その他
- (3) 人員構成 委員長 診療情報管理士3名 委員6名

血液浄化センター運営委員会

血液浄化センターが安全かつ適切な医療・ケアの提供体制を確立するために必要な事項を定める。

活動状況

- (1) 開催日 年1回の定例会を開催。ただし、必要に応じて委員長は臨時の委員会を招集できる。
- (2) 審議事項
- ・火・木・土の2クール体制の導入に伴った医療・ケアの提供体制の整備
 - ・送迎バス運営について
 - ・血液浄化センター職員の知識向上と技術習得に関する事
 - ・新規機器、備品、医療材料の購入、整備、保管等に関する事
 - ・安全な透析治療と質の高い治療・ケアを提供に向けた取り組みについて
 - ・災害対策強化について

- (3) 人員構成 委員長1名 委員3名、その他センター長が必要と定めたもの

NST・褥瘡対策委員会

院内における栄養サポート対策・褥瘡対策を討議・検討し、栄養サポートの関する知識、褥瘡に関する知識の増進・普及を図り、日常生活自立度が低い入院患者に対して栄養サポート対策、褥瘡予防と対策を図るとともに、医療の向上の促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 毎週水曜日 14時半～回診
第3水曜日 16時～会議

研修会

〈院外〉

2020年10月22・29日、11月5・12・19日 滋賀医大NST実習5日間参加
Webセミナーの案内により、自己にて受講

〈院内〉

2021年3月17日 『相互接続防止コネクタ』テルモ㈱

〈全体研修会〉

(感染防止の観点から)開催中止

- (2) 審議事項
- ・NST稼働認定の更新について(認定機関2025年3月31日まで)
 - ・NST介入の検査オーダー(In Body検査)について
 - ・回診マニュアル評価
 - ・NST介入の拾い上げについて
 - ・研修会報告
 - ・全体研修会の企画検討
 - ・褥瘡対象者患者について
 - ・SGAシートについて
 - ・回診記録について
 - ・Webセミナーの案内、受講方法

- (3) 人員構成 委員長1名 委員18名

外来・救急運営会議

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回 第1金曜日 16時～
- (2) 審議事項
- ・地域連携室を通しての予約状況について
 - ・救急外来患者数の統計(毎月)
 - ・外来診療に関する事項について(一般外来・救急外来)
 - ・待ち時間調査について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長2名 委員10名

エコ委員会

公益財団法人豊郷病院の各事業所におけるエコ活動への継続的な取り組みを推進し、各職員が業務のムダ・ムラ・ムリを無くし、不要な経費を削減し、法人の収益改善に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回最終月曜日
- (2) 審議事項
 - ・ 職場巡視（委員会終了後）
施設巡視によるムダの排除、並びに職員へのエコ意識の周知
 - ・ エコ強調月間にポスター配布による啓発活動や、点検票により各職場の点検を実施
4月…『廃棄物』、7月…『電気』、12月…『水』
 - ・ 冷暖房の効率的な使用方法の検討及び周知
 - ・ 節電対策の周知徹底
 - ・ 廃棄物の分別と削減方法の検討及び周知
- ※新型コロナの影響で巡視は自粛中
- (3) 人員構成 委員長、副委員長、委員19名

関連施設委員会

法人内の関連施設が有機的に連携できるよう課題解決を図る会議

活動状況

- (1) 開催時期 年3回
- (2) 審議事項
 - ・ コロナ禍での各事業所の状況
 - ・ 上記に同じであるが、対応状況も含めて報告いただいた
 - ・ 設備の老朽化対応について
- (3) 人員構成 委員長1名 委員21名

SPD委員会

物品管理状況の把握と経費削減を目的に、委員会にて報告と提案を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 隔月第3火曜日
- (2) 審議事項
 - 物品購買実績報告
 - 物品消費実績報告
 - 新規医療材料等導入案内
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員10名

その他委員会

- 表彰委員会
- 懲戒委員会
- 制服委員会
- 制服委員会専門部会 歯科衛生士の部

- 制服委員会専門部会 ケアワーカーの部
- 制服委員会専門部会 看護の部
- 制服委員会専門部会 事務員女子の部
- 制服委員会専門部会 介護職員の部
- 在院日数短縮推進委員会（中止中）
- 保育所運営委員会
- 乳がん健診対策とマンモグラフィ活用検討プロジェクト委員会
- ワークライフバランス推進委員会

〈藥劑部門〉

〈医療技術部門〉

薬剤部理念

豊郷病院薬剤部は病院の基本理念に基づき、患者さまの安全を確保し、安心と満足が得られる質の高い医療の提供とサービスに努めます。

基本目標

1. 責任ある医薬品管理の徹底。
2. 適正な処方せんによる調剤。
3. 患者情報の収集・解析と適切な対応。
4. 医療事故防止策の周知徹底。
5. チーム医療への積極的な参画。
6. みんなが納得するサービスの提供。

1 薬剤部事業報告

薬剤部

① 概要

薬剤部では下記のスタッフにて、調剤業務、薬剤管理指導業務、配薬セット等の病棟業務、薬品管理業務、無菌調製業務（TPN、抗癌剤）、DI業務そして手術・検査予定患者との外来での入院前面談業務などを行っています。2019年度のTQM活動で取り組みを開始したポリファーマシー対策を継続しており、今後も患者様に対し適正な薬物療法を提供していきたくと考えます。

② スタッフ 薬剤師 常勤：8人 事務員 非常勤：2人

③ 活動実績

〔表1〕 薬剤管理指導（服薬指導）

	年間人数・件数	月平均人数・件数
薬剤管理指導人数	2,718	226.5
薬剤管理指導件数	6,227	523.1
薬剤管理指導料算定件数	5,318	443.2
麻薬指導加算件数	127	10.6
退院時指導件数	1,144	95.3

〔表2〕 無菌製剤

	年間延べ件数	年間延べ剤数
抗がん剤調製	205	360
TPN製剤調製	903	903

〔表3〕 入院調剤

	年間枚数	月平均枚数
入院処方箋枚数	35,723	2,977
入院注射箋枚数	33,770	2,814

薬剤処方関係

	院内				院外			
	処方料 その他 (42点)	幼)処方料 その他 (45点)	処方料 7種類以上 (29点)	処方料乳 (向精神薬多剤投与) (18点)	処方箋料その他 (68点)	処方箋料7種類以上 (40点)	(乳)処方箋料(その他) (71点)	(幼)処方箋料(その他) (71点)
	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数
4月	187	0	1	4	4,986	187	7	17
5月	210	0	1	5	4,496	190	7	0
6月	177	0	4	4	5,130	179	15	8
7月	182	1	2	5	5,041	204	7	16
8月	187	2	1	4	5,025	207	11	10
9月	175	0	2	4	5,074	210	11	17
10月	167	0	1	4	5,203	213	6	17
11月	184	0	2	3	4,581	203	2	15
12月	147	0	1	4	4,749	222	5	15
1月	169	1	1	1	4,372	17	4	11
2月	136	0	1	3	4,282	201	6	7
3月	189	2	1	1	5,051	241	8	14
合計	2,110	6	18	42	57,990	2,274	89	147
平均	176	0	2	4	4,832	190	7	12

(統計：医事課)

2 医療技術部事業報告

栄養科

① 概要

栄養科は知識と技術の向上に励み、また多職種と連携し、患者さんが入院・退院後の生活を安心して送れるように努めております。

② スタッフ

管理栄養士 4人

③ 活動実績

彦根市地域ケア会議

2021年1月19日

2021年3月11日（ことうチームケア研究会）

湖東・食と栄養を考える

11月5日、12月10日、2021年1月17日、2月18日、3月18日…Zoom会議

2021年1月25～2月7日（視聴期間）『摂食・嚥下とポジショニング』

…2020年度研修

④ 研修活動

各自 Webセミナー、e-ランニング等を受講

栄養科 患者給食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般食	14,111	13,646	13,233	15,274	15,771	13,867	13,195	12,196	12,731	12,834	11,970	14,204
特別食	8,424	6,969	7,701	8,203	8,880	8,317	8,403	9,074	8,767	8,935	8,450	8,376
食数合計	22,535	20,615	20,934	23,477	24,651	22,184	21,598	21,270	21,498	21,769	20,420	22,580
経管栄養食	347	362	305	266	404	605	512	484	398	330	366	472
総合計	22,882	20,977	21,239	23,743	25,055	22,789	22,110	21,754	21,896	22,099	20,786	23,052
特別食加算の割合	37.4%	33.8%	36.8%	34.9%	36.0%	37.5%	38.9%	42.7%	40.8%	41.0%	41.4%	37.1%

(統計：栄養科)

栄養指導実績

				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 院	糖 尿	D	M	7	4	6	3	7	6	6	5	8	9	2	11	74
	脂質異常症	H	L	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
	高 血 圧	H	T	7	6	4	2	1	11	17	9	18	18	10	7	110
	心 不 全	心 不 全		0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	腎 臓	腎 臓		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
	透 析	H	D	2	2	1	1	2	2	4	0	1	1	3	2	21
	呼吸器疾患	C O P D		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	胃切術後	胃 切		2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	4	12
	胃潰瘍	胃潰瘍		1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	低残渣	低残渣		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝 臓	肝 臓		1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
	貧 血	貧 血		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	嚥 下	嚥 下		2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	11
	肥 満	O B		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	低栄養	低栄養		1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4
食生活	食生活		0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
計				24	17	16	8	14	20	28	20	28	31	18	27	251
外 来	糖 尿	D	M	23	33	39	46	29	35	44	28	29	29	30	33	398
	脂質異常症	H	L	4	2	3	2	3	3	4	2	3	3	1	0	30
	高 血 圧	H	T	2	2	2	6	0	2	2	4	2	3	1	4	30
	心 不 全	心 不 全		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	肝 臓	肝 臓		1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
	腎 臓	腎 臓		2	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	8
	透 析	H	D	4	5	1	0	2	0	0	0	1	2	1	1	17
	高尿酸血症・痛風	痛 風		1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	5
	呼吸器疾患	C O P D		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脾 臓	脾 臓		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肥 満	O B		3	1	1	0	1	2	0	0	2	1	0	1	12
	小 児	小 児		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	貧 血	貧 血		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低栄養	低栄養		2	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
	がん	C a r		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定保健指導	特 保		1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	7	
計				43	47	46	56	39	44	50	37	41	40	35	41	512
総 合 計				67	64	62	64	53	64	78	57	69	71	53	68	763

(統計：栄養科)

放射線科

※活動状況及び放射線撮影データは (36) 頁参照

臨床検査科

※活動状況及び検査データは (41) 頁参照

臨床工学科

① 概要

臨床工学科の理念に基づき、患者様が安全・安楽に治療が受けられるよう医療機器の保守・点検・操作の充実を目指します。また、より良い治療のサポートが出来る様に個々のスキルを上げ、チーム医療に携わっていきたいと考えています。

② スタッフ

常勤 5 名 認定資格 (呼吸療法認定士 3 名、血液浄化専門臨床工学技士 1 名、透析技術認定士 1 名)

③ 活動実績

★毎月医療機器院内研修会実施 講師：臨床工学技士 対象：看護師他

★医療機器点検・検査・特殊浄化療法

	品目	2018	2019	2020
医療機器点検総件数	人工呼吸器	106	131	56
	麻酔器	120	136	144
	ベッドサイドモニター	856	688	582
	輸液・シリンジポンプ	235	245	238
	超音波ネブライザー	120	128	72
	バックバルブマスク	71	60	45
医療機器保守点検 (透析)	DCS/DBB-100NX,DBG03	21	58	52
	DAB-20	2	1	1
	RO	2	3	2
	A・B剤溶解装置	2	8	2
	JUN505	12	12	12
医療機器修理総件数		234	262	269
睡眠時無呼吸検査解析総件数	PSG解析	53	61	53
	SAS2100解析	54	37	30
	PULSOXMe300解析	22	27	14
生菌・エンドトキシン測定	エンドトキシン測定、生菌培養	133	135	133
CPAP導入総件数	S10、DS、Airmini、A10	42	45	68
InBody検査総件数(体液量測定)		328	406	343
特殊浄化総件数	LDL吸着	10	46	15
	エンドトキシン吸着	6	6	0
	CHDF	21	7	27
	血液吸着 (DHP)	0	2	0
	GCAP	2	17	3

④ 研修活動

第64回日本透析医学会	12月	北川	web
-------------	-----	----	-----

〈看護部門〉

看護部の理念

その人らしさの回復をめざし
その人らしく生きることを支える

看護部の基本方針

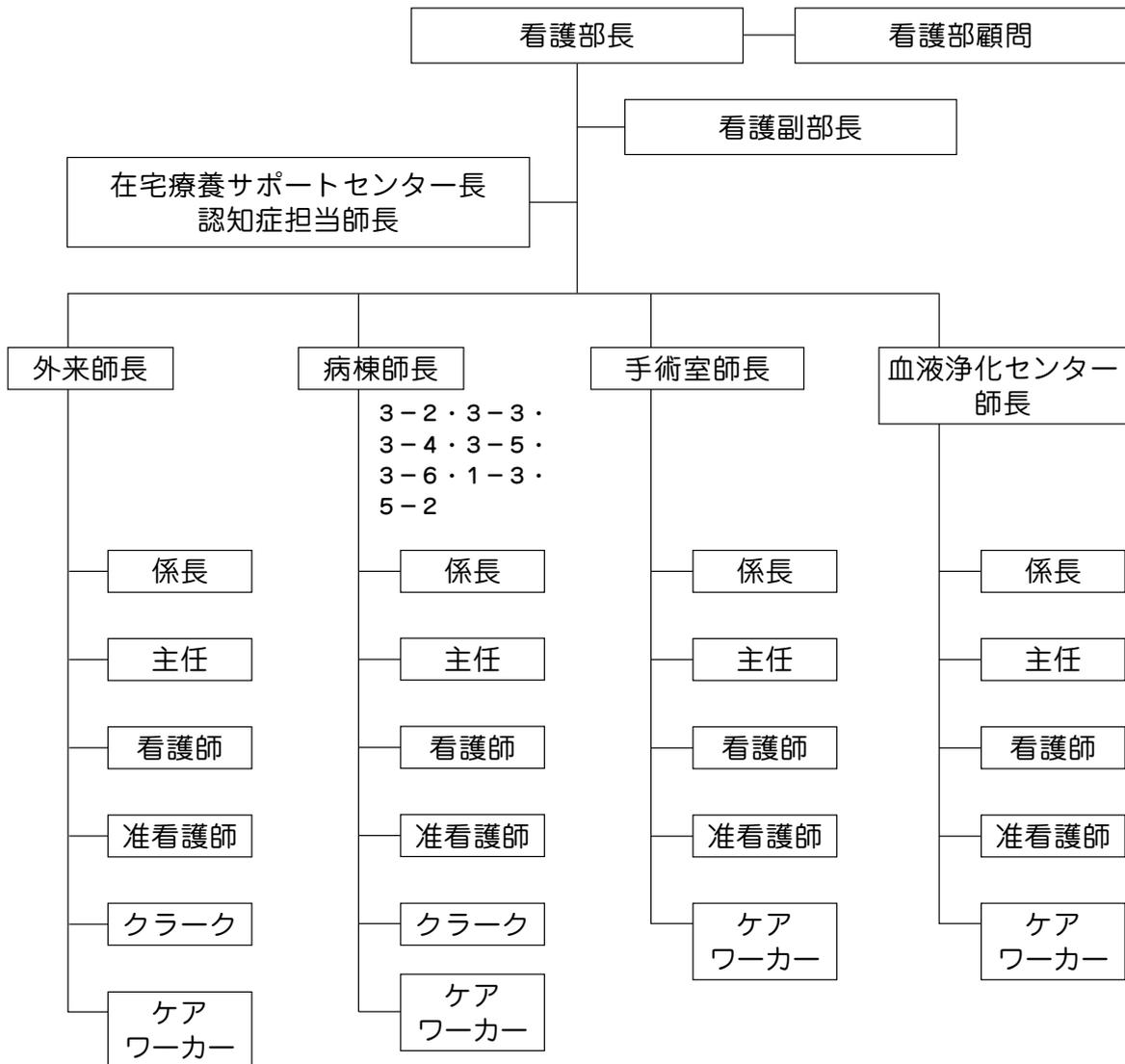
- 地域医療計画に基づき、病棟、病院、地域、施設との看看連携を促進し、切れ目のない看護サービスを提供する
- 患者・家族を中心として仲間及び多職種と協働できる向上心ある組織風土を築く
- 自立支援、意思決定支援につながる看護技術およびコミュニケーション能力の向上をめざす
- 「育つ」「育てる」人材育成のできる教育的環境を整える
- リスクマネジメントを推進し、医療事故を未然に防ぐ
- コスト意識を高くもち、効率性を考えムダ・ムリ・ムラをなくす

公益財団法人 豊郷病院 看護部

1 看護部組織系統図

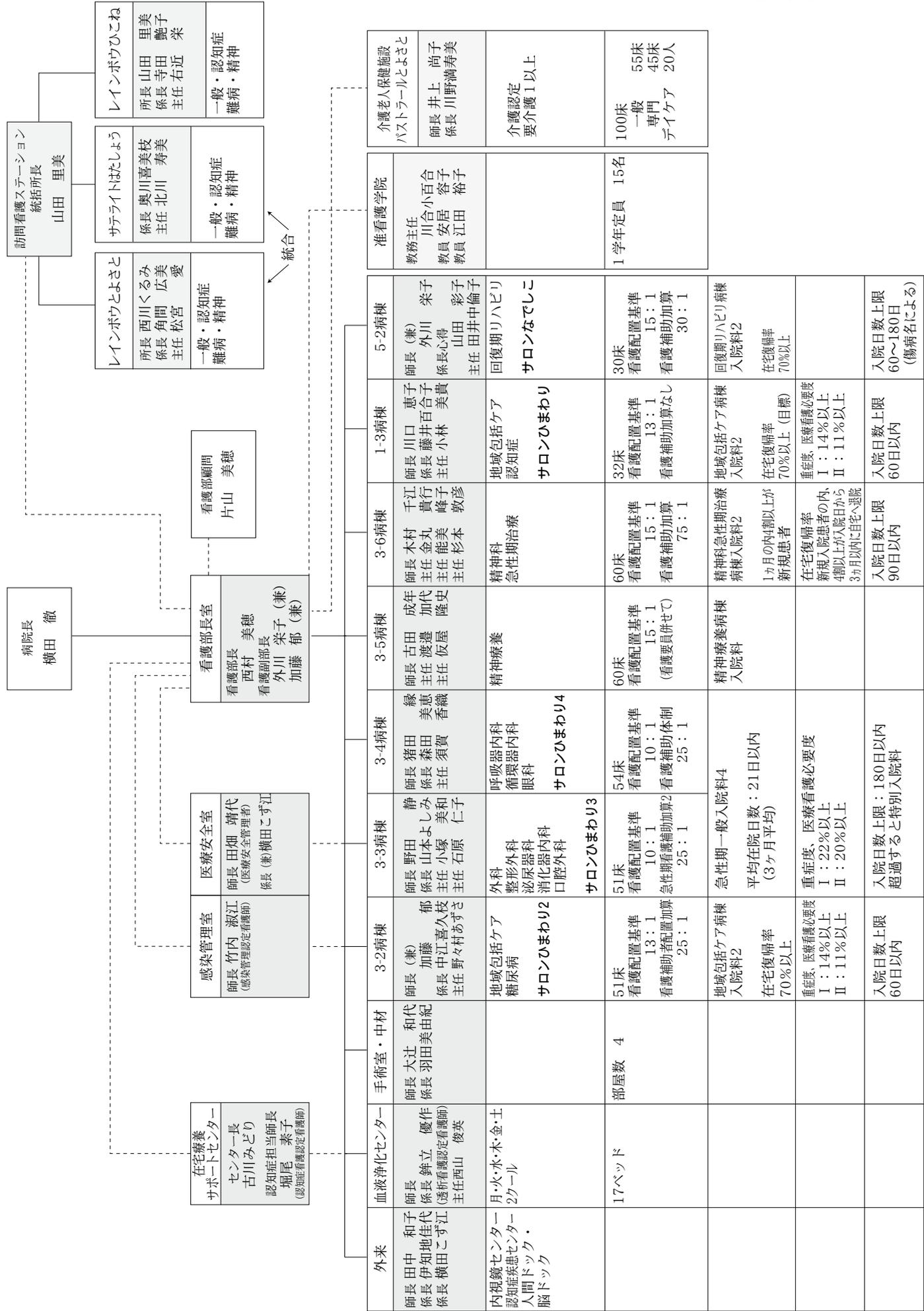
2021.7

看護部



3 看護サービス提供組織図

2021.7



4 看護部 単位別目標及び評価

部 署	目 標	評 価
看護部	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を実践する</p> <p>1) 患者の自立を支援する 2) 患者の意思決定を支援する 3) 看護をつないで在宅療養を支援する</p> <p>2. 安全で安心な看護を提供するために、学習に取り組み学びを深める</p> <p>3. 活気ある職場・元気の出る職場づくりで、認め合い共に育つ環境をつくる</p>	<p>1.</p> <p>1) 入院前の生活習慣を入院中も継続してもらうなど、各病棟において患者が安心できる入院環境やユマニチュード対、拘束をせず患者に寄り添う、見守るなど「その人らしさ」を大切にしたい関わりが実践され看護の質向上に繋がっている。 師長や係長、主任を対象に、せん妄予防の知識を高め、患者の生活機能を低下させないための取り組みを実践するための管理者研修がスタートした。</p> <p>2) 患者・家族の意思決定支援するため、ワーキンググループによる意思決定支援マニュアルが完成した。活用し効果的な支援につなげる。部署でのデスクカンファレンスも増え支援の振り返りも行われている。</p> <p>3) 在宅生活を見据えた退院支援を各病棟が実践しており、コロナ禍においても退院前カンファレンスを充実させ、とよサボや地域と情報共有・連携強化を図り、コロナ禍における在宅生活支援が実施されている。</p> <p>2. 知識の向上、実践につながる学習をeラーニングの活用で実践している。部署により活用状況にバラツキはあるが活用し学習している。フィジカルアセスメント力の向上を目指し誰もが異常の早期発見・対応ができるように早期警告スコアの活用を推進した。継続してスタッフの考える力・気付き力を伸ばし成長を支援していく。</p> <p>3. 認め合い共に育つ環境づくりとして、各部署内で色々な取り組みが実施された。部署内でチーム活動を通して業務改善に取り組み、情報共有の必要性やコミュニケーション量が増えた、挨拶や「ありがとう」の感謝の言葉も各現場で増えたと評価されている。今後も継続し活気ある職場づくりを目指していく。新人看護師の離職もなかった。</p>
3-2 病棟	<p>1. 地域包括ケアシステムにおける患者支援を実践する</p> <p>1) 受け持ち患者と向き合い、その人らしい生き方・生活についてしっかり情報を得、その記録をタイムリーに記録（コミュニケーションシート）に残す</p> <p>2) 朝のカンファレンスを有効活用しチームで情報共有を行うとともに、自立支援へのプランニングへつなげる</p> <p>3) 拡大カンファレンスに外来看護師も巻き込み、退院後の継続看護につなげる</p> <p>2. 元気の出る職場づくり</p> <p>1) 言葉遣いを丁寧に</p> <p>2) 先輩も後輩も関係なく一人ひとりの違いを認め、補い合い指摘し合える仲間になる</p> <p>3) 経験のないことや忘れてしまいかけていることに興味関心を向け、仲間に協力してもらいながら実践していく</p>	<p>1.</p> <p>1) 出勤する都度、受け持ち患者の担当になることと、年間を通してPNSのペアを組んだことで情報交換が密になり、患者支援のための情報が集まりやすくなっている。担当看護師としての役割意識も高まってきている。しかし、患者の生活背景や思いに関する情報を、タイムリーにコミュニケーションシートに記入できていない。</p> <p>2) 毎朝のカンファレンスでスタッフは担当患者について深く考えるようになり、成長を感じることもある。カンファレンスで他人の意見を聞き、患者の支援にいかすこともできてきている。カンファレンスでは、問題を抱える患者や状態のよくない患者を取り上げることも多く、チームで看護の方向性を決めるのにも役立っている。今後は、カンファレンスの内容をスタッフ全員に周知していく方法を考える必要がある。</p> <p>3) 外来看護師が入るカンファレンスはほとんどできていない。「連絡カード」の活用も多くなかった。しかし、在宅での生活を見据えて、多職種との連携が取れるようになってきた。</p> <p>2.</p> <p>1) 挨拶と感謝の言葉は、病棟全体で増えてきた。患者にだけでなくスタッフ間でも感謝の気持ちが伝えられるようになり、新人教育もスムーズに運ぶようになった。</p> <p>2) スタッフが相手の気持ちと場所を考えて行動できるようになった。先輩に質問し、指摘されたことは次回に活かそうという姿勢になり、良い関係が保たれるようになった。</p> <p>3) 看護手順やマニュアルを確認するなど経験値と知識を維持する努力をしている人もいれば、そうでない人もいる。</p>

部 署	目 標	評 価
3-3 病棟	<p>1. 患者の意思を尊重し、看護を見極め支援し続ける</p> <p>1) 看護ケアを必要としている対象者に的確に応え支援する(看護計画)</p> <p>2) 考える力、気づく力、見極める力、解決する力をつける</p> <p>2. 知識を深め、根拠をもって看護を提供する</p> <p>1) 全てのスタッフが講師となり、勉強会を定期的に行う</p> <p>2) e-ラーニングを、各人3項目以上視聴する</p> <p>3) SBARを学び実践に活かす</p> <p>3. 承認し合える職場環境をつくる</p>	<p>1.</p> <p>1) 初期カンファレンスは入院後7日以内に9割以上が実施できている。コミュニケーションシートの事前情報も参照できている。初期カンファレンスは、患者の共通理解の場になり、早期から安全対策や生活機能の維持を検討したケアプランができるようになった。しかしタイムリーな記録と看護計画の変更ができていない。患者の意思確認は常に意識し、実施もできている</p> <p>2) 年に2回自己評価してチームリーダーが他者評価をし、意図的に承認して成長を促すことができた。</p> <p>2.</p> <p>1) 9チーム中7チームが勉強会を実施した。短時間ではあるが、今必要なケアと医療の勉強会を実施できた。</p> <p>2) 1人当たりの平均視聴数は1.7であり、目標を達成したスタッフは数名であった。</p> <p>3) 勉強会を1回実施し電子カルテに掲示することで定着しつつある段階である。特に経験年数の少ないスタッフには、SBARを活用することがスムーズな報告に繋がった。</p> <p>3. 3つのチームがそれぞれ目標を立てて行動し成果を得ている。</p>
3-4 病棟	<p>【スローガン】 想像力・行動力・大事なものは自分のハート</p> <p>1. 患者・家族が安心して医療・看護を受けてもらえるように支援する</p> <p>カンファレンス アドバンス・ケア・プランニング 患者のできることに目を向けて援助する その人らしい生活・過ごし方についてコミュニケーションを通して把握する</p> <p>2. 「看護とは何か」原点に戻り、お互いが育つ環境をつくる</p> <p>観察する目 考える力(アセスメント力) 気づく力 行動する力</p> <p>3. グループ活動を通して、元気のでる職場づくりをし信頼関係を築いていく</p>	<p>1. 情報を整理しカンファレンスの目的を明確にし、カンファレンス内容の共有のためにカンファレンスシートを3種類作成した。成果も出ている。</p> <p>アドバンス・ケア・プランニングについては、e-ラーニングを視聴したが、実施には至っていない。2月には亡くなられていく患者と家族の思い、スタッフの思いを考える機会をつくった。グループワークの中で振り返りができた。3月から心電図モニターのチェック係を付けている。コロナ禍の中で、患者と家族が安心して過ごすにはどうすればよいのか、日々考えながら取り組んでいきたい。</p> <p>2. 患者のことを考える機会は増えたが、看護とは何かを考える機会は作れなかった。興味を持つことで考える機会が増え、それがスタッフ間のコミュニケーションや信頼関係に繋がったと思う。面談でスタッフは着実に成長していると実感した。</p> <p>3. 3グループに分かれ、TQM活動をした。PNSパートナーと病棟の係り活動も実施している。</p>
3-5 病棟	<p>1. 患者の生活支援・意思決定支援とともに、自律性を回復し「その人らしい生活」の獲得ができるように支援する。</p> <p>1) 患者の自立を支援する</p> <p>①有効なカンファレンスを開催することにより、患者理解を深める</p> <p>②看護要約をカンファレンスで活用する</p> <p>③ADLの低下を防ぐため、タイムリーにカンファレンスを実施する</p> <p>2) 患者の意思決定を支援する</p> <p>①エンディングノートを再作成し、患者の意思決定確認・家族への伝達を行う</p> <p>②医師と共に、急変時の定義と対応を共有する(確認書の聞き取りマニュアル活用)</p> <p>3) 急性期からの受け入れを円滑にするため、退院支援に取り組む</p> <p>①患者の退院に関する意思を確認し、共有する</p> <p>②退院支援ファイルを活用し、優先順位を検討する</p>	<p>1.</p> <p>1) カンファレンスに対するスタッフの意識も定着してきた。個別・転入・入院とそれぞれカンファレンスを実施している。1月に起こった窒息事故から毎週月曜日にリスクカンファレンスを開くこととなった。ADLとQOLを向上させるための支援と、事故を踏まえての支援を課題としている。今年度から6ヵ月毎の看護要約を退院サマリーの記入に変更したため、カンファレンスへどう取り入れていくか課題である。</p> <p>2) 10月にエンディングノートの作成は終わったが、転入してきた患者のエンディングノートを失念していたケースがあった。掲示板への入力にもばらつきがあったため、2月に統一した入力方法で実施した。表にして見える化を図った。コロナ禍のため、患者の意思を家族に確認する作業が難しい。医師と患者の急変時の話し合いができていない。確認書の聞き取りもできていない。</p> <p>3) 退院支援カンファレンスを毎月実施し、優先順位の検討もしている。担当者や退院支援メンバー等が、黄色ファイルに情報を記入している。優先順位は、月に2回検討し見直している。2020年度は入院が22名(3-6から8名)で、退院が25名(施設10名、自宅6名)であった。</p>

部 署	目 標	評 価
3-5 病棟	<p>2. 安全で安心な看護を提供するため、学習に取り組み学びを深める</p> <p>1) e-ラーニングを活用し、理解を深める 2) 急変時マニュアルを作成し、勉強会を開催する</p> <p>3. 病棟スタッフがお互いを認め合い、共同できる環境を作る</p> <p>1) 受け持ち看護師・CWのサポート体制を明確にしておく 2) 情報共有の場を検討する</p>	<p>2.</p> <p>1) e-ラーニングは毎月病棟勉強会をする事で視聴できている。 2) 急変時の動画作成が終了し、スタッフ全員で視聴した。今後は、急変時物品の保管場所の確認や取り扱いを確認する。エンゼルケアのマニュアルも確認も必要である。急変時マニュアルとして作成する予定である。</p> <p>3.</p> <p>1) 受け持ち患者のサポート体制について、まだ明確にできていない。 衣類等の管理が適切にできていないケースがある。 2) 1月から月火木のカンファレンスが13:30開始となり、CWの参加も徐々に増えている。CWとの情報共有としてPNS + CWで話し合う機会が必要だと考えている。</p>
3-6 病棟	<p>1. 精神科地域包括システムにおける看護の役割を実践することができる 患者の自立と意思決定を支援する ①精神状態が悪化する要因を把握する ②患者の抱える思いの意味を理解し、看護師は患者の代弁者となる ③患者のできることに目を向け意欲を引き出す ④リフレクションカンファレンスを実施する</p> <p>2. 安心で安全な看護を提供することができるよう学習する</p> <p>①e-ラーニングを活用する ②ラダーレベルに応じた研修に参加する ③フィジカルアセスメントの力をつける ④自分は出来ないと決めつけない ⑤学習目標を達成するためには何をすればよいのか自分自身で考える</p> <p>3. 活気ある・認め合える職場環境づくり</p> <p>①互いの個性を認め合う ②「ありがとう」感謝の気持ちを伝える ③指摘をポジティブに受け止める ④言葉は優しく丁寧に伝える</p>	<p>1. 患者の状態を把握するためにリフレクションカンファレンスを実施している。認知症の患者や、患者の年齢にばらつきが大きくなったことなどから患者の情報共有が難しくなった。そういう状況の中、認知症の患者が誤って自室でない部屋に入り混乱して暴力を振うという事故が起こった。この教訓から、患者の把握と見守り・観察の強化を行った。</p> <p>2. 前半に比べると後半は、病棟会議を利用したミニ勉強会の実施が少なくなった。e-ラーニングの活用には個人差が大きい。目標面接の時に毎月2~3つの視聴を勧めたが、視聴に取り組んだ人は多くなかった。</p> <p>3. スタッフは、気付いたこと（良いところ・直して欲しいところ）を丁寧に伝え合うことができている。ありがとうと感謝の言葉を伝えることが多くなっている。病棟に悪い意味で慣れてしまい、患者に対して不適切な言葉遣いをしてしまうスタッフがいる。患者中心であることを忘れない教育を続けていきたい。</p>
1-3 病棟	<p>1. 地域包括ケア病棟としての役割を果たし、患者に寄り添う看護を提供する</p> <p>①患者・家族の思いに寄り添い個々の患者の意見を尊重し、患者に応じた声掛け・見守り・対応が統一して行える ②受け持ち患者の初期カンファレンス・多職種カンファレンスに参加し、退院までの流れをスタッフ全員が経験し退院を踏まえた関り（退院前・退院後訪問、退院指導、家族支援）が入院中から実践できる</p> <p>2. 患者・家族が安全・安心できる環境を構築する</p> <p>①ケアの前は、まず見る・話す・触れることから始める ②患者の変化に「気づける」ように早期警告スコアを実施し、勉強会・KYTを毎月行い、気付き・アセスメント力を向上させる ③リーダー中心にチーム活動を積極的に実践し病棟運営に繋げる</p>	<p>1.</p> <p>①朝のカンファレンスで、患者の対応について話し合う時間がもてるようになった。 患者や家族の思いをコミュニケーションシート等で情報共有し、統一した対応が取れるように、受け持ち看護師が掲示板に情報を入力するようになった。 ②毎週の初期カンファレンス・多職種カンファレンスには、勤務の都合で受け持ち看護師が参加できないことが多かった。退院後訪問は4回実施できた。</p> <p>2.</p> <p>①ケアの前に声掛けし、目線を合わせてゆっくり会話できている。 ②早期警告スコアを実施して、報告や相談もできるようになった。 KYT担当者を設け勉強会ができるようになったが、継続して開くことは難しかった。 認知症だけではなく、患者の基礎疾患についても把握していきたい。 ③チーム活動は積極的に実施できず、病棟運営にも繋がっていかなかった。</p>

部 署	目 標	評 価
1-3 病棟	<p>3. お互いに認め合える職場環境を構築する</p> <p>①自分を大切にし他者も大切に。陰口を言わない。注意ができる。</p> <p>②話す時は感謝の気持ち「ありがとう」から始める</p> <p>③共に考え、共に助け合える</p>	<p>3.</p> <p>①作成した病棟ケアルールにこの文言を入れているが、陰口などで病棟の雰囲気が悪くなった時期があった。師長が面談し、良い風潮になるよう話し合う時間を作っている。今後も病棟会議等で意見を言いあえる場を作り、他者も大切にするというメンバーシップを構築していく。</p> <p>②患者に「ありがとうございます」といえるスタッフが増えてきている。</p> <p>ミドルミーティングを定期的に行い、気持ちよくモチベーション高く勤務ができる環境を作るよう努力している。</p> <p>③PNSベアや係活動・TQM活動を通して、共に考え助け合える職場環境を作っていく。</p>
5-2 病棟	<p>5S スマイル スピード スマート サポート サービス</p> <p>笑顔を決やさない、早急に行動しお待たせしない、患者の状況を判断し適切に対応する</p> <p>患者が困らないために必要な時期に必要な援助や支援を行う、患者の満足度を上げるように個々が意識して対応する</p> <p>→ 整理 整頓 清掃 清潔 躰</p> <p>病棟の5S係りが担当場所を決め、それぞれがその場所を責任をもって綺麗にする</p> <p>3K 気づく 考える 決める</p> <p>いつもと違う それは何故 ならこうしようという流れを意識する</p> <p>→ カンファレンス 環境調整</p> <p>患者参加のカンファレンスの実施 患者に合わせた環境の提供のため問題があった時すぐに対応する</p> <p>3D どうせ だって でも</p> <p>後ろ向きな言葉は使わない</p> <p>→ どうしよう どうしたらできるのか</p> <p>警告シートを活用し異常に対応する 知恵を出して考える</p> <p>3A 安全 安楽 安心</p> <p>毎月第4金曜日にリスク委員会を中心に環境調整ラウンドを実施し、みんなの目で不備を発見しインシデントが起こる前に対応する</p> <p>3I 意思決定 意欲 生き方(その人らしい生活)</p> <p>面談に参加し現状をきちんと説明し、その人にとって一番を提供する</p>	<p>5S スマイル スピード スマート サポート サービス</p> <p>外出・外泊・面会が制限され、患者自身にも影響が出ている。看護師はできるだけ普段通りを心掛けている。ユマニチュードをしっかり行うことを意識している。家族が洗濯物を届けに来た際には、病棟での生活をありのまま伝えるようにしている。変化があった時にはその都度連絡を入れ、患者が落ち着かない時には電話で家族と話してもらったりもしている。患者サービスに直結するスタッフ間の雰囲気は、働きやすい職場環境作りとして取り組んでいる。</p> <p>→ 整理 整頓 清掃 清潔 躰</p> <p>5S活動委員が中心となって担当場所を決め、年間の目標と計画の見える化をした。</p> <p>病棟会議で現状報告をし年間評価も行った。</p> <p>3K 気づく 考える 決める</p> <p>気づきを大切に共有し、気付いたことは声に出し褒めた。</p> <p>→ カンファレンス 環境調整</p> <p>退院後の生活を想定して入院前の自室の環境と現状を考え、入院当日から環境調整を行っている。夜の状態を観察して、翌日に再度環境調整を行っている。2週間後には初回カンファレンスをリハビリの担当者で行い、毎月第4金曜日には環境調整カンファレンスで環境調整が適切に行われるよう配慮している。</p> <p>3D どうせ だって でも</p> <p>毎朝の唱和は、内容を見直しながら11月まで続けた。お互いが不備を指摘できるように心がけているが、先輩には指摘しにくい雰囲気がある。</p> <p>→ どうしよう どうしたらできるのか</p> <p>どの患者に用いるのか等、リスク委員会を中心に動いている</p> <p>3A 安全 安楽 安心</p> <p>毎月、日勤者が極力全員で環境調整ラウンドを実施している。転倒転落アセスメントシートの評価の記入と転倒虫の色の確認もしている。</p> <p>3I 意思決定 意欲 生き方(その人らしい生活)</p> <p>面会制限はあるが、患者が自分で聞き意見を述べる機会を大切にするために、定期面談の最初か終盤の10分に患者も参加してもらっている。</p>
5-2 病棟	<p>→ 意見</p> <p>みんなが意見を出し合い活気ある病棟をつくるために、昨年度末に病棟の現状のアンケートを行った。その結果から取り組み項目をあげ1週間毎に3項目を月曜日から金曜日の朝、担当を決め唱和することで都度意識し振り返る</p>	<p>→ 意見</p> <p>アンケートの結果を月～金曜日まで毎日唱和している。6月にもアンケートを実施し、その結果を11月まで唱和した。10月CW会で「ぶっちゃけ会」とし忌憚のない意見を出してもらい、取り上げるべき問題は病棟会議に上げた。10月には「つぶやきタイム」として封をした専用ポストに何でもいいのでつぶやいてもらえる環境を整えた。</p>

部 署	目 標	評 価
外来	<p>1. 看護をつないで在宅療養を支援する</p> <p>①患者・家族とコミュニケーションを積極的にとり、関係性を構築する</p> <p>②患者・家族の意思決定を支えるためICに同席し、患者の思いを受け止める。方向性を確認しながら情報を共有し、多職種で連携する</p> <p>③病棟・地域からの連絡票を活用して、受診前の情報収集や患者把握を行う</p> <p>④退院前カンファレンスへの参加件数を増やす</p> <p>⑤「とよサポ」と協働し、地域へ情報を提供する</p> <p>2. 仲間を大切にし、成長する職場環境をつくる</p> <p>①外来会議・リーダー会議で活発な意見交換を行う</p> <p>②協力体制の強化</p> <p>③積極的に笑顔であいさつをする</p>	<p>1.</p> <p>①外来受診時に、スタッフそれぞれが工夫し効果的なコミュニケーションをとろうと努力した。</p> <p>②気になる患者やIC後の患者に声を掛け、患者の理解度や思いを受け止めチームで話し合えるようになってきた。他の業務のため、同席できない場合も多い。</p> <p>③病棟や地域からの連絡票で事前に情報収集ができ、限られた診察時間を有効に使えるようになった。</p> <p>④退院前カンファレンスには、コロナ禍のため数件しか参加できなかった。</p> <p>⑤病状の進行を意識し、早くから地域との連携を考えて「とよサポ」に相談した。</p> <p>2.</p> <p>①外来会議は定期的の実施できていない。リーダー会議は平日16時からの業務カンファレンスで補っている。</p> <p>②協力に対応できる科が限られているため、応援スタッフも決まってくる。今後、常勤医の増加と外来診療科の増加に伴い、それぞれが対応できる診療科を増やしていく。</p> <p>③感謝の気持ちを素直に表現し相手に伝えられるように意識している段階である。</p>
とよサポ	<p>1. 院内の看看連携・他部署連携を強化し、患者の療養生活を継続的に支援する</p> <p>①入院患者のせん妄状態や認知症症状が悪化したときには速やかに連絡を受け、DSTとして介入する</p> <p>②退院前カンファレンスの連絡が入るように、病棟や相談室にアナウンスする。外来看護師と退院前カンファレンスに同席し、外来受診時の観察指標とする</p> <p>③入院時支援の情報を病棟看護師・MSW・管理栄養士・薬剤師と共有して、事前のプランにいかす</p> <p>④継続看護委員会・記録委員会・認知症ケア委員会・教育委員会等と連携し、外来と病棟が院内連携できる</p> <p>2. 外来・訪問診療から入院病棟・訪問看護ステーションに外来サマリーを活用することで、継続した看護を提供できる</p> <p>①外来から訪問看護導入となったときに、外来サマリーを作成する</p> <p>②外来通院の中で、必要な患者には外来サマリーを作成する。入院中・退院後に継続した看護が提供できるようにする</p>	<p>1.</p> <p>①DSTの介入を継続して行っている。各部署での対応が整ってきたことで、DSTに緊急での対応要請は減少した。</p> <p>②訪問診療を受けている患者以外に、退院前カンファレンスの要請はない。師長会や継続看護委員会と連携しながら、退院前カンファレンスの実績を増やし、病棟と外来の連携を深めていきたい。</p> <p>③④入院支援の件数に大きな変化はない。多職種から事前連絡での連携をフィードバックしてもらっている。今後は、病棟が連携で得た情報を看護計画にどう活かしているのか評価していく方法を考えたい。</p> <p>2. 外来通院中に訪問看護が開始になる患者や、訪問診療で関わっている患者に関しては、外来サマリーを作成できるようになった。今後は、訪問看護に繋がらない患者でも、病歴・通院のまとめとしてサマリーを作成していきたい。</p>
血液浄化センター	<p>慢性疾患患者のもつ力を引き出し、その人らしい生き方・生活ができるよう支援する</p> <p>1. 患者と受持ち看護師が看護計画を共有し、継続的に関わる</p> <p>①透析中だけでなく、在宅での日々の生活・家族にも目を向ける</p> <p>②患者の生活目標を患者とスタッフ皆で共有し看護計画に反映する</p> <p>③患者が意思決定できるよう情報を提供する</p> <p>④日々のケアの中で、患者・家族へACPを意識したコミュニケーションを行う</p> <p>⑤安全で安楽な透析を安心して受けもらえるよう支援する</p>	<p>1.</p> <p>看護計画に患者の生活目標を反映し、スタッフで共有している。在宅での生活に目を向けたコミュニケーションや関りを係長がモデルとなって実践し、スタッフも生活目標に関連した声掛けや情報収集をして患者を支援した。ACP・意思決定支援について、病棟で勉強会を実施した。知識を深めたことで、意思決定支援を意識した関りが出来るようになってきている。</p>

部 署	目 標	評 価
血液浄化センター	<p>2. 透析に関わる知識・技術の向上</p> <p>①透析ラダーゴルフを用いた育成 ②勉強会の実施1回/月（CE合同の勉強会） ③院外研修会への参加 ④専門的知識を生かした患者のセルフケア支援(毎月)</p> <p>3. 他者を思いやり、認め合い共に育つ環境をつくる</p> <p>①お互いを尊重し「ありがとう」の気持ちを言葉にできる ②他者を思いやる心を持ち、患者・家族を大切にできる ③挨拶をしっかりと行い、笑顔のある働きやすい職場をつくる</p>	<p>2. ラダーゴルフを用いて各自が行動レベルでの目標を設定して、人材育成ができた。 勉強会はCEと分担して毎月計画に沿って実施できた。今年度はスタッフが講師として勉強会を主催することで、知識と技術の向上に繋がったと思っている。 セルフ支援も、計画に沿って実施と評価ができた。毎月患者の反応や理解度を確認して、患者指導に活かしている。コロナ禍の行動制限のため院外の研修にはほとんど参加できなかったが、eラーニングの視聴や研修のオンデマンド配信受講を呼びかけ、各自が目標に沿って学習を進めることができた。毎月の本読み会は、自らの学びを他者に伝える学びの場になっている。</p> <p>3. 患者だけでなくスタッフ間のコミュニケーションも大切にできるよう、情報共有に努めた。情報はチームで共有して患者支援に繋げるものと認識し、カンファレンス等での情報共有に努めた。コミュニケーション勉強会を実施して、挨拶の重要性を改めて学んだ。 自分も大切にし他者を思いやり、目の前の人が必要としているのか考えて支援できるような人材を育成できる透析室を作っていく。</p>
手術室	<p>1. 手術室看護の役割を理解して、スタッフ全員が看護力を身につけるために、お互いに学び合い知識と技術の向上に努める</p> <p>①術前・術後訪問で患者さんの必要としていることを把握し、安心や安楽を提供することができる ②朝礼で術前患者の問題点を確認し、チームとして情報共有して業務が安全に円滑に行えるようにする ③手術に関する疑問は放置せず、調べ合ってお互いに学び共有していく</p> <p>2. 活気のある職場・元気の出る職場づくりで、認め合い共に育つ環境をつくる</p> <p>①スタッフ間で声を掛けやすい雰囲気をつくり、「助けを求めているか」「困っていないか」等、気を配りながら動く ②声を掛け合い協力することで、インシデントやヒヤリハットを回避し円滑に業務を行う</p>	<p>1.</p> <p>①スタッフと話し合い、術前術後の訪問方法を変更した。共通認識ができて、誰が手術に入っても患者対応が円滑にできるようになった。 ②③医師や先輩に教えてもらったことが自分だけの知識となっていることが多いため、今後は知識が共有できるようにしていきたい。</p> <p>2.</p> <p>①仕事が立て込むことは少なくなってきたが、安全な運営ができるように気を付けていきたい。3グループに分かれ、倫理的配慮を意識した感性や理解力を身につける機会を設けた。 ②インシデントやヒヤリハットの件数は減ってきた。インシデント・ヒヤリハットについては、全員で情報共有して改善策や対応方法を考えた。</p>
医療安全室	<p>1. 医療安全の質向上</p> <p>1) 医療安全マニュアルを遵守し、インシデント・アクシデント事例の軽減に努める</p> <p>①ダブルチェック方法の見直しと、多数あるダブルチェックを整理し有効なダブルチェックが実施できるようにする ②インシデントレポート報告件数の減少から、レポートの報告の目的とリスク意識を高めることができる</p> <p>2) 急変時対応への取組み</p> <p>①早期警告スコア表（NEWSスコア表）を活用し異常の早期発見に努める ②SBERでの報告ができる ③フィジカルアセスメント教育を実施する</p> <p>3) M&Mカンファレンスを実施し、医療の質の向上を図る</p> <p>①毎月M&Mカンファレンスを行い、医療内容を振り返り提供した医療の質を検討する</p>	<p>1)</p> <p>①ダブルチェックの見直しはできなかった。職員の意識改革にどのように取り組んでいけば良いのか、具体的な方法が見いだせなかった。 ②医療安全の基礎を学ぶことは安全意識を高める基礎になると考え、第1回医療安全研修会では基礎的な医療安全に関連したeラーニングの視聴を取り入れた。</p> <p>2)</p> <p>NEWSスコア活用後にアンケート調査を実施した。目的と方法の理解ができていなかったり、単に入力しているだけという状況が分かった。経過表と連動していない不満もあった。導入の目的と必要性を理解してもらうために第2回医療安全研修会で当院の医療事故調査事例を報告した。参加者から、必要性や目的が理解できたとの反応を得た。</p> <p>3)</p> <p>毎月1回、医療安全対策委員会においてM&Mカンファレンスを実施した。医師の死亡診断書の記載や看護師の記録等に関しては、直接、医療安全室長から指導をした。看護師の記録に関しては、記録委員会や師長会で改善策を検討し、部署内に周知してもらった。</p>

部 署	目 標	評 価
感染管理室	<p>1. 血液媒介病原体による職業感染対策の推進</p> <p>1) 鋭利器材の適切な取り扱い ①リキャップしない ②安全装置器材の正しい使用</p> <p>2) 防護用具の適切な使用 ①採血・静脈確保時の手袋 ②喀痰吸引時等のゴーグル ③救急外来や観血的処置時のフルPPE</p> <p>3) サーベイランスの継続</p> <p>4) 血液・体液曝露防止強化月間による啓発</p> <p>5) 曝露事例発生時のHIV検査の導入</p> <p>2. 手指衛生の遵守率と消毒剤使用量の向上への取り組み</p> <p>1) 手指衛生の実施状況調査、直接観察</p> <p>2) 手指消毒剤の使用量調査</p> <p>3) 医師・コメディカル・事務への啓発</p> <p>4) お互いが指摘し合い受け入れられる環境（風土）を作り、手指衛生の向上に繋げる</p> <p>3. CLABSI発生ゼロ</p> <p>1) サーベイランスの継続</p> <p>2) 手指衛生を含めたカテーテル管理の手法確認、マニュアルの見直し</p> <p>4. 抗菌薬の適正使用</p> <p>1) ASTの結成</p> <p>2) 届出抗菌薬使用量の減少</p> <p>3) デーエスカレーションの重要性の啓発等</p> <p>5. ムリムダムラのない感染対策の推進</p> <p>1) 清潔リネン・不潔リネンの運搬方法の標準化と一元化</p> <p>6. その他、TOPICS</p> <p>1) 歯科機器や単回使用医療機器における再利用物</p> <p>2) 手指消毒剤等の消耗品の見直し、経費節減</p>	<p>1. 針刺し4件、体液曝露4件の合計8件報告があった。昨年度は9件の報告があり、1件だけ下回った。HIV検査ははまだ取り組めていない。</p> <p>2. 新型コロナの影響で手指消毒剤の入荷が一時難しくなった。入荷が回復しても一旦低下した使用量はなかなか回復しなかった。しかし、COVID-19クラスター発生により、手指消毒剤の使用量が増加した。3月の手指衛生強化月間に使用量の見える化を図り、ほとんどの部署で使用量は増加した。様々な取り組みで使用量が維持できるように工夫していく。</p> <p>3. 担当していたCNICの退職とCOVID-19クラスター発生により、9月以降サーベイランスが中止したままである。再開の目途も立っていない。</p> <p>4. AST活動は薬剤部に任せしたが、週1回のカンファレンスがほとんどできていない。血液培養検査結果も集計はおろか検出患者の情報収集すらできていない状況である。</p> <p>5. 未介入</p> <p>6. 未介入</p>
レインボウとよさと	<p>レインボウの強みを明確にしていく</p> <p>1. はたしょうと統合し(大規模化)、柔軟なスタッフ配置、リハビリ職との協働を強みにして臨機応変に利用者の多様なニーズに対応していく</p> <p>2. マニュアルの整理、カルテの整理、緊急事態に備えての情報の整理を充実していく。</p> <p>3. 報告・連絡・相談を意識し、所内で情報を共有し意見を出し合うことでチームワークを強化していく</p> <p>4. 看取り支援の見える化・振り返り(デスクカンファレンス)、意思決定支援を理解し、本人の望む生活が送れるように支援していく</p>	<p>1. 10月1日付で統合したが、前もって統合のシミュレーションができていなかった。場所が離れているため情報共有をどうしていくか、月に1回の合同カンファレンスで意見交換と情報共有を図り、相互理解を深めている段階である。新規利用者については、互いの空き状況を見て受けている。</p> <p>2. 新型コロナウイルスの影響で事業所休止を想定し、トリアージと情報の整理を進めることが出来た。カルテ整理を、主任・係長会議で決議して進めている。</p> <p>3. 報告・連絡や相談はできているが、積極的な意見交換はまだ十分ではない。</p> <p>4. 在宅やグループホームでの看取りがあった。短期間ではあったが、その都度意思確認（家族）しながら進めることが出来た。グループホームのケースでは、職員と振り返りの機会が持てた。</p>
レインボウはたしょう	<p>1. 利用者に寄り添う看護ができる</p> <p>1) 利用者・家族の思いを把握し、共有する記録に残しカンファレンスで共有する</p> <p>2) 利用者の自立を支援するアセスメントシートを活用する</p> <p>3) ターミナルケアを充実させるターミナル期の利用者・家族の心理を理解し支える</p> <p>2. 地域に寄り添う看護ができる</p> <p>1) 他職種の思いやニーズを把握し、協働してサービスを提供することができるケアマネアンケートを実施する</p> <p>2) 地域のニーズを把握し、訪問看護に何が求められているかを把握する地域の会議や研修会に参加し、ニーズを知る</p>	<p>1. ターミナル期の振り返りカンファレンスを通して、自分たちの感覚ではなく本人や家族の言葉や態度からアセスメントすることができた。アセスメントシートを活用して利用者のケアに役立てることができた。在宅看取りは9件あり、関わった時点から早期に看護計画を立案することができた。デスクカンファレンスにより、看護の振り返りも定期的に行っている。</p> <p>2. ケアマネ対象に満足度調査を実施して、概ね満足との結果を得た。多賀町と愛荘町の会議に参加して、訪問看護の役割を説明し非常時には近隣の訪問看護ステーションと協働することを地域にアピールできた。</p>

部 署	目 標	評 価
レインボウ はたしよ	<p>3. お互いの強み・弱みを理解し、チームとして高め合うことができる</p> <p>1) 自分の意見を出し、人の意見はきちんと聞く姿勢を持つ</p> <p>2) 互いの強みを認め合う</p> <p>3) チームを意識して行動する</p>	<p>3. 定例カンファレンスではスタッフ全員に声掛けすることで、各自が自分の意見を述べ傾聴することが出来た。初めてのケアなど分からないことを出し合い、皆で調べて共有することが出来ている。困っていることをカンファレンスで取り上げ、皆で考える姿勢ができています。</p> <p>利用者の看護では、担当者を中心に意見交換をすることでチームでの看護が確立しつつある。</p>
レインボウ ひこね	<p>1. 地域共生社会における訪問看護の役割を実践し、医療を通して地域作りに参加する</p> <p>1) 会議や研修会に参加し地域ニーズを把握する</p> <p>2) 利用者・家族のエンパワーメントを引き出す訪問看護実践</p> <p>3) 多職種と協働し「医療」と「生活」の両視点での看護を倫理的に言語化できる</p> <p>4) 意思決定を支援する訪問看護実践能力向上</p> <p>2. 安全で安心な訪問看護の提供のために学び続ける</p> <p>1) e-ラーニングシステムを活用した自己学習</p> <p>2) 個々の目標を明確にし、モチベーションアップを図る</p>	<p>1. 新型コロナの影響もあり地域での各種事例検討会や会議はZOOM対応となる。地域でのステーションの役割を認識し、会議では現場の組み状況、課題、要望等を発信出来た。精神訪問看護で問題となっているひきこもりに関しては、「湖東地域チームケア研究会」において事例発表でき、保健・福祉との連携の現状、課題を地域全体で検討できる機会となった。自部署においては精神科からの看護師の異動もありアセスメントシートの作成や倫理カンファレンスを定例化、実習マニュアルの作成ができ、看護の質の向上が図れた。</p> <p>2. コロナ禍において集合研修が中止となる中、オンラインシステムの整備が出来た。</p> <p>その為ZOOMでの受講が主となったが、訪問看護e-ラーニング、精神訪問看護基本療養費算定研修、初任者研修、認定看護師フォローアップ研修等を受講し、地域ではコロナ対策の研修会を訪問看護支援センターと協力して開催出来た。</p>
バスト ラール とよさと	<p>1. 老健における看護の役割を実践する</p> <p>1) 個々の利用者に関心を示し、積極的にコミュニケーションを図り理解を深める</p> <p>2) ターミナルカンファレンスにスタッフナースも参加し、家族の思いを知る</p> <p>3) 他職種と情報共有し、看護の視点で発言できる</p> <p>2. 安全で安心な看護を提供するために、学習に取り組む学びを深める</p> <p>1) e-ラーニングを1人3講座は必ず受講し、受講報告書を提出できる</p> <p>2) 外部研修に積極的に参加し、伝達講習ができる</p> <p>3. 利用者と家族の満足度を高める</p> <p>1) 丁寧な言葉遣いで、相手の理解を確認しながら話す</p> <p>2) 笑顔で対応する</p>	<p>1.</p> <p>1) 状態や症状に合わせて必要なコミュニケーションを図り理解に努めるとともに、介護士と連携して情報を得ることができた。</p> <p>2) その日の状況により師長に加えてもう一人の看護師がカンファレンスに参加することが難しいこともあった。カンファレンス記録等で家族の思いの共有を図った。ナース会でデスクカンファレンスを開き、振り返りをした。</p> <p>3) カンファレンスで情報共有に努め、多職種で統一したケアが実践できるようにした。</p> <p>2.</p> <p>1) 大半の人が課題をクリアできた。年齢的な事情や端末をもっていない等の事情からe-ラーニングの視聴が困難なスタッフがいる。そういう人には紙ベースでの資料提供を伝えているが、希望者はいなかった。受講報告書はファイルにまとめ学びの共有をしている。</p> <p>2) コロナの影響で外部研修の機会が減った。感染予防の研修には参加して伝達もできた。</p> <p>3.</p> <p>1) 家族には丁寧な対応ができています。利用者本人には慣れが生じ、丁寧な対応とは言えないことがある。</p> <p>2) 大体笑顔で対応できていた。頻回に訴えを繰り返すケースなどでは、笑顔での対応が難しくなることがある。距離や時間、人を替える等の工夫をしていく。</p>

5 各種委員会

看護部業務委員会

看護業務の改善、合理化の検討をし、資質の向上を図り業務に関する事項の統一を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第3月曜日
- (2) 審議事項
 - ・新人研修 採血実践計画評価反省会・手順の見直し検討
 - ・業務手順の項目 手順書目次の改定変更
 - ・インシデントアクシデントを再検討し、手順書の見直しや改訂を行う
 - ・入院チェックリストの改定
 - ・感染管理委員会・リスク委員会からの提案や変更、手順書の書き換えに対する情報を共有して看護手順の内容見直しをして円滑で安全な業務ができるようにする
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

CW 業務委員会

患者さんを中心に考え、その人らしい生活や生き方を支えるために、統一した対応ができるよう看護師・看護補助者との連携を強化する。患者さんが、安全で生活しやすい療養環境を看護補助者が中心となり整備し提供する。

- (1) 開催時期 年6回第4金曜日 15:00～
 - ・前年度目標の評価と今年度目標の検討
 - ・今年度のCW研修の予定
 - ・看護師・看護補助者の業務分担、見直し
 - ・給食時のお茶配りについて
 - ・リネン類の取り扱い・リネン運搬経路
 - ・ポータブルトイレの故障時の対応
 - ・看護補助者研修会の検討・開催後の評価
- (2) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員9名

看護記録委員会

決められたルールを守り、情報共有するための記録ができるために活動。「重症度、医療・看護必要度」の入力が正しくできるために活動。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第2月曜日 14:00～
- (2) 審議事項
 - ・「重症度、医療・看護必要度」研修の実施
 - ・電子カルテマニュアルの見直し
 - ・記載基準マニュアルの見直し
 - ・年2回の記録監査、年2回の必要度監査
 - ・院内連携のための検討
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

クリニカルパス委員会

チーム医療の推進、インフォームド・コンセントの促進、リスクマネジメントの促進等を目的として、各種疾患に対するクリニカルパスの作成・使用推進を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 6月・11月の第2月曜日 14:00～
- (2) 審議事項
 - ・使用中のクリニカルパスの修正について

- ・新しいクリニカルパスの開発について
 - ・クリニカルパスの運用について
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員15名

感染リンクナース委員会

感染に関する知識を深め、統一した感染対策を実施する。お互いに指摘・助言し合い、適切な感染対策を実施することで医療関連感染の防止・低減に繋げる。

- (1) 開催時期 毎月1回 第2金曜日 14時～
- (2) 審議事項
- ①手指消毒剤使用量サーベイランス
 - ②中心ライン関連サーベイランス
 - ③手指衛生強化月間
8月、3月；使用量の見える化
 - ④血液・体液曝露強化月間
 - ⑤感染防止技術グループによるリンクナースラウンド
 - ⑥マニュアルの見直し・改訂
- (3) 研修会の開催
- 新採用者研修 標準予防策と感染経路別予防策
 - 新人看護師防止技術研修
防護用具の着脱実践、喀痰吸引、尿道留置カテーテル感染予防策
手指衛生の5つのタイミング、針の取り扱い、血流感染予防策、血液培養検査

看護リスク検討会

看護師の医療安全に関する知識を深め、医療現場における安全性の確保と看護の質の向上を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2木曜日
- (2) 審議事項
- ・医療安全マニュアルの見直し
 - ・新人研修 転倒・転落研修会
 - ・RRSの学習会・出張の伝達講習
 - ・転倒・転落の各部署の事例報告と情報共有
 - ・転倒・転落防止対策への取り組み
 - ・各部署の事例報告と情報共有
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員11名

看護部教育委員会

看護職員の相互理解と資質の向上、および関係者の親睦を図る。

キャリア開発プログラムに沿った目標管理、教育計画の立案、実施、評価を行う。看護研究を推進し、看護師の質の向上をめざす。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第1木曜日
- (2) 審議事項
- ・看護研修の推進
 - ・レベル別及び全体を対象とした教育計画の企画立案、実施、評価
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員10名

係長会

地域包括ケアシステムを理解し、地域における病院の役割、看護部の役割を理解したうえで退院支援看護師として係長がその役割を十分に果たせるように、倫理的感性を高め、資質の向上を目指すことを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日 14時～
- (2) 審議事項
 - ・地域包括ケアシステムを理解し、地域の現状から地域における当院の役割、看護部の役割を理解する
 - ・看護部として継続看護を推進するために、係長として部署内で果たす役割を実践する
 - ・部署内で発生した倫理問題を把握し、倫理カンファレンスを定着するその他 看護部倫理マニュアル改定、倫理審査用紙の検討、倫理について部署内啓発、研修企画・運営
- 研修会 新人看護職員倫理研修 4月
その他：倫理審査（ケーススタディ、看護研究）
- (3) 人員構成 委員長1名 看護部係長11名

継続看護委員会

患者中心の医療と療養と生活を繋ぐ

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日 15時半～16時半
- (2) 審議事項
 - ・事例検討会
 - ・部署間の継続看護、看看連携における“とよサポ”の活用
 - ・スタッフへの継続看護の教育的役割
 - ・継続看護の質の均一化を図るためのマニュアルの見直し・修正・作成（退院支援と退院調整に関するツールの作成）
 - ・院外研修を基にした学習会（e-ラーニング活用も含む）
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員10名

看護部主任会

豊郷病院における主任業務遂行のため、看護チームの円滑な運用及び効果的な教育・指導を実践する。

活動状況

- (1) 開催時期 年5回
- (2) 審議事項
 - ・主任として自部署の効果的な運用、スタッフ・リーダー育成についての意見交換
 - ・課題達成に向けての勉強会
 - ・チームリーダーとしての役割を発揮できるよう情報交換
- (3) 人員構成 委員長1名 各部署主任21名

実習指導者会

各学生の実習目標が達成できるように学校教員と連携をとりながら指導・支援する。

活動状況

- (1) 開催時期 年5回
- (2) 審議事項
 - ・「学生が看護師っていいな・楽しいな」と思える実習の検討
 - ・実習の振り返り
 - ・各病棟内のハード面・ソフト面の整備
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

新人研修委員会

豊郷病院看護部に入職する新人看護職員を全職員がともに支え合い、成長することを目指すために、また、新人看護職員が臨床現場に順応し、臨床実践能力を獲得するための支援体制を整える。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3金曜日
 (2) 審議事項

本委員会は厚生労働省の示す新人看護職員研修ガイドラインを基に以下の事項を審議、実践する。

- ①施設及び看護部門の教育方針に基づき、研修プログラムを策定・企画
 ②策定された研修プログラムを元により具体的な研修方法・研修内容等について審議
 ③教育担当者・実施指導者の研修に関する審議

- (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

NST・褥瘡リンクナース委員会

公益財団法人豊郷病院における院内栄養サポート、褥瘡予防対策と治療を討議・検討し栄養サポートと褥瘡に関する知識の増進・普及を図り、日常生活自立度が低い入院・入所患者に対して栄養サポート・褥瘡予防対策と治療を図るとともに医療の向上、看護のケアの促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 リンクNs委員会 月1回第3水曜日 13:10～
 褥瘡回診 毎週水曜日 14:30～
 褥瘡ラウンド 月1回第3水曜日 14:30～

- (2) 審議事項 保有患者症例検討
 褥瘡計画表・評価表・マニュアルの見直し・改定
 電子カルテでの計画書の運用
 褥瘡発生率・治癒率の確認
 マット点検
 体交枕の検討
 レンタルマットの検討
 院外研修の伝達講習
 創傷ケア通信発行

研 修 会 2020年度は感染予防のため、研修なし

- (3) 人員構成 委員長1名
 各セクション看護師各1名ずつ計9名 (パストラール含む)

認知症ケア看護委員会

各部署の認知症ケア向上のための活動

活動内容

- (1) 開催時期 月1回 第1水曜日 14時～15時
 (2) 審議事項 ・事例検討会
 ・部署間の認知症看護、看看連携における実践内容の検討
 ・スタッフへの認知症看護の教育的役割
 ・認知症看護の質の均一化を図るためのマニュアルの見直し・修正・作成
 (認知症看護に関するツールの作成)
 ・院内研修を基にした学習会
 (3) 人員構成 委員長1名 委員7名

6 看護教育委員会事業報告書

レベル	【実践能力】・テーマ	開催日	参加人数・参加率	内 容
	【ニーズをとらえる力】 アナムネの取り方	7/22(水) 17:30～18:15	37名 78%	講師:古川師長 コロナ感染予防の観点からグループワークは行わず講義のみの研修となった。 アナムネは入院中の必要な情報なので、ポイントを押さえていくことが大切だということを学べた。ポイントが集約され、わかりやすい講義であったという感想が多かった。
	フィジカルアセスメント 循環器系	10/23(金) 17:30～18:30	37名 77%	講師:田畑師長 バイタルサインの重要性を学べた研修。普段の患者のバイタルサインを知っておくことが大事であること、呼吸数の重要性を学べたという感想が多かった。医師への報告ではISBARCを意識して報告したいという意見も多く、講義がわかりやすかったという感想も多かった。
	【ケアする力】 救命救急			実践形式の研修であったため、コロナ感染予防の観点から中止。
	【協働する力】 コミュニケーション メンバーシップ	9/30(水) 17:30～18:30	33名 69%	講師:教育委員 心理テスト、パワーポイントでの講義、グループワークを行なった。コミュニケーションの大切さ、自の役割、報・連・相の重要性を学べた研修。
I・II 合同	I・II 合同 【意思決定を支える力】 エンド・オブ・ライフケア	2021.3/4～3/31	82名 70.6%	「エンドオブライフケアにおける看護師の役割」「わが家で最期を迎えたい人を支える在宅医療」の2つの動画を視聴後、教育委員会からのアンケートを記入してもらおう研修。人生の最終段階での意思決定をどう支えていくか、看護師の役割の理解、患者、家族との関わりについてさまざまな意見が寄せられた。グループワークができなかった為、学びの共有を目的に各部署へアンケート結果を配布した。
II	【ニーズをとらえる力】 入院支援	2021.3/4(木) 17:15～18:00	11名 6%	講師:古川師長 通院、入院時から退院後を見据えた継続的な関わり、多職種との連携について学べた研修。感想では退院調整に対する意識も高められ、部署毎に自分達の役割も理解できた研修となった。参加人数が少なかったため、教育委員の研修参加への啓発が反省点である。
	フィジカルアセスメント 呼吸器系	7/22(火) 8/11(水) 17:15～18:15	26名 20名 77%	講師:田中師長 伊藤主任 講義と実践形式の研修。呼吸について 視診、聴診、副雑音の分類について講義があり、フィジコを用いて異常音を実際に聴診した。実際に聴くことで理解を深めることができ、アセスメントに役立つものとなった。わかりやすかった、アセスメントの重要性を再認識できたなどの感想も多くみられた。
	【ケアする力】 救急救命			実践形式の研修であったため、コロナ感染予防の観点から中止。
	【協働する力】 リーダーシップ メンバーシップ	8/27(木) 9/3(木) 17:20～18:30	38名 55%	講師:仮屋主任(教育委員) リーダーシップ、メンバーシップについての講義と演習リフレミング取り入れ、最後にグループワークが行なわれた。感想では演習やグループワークがあったのでイメージしやすかった。リーダーシップだけでなくメンバーシップも大事。信頼と協力が大切であるという意見が多かった。
III	【ニーズをとらえる力】 フィジカルアセスメント	2021 1/6(水) 1/7(木) 17:30～18:30	38名 46%	講師:須賀主任 玉城Ns 看護協会研修「急変を見逃さないフィジカルアセスメント」参加後伝達研修 フィジカルイグザミネーションなどアセスメントの重要性を学べた研修であった。 経験もあるレベルであり、感想の中には知識の再認識に繋がった、初めて聞くキーワードもあり、もう一度知識を深めたいと思ったなどの感想があった。
	【ケアする力】 救急救命			実践形式の研修であったため、コロナ感染予防の観点から中止。
	【協働する力】 アサーション	2021 3/12(金) 3/16(火) 17:30～18:30	34名 38%	講師:金丸係長 昨年のレベルIIで行なった研修の同内容の研修。事例を通して、アサーティブを取り入れた関わりを講義。アサーションチェックで自己分析を行ない、メッセージ「み・かん・てい・いな」を用いた会話分析などわかりやすく講義された。グループワークは中止となったので講義のみとなったが、実践で活用しやすい内容であった。

レベル	【実践能力】・テーマ	開催日	参加人数・参加率	内容
III	【意思決定を支える力】 アドバンス・ケア・プランニング	1/15～2/12	68名 82%	看護協会研修 1月開催予定であった「意思決定プロセス支援とアドバンス・ケア・プランニングの重要性」に参加し伝達研修予定であったが、中止となったため内容を変更。 eラーニング 中堅コース 「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)のコツ」～人生最終段階に向けた患者の意思決定を共有する～を試聴してアンケートを提出してもらった。意思決定プロセス支援とACPの重要性を学べた。グループワークができなかった為、学びの共有を目的に各部署へアンケート結果を配布した。
IV	【ニーズをとらえる力】 三職能で考える看取り 訪問看護体験終了後全体研修	7/31(金) 17:30～18:30	32名 84%	看護協会研修「三職能で考える看取り～死を迎える患者と支える家族への包括的支援～」参加後伝達研修 講師:谷川統括所長 訪問看護師とのグループワーク 訪問看護体験を行なった2019年度研修の延期となった研修。2020年度にレベルIVになった人も参加。グループワークは意見交換会として行なった。看書連携の大切さを再認識できた有意義な研修となった。療養サポートセンター「とよサポ」の重要性も理解できた。
	【協働する力】 院内連携・人材育成			コロナ感染予防の観点から中止。
	【意思決定を支える力】 アドバンス・ケア・プランニング			コロナ感染予防の観点から中止。
全体 研修	【ニーズを捉える力】 血液浄化センター研修	3/1(月) ～3/31(火)	19名 80.7%	講師:針立係長 透折看護認定看護師 当初は講義を含めた透折療法への理解が目的の研修であったがコロナ感染予防の観点から内容を変更。 血液浄化センターで実施されている デスカンファレンスについて 「デスカンファレンスの意義と実際～遺族を招いて行うデスカンファレンス～」の 動画を視聴し感想を記載してもらった研修とした。
	【ケアする力】 認知症研修 認知症患者の体験している 世界を知ろう ～PART 2～	8/28(金) 17:30～18:30	58名 23%	講師:堀尾師長 認知症看護認定看護師 昨年の研修で患者紹介をされ、その後の患者、家族との関わりについての事例紹介であった。入院中でなく退院後の生活に沿った内容で在宅での関わりが理解できた研修であった。
	認知症研修 せん妄	3/27(金) 17:30～18:15	55名 22%	講師:木築Dr 「せん妄」とはから始まり、せん妄の分類、要因、対応方法や家族への説明など理解しやすい講義内容であった。資料もコンパクトにまとめられており、持ち歩きたいなどの感想や楽しく学べた、これからの看護に活かせるなどの感想も多く好評の研修であった。
	看護部総会	6/10(水)	17名	今年度はコロナ感染予防の観点から所属部署代表参加となる師長会で報告とした。事業報告、会計報告、次年度予算案、教育計画案を報告した。師長会出席者17名、委任状203名で過半数を超え可決された。
	ナラティブ発表会	11/6(金) 17:20～	58名 23%	12名の発表があった。12の看護のドラマを聴き、感動し振り返りができた発表会となった。
	看護研究発表会	2/27(土) 13:10～15:30	49名 20%	年間を通して計画、実践、まとめた研究成果を発表し、学びの共有の場となった。 発表部署 3-2・3-3・3-4・3-6・1-3・5-2・レインボリはたしよう・ 講評 力石地域包括統括部長 総評 片山看護部長 座長 木村師長
	リフレッシュ研修			コロナ感染予防の観点から集合での会食は中止とし、食事券に変更とした。
	ケーススタディ発表会	1/29(金) 14:10～16:50		発表者:11名(入職後3年) 講評:片山看護部長、外川副看護部長、西村副看護部長 座長:田中師長 ケースをまとめることで自己の看護を振り返ることができ、発表で各部署の特徴も理解できた。活発な質疑応答ができた。

7 看護院内研究発表会

日時：令和3年2月27日（土）13：10～15：40

場所：9-2 ホール

1. 病棟でのPNS運営方法変化後の効果について

キーワード：コミュニケーション パートナーシップ 相互作用 対等

3-2 病棟 ○城貝 奈央

2. せん妄ハイリスク患者へせん妄発症患者の発症要因と発症者への看護介入の実態

～記録の分析から見えてきたこと～

キーワード：せん妄 急性期 手術 不穏 看護師 介入 実態調査

3-3 病棟 ○田中 瑞樹

3. 当病棟における介助中に発生するスキんテアの実態とその関連要因について

～インシデントレポートを振り返って～

キーワード：スキんテア 皮膚脆弱 高齢者 インシデント

3-4 病棟 ○青地 あかり

4. 自閉スペクトラム症の障害特性を活かした、生活スキル獲得への取り組み

～自分の意思で生きる時間づくり～

キーワード：自閉スペクトラム症 こだわり 自傷

3-6 病棟 ○西川 由希子

5. 死にたいと訴え透析中に自殺を図る患者の看護

～精神科病棟と連携し関わった一事例～

血液浄化センター ○鉾立 優作

6. 認知症患者に対する排便カンファレンスの工夫

～評価のしやすい統一した排便コントロールを目指して～

1-3 病棟 ○伏谷 里奈

7. 回復期リハビリテーション病棟での情報収集と活用の実態調査

キーワード：情報収集 情報活用 ADL IADL

回復期リハビリテーション病棟 ○松田 圭記

7. グループホーム職員と訪問看護師の協働による看取りケア考える

～事例の振り返りの中で視えたこと～

キーワード：グループホーム 看取りケア 連携

訪問看護レインボウとよさと ○木村 美香

特別講演（2020年12月開催のNursing nowと同じ内容）

私の看護の支え “結” ～繋がり～

キーワード：仲間 デスカンファレンス 透析患者交流会

透析看護認定看護師 ○鉾立 優作

〈地域連携室部門〉

〈医療福祉相談室部門〉

医療福祉相談室理念

豊郷病院の基本理念に基づき、疾病に伴い生ずるさまざまな生活上の問題を共に考え、その解決に向け質の高い援助を提供します。

基本目標

1. 患者さんご家族の人権を尊重し個人としての尊厳を擁護します。
2. 患者さんご家族のプライバシーを尊重し秘密を保持します。
3. 患者さんご家族が自らの問題解決に主体的に取り組めるよう支援し、自己決定権を保障します。
4. 院内の他職種、及び地域の保健・医療・福祉の関係機関との連携を強めます。
5. 質の高い援助を提供するために、常に専門職としての研修・研鑽に努めるとともに、後輩の育成に努めます。
6. 専門職の立場から社会活動を行い、社会資源の活用と開発を図ります。

1 地域連携室事業報告

地域連携室

① 概要

「地域連携室」は、地域の医療機関、診療所の先生方と円滑な連携を図り、患者さまに迅速で適正な医療・検査を提供できるよう、2003（平成15）年5月に設置されました。

《業務内容》

1. 病病、病診連携業務

- ① 診察・検査予約調整
（地域の医療機関からの予約受付及び地域の医療機関への予約依頼）
- ② 各種問合せの対応
（地域の医療機関からの問合せ及び地域の医療機関への問合せ）
- ③ 転院調整
- ④ 紹介患者来院・入退院報告書処理
- ⑤ 診療結果報告書等処理（持参・郵送）
- ⑥ 紹介患者データ統計処理・分析
- ⑦ びわ湖あさがおネットの公開処理
- ⑧ 医療機関・福祉施設・行政への訪問

2. 近隣医師会との連携業務

愛知・犬上医師連絡会

3. 広報紙活動

- ① 広報紙の発行・配布
- ② 外来診療担当表・及び病院からのお知らせ等配布
- ③ 医療情報収集・発信

4. 地域との連携業務

- ① 地域向け行事の開催
- ② 地域行事への参加

5. その他調整業務

② スタッフ

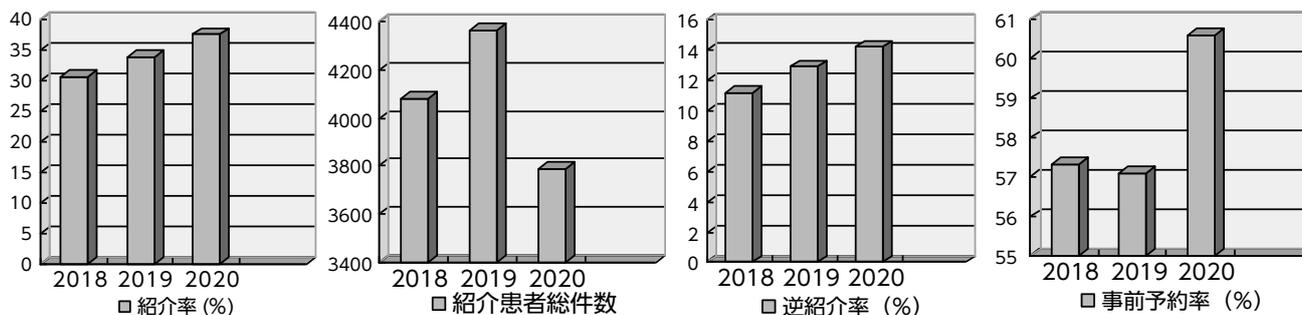
担当 院長特別補佐・副院長・診療部長 曾我 弘樹

室長 上野 志保 係長 多林 晴美 室員 西山 瑠夏

③ 活動状況

1. 紹介患者

	2018(H30)年度	2019(R元)年度	2020(R2)年度
紹介患者総件数	4,049	4,366	3,791
紹介率	30.5%	33.8%	37.5%
逆紹介率	11.2%	12.9%	14.2%
事前予約率 (地域の医療機関からの予約)	57.3%	57.1%	60.6%



2. 研修会

□愛知犬上医師連絡会

年間予定 2020年6月12日(金)、9月11日(金)、2021年1月21日(木)
 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、すべて中止

3. 広報紙発行

豊郷病院広報紙「医心伝心」の発行

◆定期号4回発行 4月・7月・10月・1月

◆号外版4回発行 12月(豊郷小学校激励来院)、1月(栄養科、眼科)、3月(眼科)

4. 地域との連携業務

連携内容の詳細は50頁の4公開セミナー・出前講座・健康フェスティバルに別記掲載

④ 研修活動

1 院内研修会・勉強会

2020 (R2) 年

8月28日	ほめたつ研修会	1名
10月20日	感染研修会(DVD)	3名
11月25日	医療ガス安全オンライン研修会	3名
11月25日	医療放射線安全管理オンライン研修会	3名
12月3日	医療安全オンライン研修会	3名
12月21日	事務部勉強会「Excelで出来る簡単な時短術」	3名
1月25日	事務部勉強会「DPCデータの活用について」	3名
1月27日	びわこあさがおネット研修会	3名
2月22日	事務部勉強会「びわこあさがおネット」	3名
3月11日	抗菌薬適正使用研修会	1名
3月16日	事務部勉強会「オンライン資格確認の概要」	3名
3月22日	事務部勉強会「確定申告、医療費控除の方法」	3名

2 室内研修会

2021 (R3) 年 2月4日 室内人権研修会

⑤ 各紹介元データ

紹介元医療機関

医療機関名	医療機関名	医療機関名	医療機関名
AGA スキンクリニック	学研都市病院 (京都)	下坂クリニック	中西医院 (彦根)
JCHO 滋賀病院	金岡医院	城東眼科	中橋整形外科クリニック
KKC ウェルネス滋賀診療所	かみやキッズクリニック	白石外科・胃腸内科	長浜赤十字病院
npo 法人睡眠健康研究所	川端医院 (八幡)	しらいし耳鼻咽喉科	名古屋医療センター
愛仁会リハビリテーション病院	神崎中央病院	市立長浜病院	菜の花診療クリニック
青葉メディカル	上林医院	神野レディースクリニックアリス	成美記念クリニック
厚木佐藤病院 (神奈川)	北村医院 (愛荘町)	新百合ヶ丘石田クリニック	成宮クリニック
アップルクリニック	きたむら内科	菅原メンタルクリニック	西尾市民病院
アロフェンテ彦根	木村病院 (福井)	杉本整形外科	西川医院
いがわ耳鼻咽喉科	京セラ健康管理室	すずのきクリニック (埼玉)	西陣病院 (京都)
いけだ耳鼻咽喉科	京都工場保健会診療所	住友生命総合健診システム	日本電産(株)滋賀技術開発
石川医院	京都市立病院	すみよしくりニック	布引内科クリニック
石川耳鼻咽喉科	京都双岡病院	瀬田川病院	ハイメディック京大病院
石塚医院	京都大学医学部附属病院	セフィロト病院	橋添眼科
泉岡医院	京都博愛会病院	曾我医院	橋本医院
井関診療所 (眼科)	京都府立医科大学附属病院	蘇生会総合病院 (京都)	はたスポーツ整形クリニック
市川メディカルクリニック	近畿健康管理センター	そのだ耳鼻咽喉科	はちまんコスモクリニック
ヴォーリズ記念病院	近畿大学付属病院	高崎医院	パナソニック(株)アンプライズ八日市健康管理室
ヴォーリズ老健	草津総合病院	たかはし整形外科	はなぞのクリニック
えがわ整形外科	公立甲賀病院	高畑医院	馬場医院
エスペラル近江八幡	国立印刷局彦根工場診療所	高原アイクリニック	バプテスト眼科クリニック
近江温泉病院	ここの郷	高山内科循環器科	浜大津まつだ医院
近江学園医局	御所南リハビリテーションクリニック	田川市立病院	東近江敬愛病院
近江診療所	小菅医院多賀診療所	たきはた眼科	東近江市あいう診療所
近江鉄道健康管理室	こすぎクリニック	田口診療所	東近江市永源寺診療所
近江八幡休日急患診療所	湖東記念病院	竹中医院 (城医院)	東近江市湖東診療所
近江八幡市立総合医療センター	湖南クリニック	たけは内科医院	東近江総合医療センター
おうみりウマチ膠原病・内科クリニック	湖南病院	たちメンタルクリニック	彦根休日診療所
大阪医療刑務所	小林医院	辰巳医院	彦根市立病院
太田医院	こまクリニック	田中クリニック	彦根中央病院
大津京なかた眼科	小森医院	たなか小児科	彦根中央リハビリテーション
大辻医院 川相診療所	さいクリニック	塚田医院	日野記念病院
大津市民病院	済生会滋賀県病院	つじ泌尿器科クリニック	ヒフ科クリニック山本
大津赤十字病院	済生会横浜南部病院	つたむね眼科	ひまわり診療所
おおはし内科循環器科クリニック	斎田医院 (横浜)	つちだ内科医院	兵庫医科大学病院
大林内科循環器科	坂田整形外科	堤医院	ひらたクリニック
岡田医院	坂本金型製作所	つつみクリニック	広島外科整形外科医院
おかもと眼科	滋賀医科大学医学部附属病院	堤整形外科	ひろた皮膚科医院
おがわ耳鼻咽喉科クリニック	滋賀県厚生農協同組合連合会	ティラド製作所	びわこ学園医療福祉センター草津
沖野診療所山田内科	滋賀県立小児保健医療センター	出目医院	びわこ学園長浜診療所
小串医院	滋賀県立精神医療センター	寺井産婦人科	藤野こどもクリニック
おくの内科	滋賀県立成人病センター	東京品川病院	藤本クリニック
尾崎眼科	滋賀里病院	徳田医院	ふせクリニック
おさだファミリークリニック	滋賀八幡病院	富山病院	ブリヂストン彦根工場健康管理センター
おした整形外科医院	滋賀保健研究センター	豊郷町役場保健福祉課	古河 AS (株)衛生管理室
小田原医院	紫香楽病院	長井泌尿器科	古道医院
小田原市立病院 (神奈川)	重森医院	中川クリニック	星ヶ丘医療センター (大阪)
小野医院 (岐阜)	柴田医院	中沢医院	ほりて医院 (野洲)
かがい医院	しみずクリニック	なかつか内科医院	真木アスリート整骨院
香川労災病院	しもいけメディカルクリニック	中西医院 (甲賀)	梶田医院

医療機関名	医療機関名	医療機関名	医療機関名
松浦眼科（愛知）	宮下内科	やまぐち内科クリニック	よしずみ内科クリニック
松尾医院	村田製作所健康管理室	山崎外科	洛和会音羽病院（京都）
松木診療所	明愛眼科	山下医院	リハビリセンターあゆみ
松坂中央総合病院（三重）	目加田眼科	やましたクリニック	竜王国民健康保険診療所
松本医院	メニックス株式会社	ヤンマー(株)びわ工場	レイメイクリニック
松本医院（眼科）	メンタルクリニックおかだ	ゆうクリニック	労働保険協会
三河眼科	守山市民病院	友仁山崎病院	若松医院
水谷整形外科医院	安澤内科診療所	ユニバーサル製缶	わだ医院
水原医院	野洲病院	世一クリニック	榎平和堂健康管理室
水口病院	柳澤クリニック（兵庫）	横野医院	東近江市能登川病院
南眼科医院	矢部医院	横浜済会病院	
南彦根クリニック	山口クリニック（西宮）	横山・渡辺クリニック	
宮尾医院	山口歯科医院	吉川整形外科クリニック	

※患者数については別記

歯科紹介元医療機関

医療機関名	医療機関名	医療機関名	医療機関名
あかい矯正歯科（大藪）	北村歯科医院	中川クリニック	ふれあい歯科医院
あかい歯科（戸賀）	木村歯科	中島歯科医院	堀口歯科医院
旭ヶ丘歯科クリニック	クラウド歯科	なかつか内科医院	丸山歯科医院
安土デンタルクリニック	歯科白石医院	中山歯科医院	三希子歯科医院
いけだ歯科高宮	しがや歯科	成美記念クリニック	宮川歯科医院
井田歯科東診療所	島野修歯科医院	成宮クリニック	宮澤歯科医院
いだはいしゃ	白石歯科	にとべ歯科クリニック	むとう歯科医院
井本歯科医院	せんだ歯科クリニック（安土）	のとがわ中央歯科	むらお矯正歯科
今村歯科医院	曾我医院	野村歯科医院	村上歯科クリニック
小川歯科医院	曾我歯科医院	はしもと歯科医院	矢野歯科医院
おがわ耳鼻咽喉科	田井中歯科医院	秦荘歯科診療所	矢部医院
加藤歯科医院（横溝）	太陽歯科医院	ヒコネ矯正歯科	やまだファミリー歯科
かわせ大村歯科医院	たかとり歯科医院	彦根市立病院	吉川整形外科クリニック
川南歯科医院	たきい歯科医院	藤居歯科医院	若松歯科医院
きたがわ矯正歯科	塚本歯科医院	文村歯科医院	

※患者数については別記

検査依頼

医療機関名	医療機関名	医療機関名	医療機関名
おした整形外科医院	せんだ歯科クリニック（安土）	なかつか内科医院	安澤内科診療所
上林医院	高島整形外科	中橋整形外科クリニック	矢部医院
きたむら内科	高山内科循環器科	成美記念クリニック	やまぐち内科クリニック
坂田整形外科	たきい歯科医院	東近江市あいう診療所	山下医院
重森医院	たけは内科医院	東近江市湖東診療所	世一クリニック
しもいけメディカルクリニック	堤整形外科	ヒコネ矯正歯科	吉川整形外科クリニック
白石外科・胃腸内科	徳田医院	広田クリニック	わだ医院
しらいし耳鼻咽喉科	中川クリニック	水谷整形外科医院	

※患者数については別記

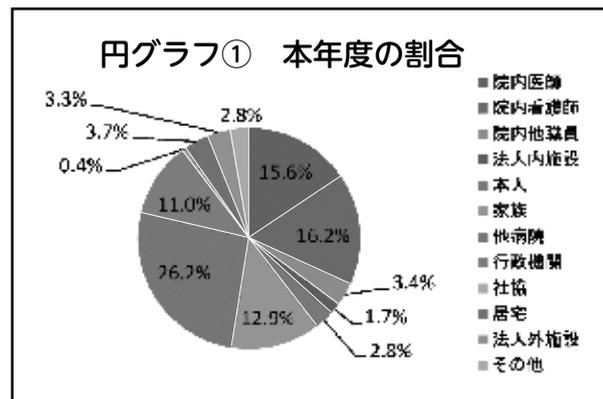
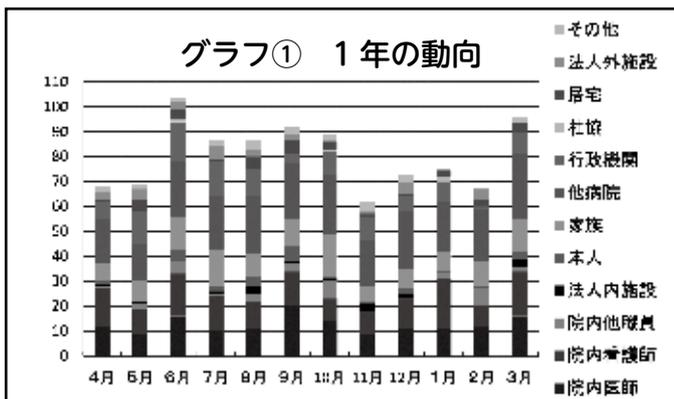
2 医療福祉相談室事業報告

医療福祉相談室

1、新規ケースの紹介経路

表①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度計	2019年度計
院内医師	12	9	16	10	11	20	14	9	11	11	12	16	151	171
院内看護師	15	10	17	14	11	14	9	9	12	20	8	18	157	206
院内他職員	1	2	5	1	3	3	7	0	0	2	7	2	33	48
法人内施設	1	1	0	1	3	1	1	3	2	0	0	3	16	8
本人	1	0	5	2	4	6	1	1	2	1	1	3	27	21
家族	7	8	13	15	9	11	17	6	8	8	10	13	125	94
他病院	18	15	22	21	23	22	24	19	23	20	21	26	254	185
行政機関	7	13	16	14	11	4	9	9	6	8	1	9	107	99
社協	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	4	7
居宅	1	5	4	1	5	6	3	1	1	2	3	4	36	62
法人外施設	3	4	3	5	3	2	1	1	5	1	4	0	32	34
その他	2	2	2	3	4	3	2	4	3	0	0	2	27	22
計	68	69	104	87	87	92	89	62	73	75	67	96	969	958

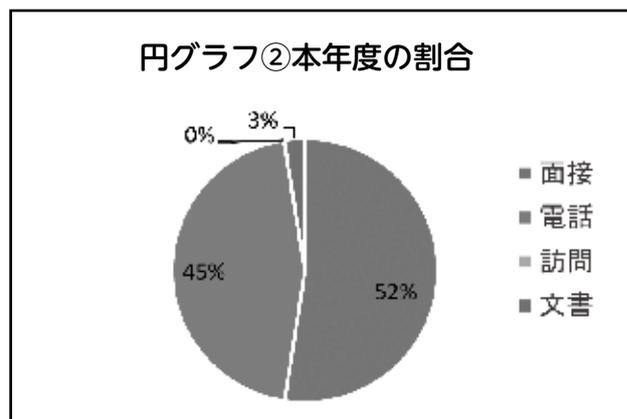
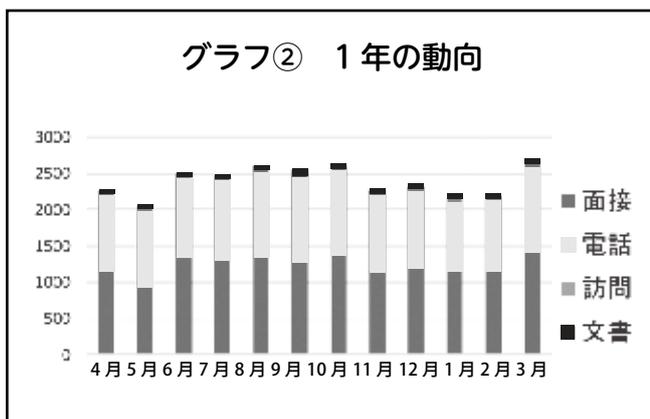


2、援助方法

表②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度計	2019年度計
面接	1,163	1,073	1,321	1,328	1,364	1,297	1,391	1,147	1,205	1,162	1,172	1,425	15,048	13,948
電話	1,044	916	1,115	1,091	1,167	1,160	1,167	1,066	1,070	961	973	1,177	12,907	11,648
訪問	0	0	4	2	0	2	1	2	0	2	0	1	14	66
文書	51	64	57	50	63	85	52	62	47	52	53	82	718	660

(件)

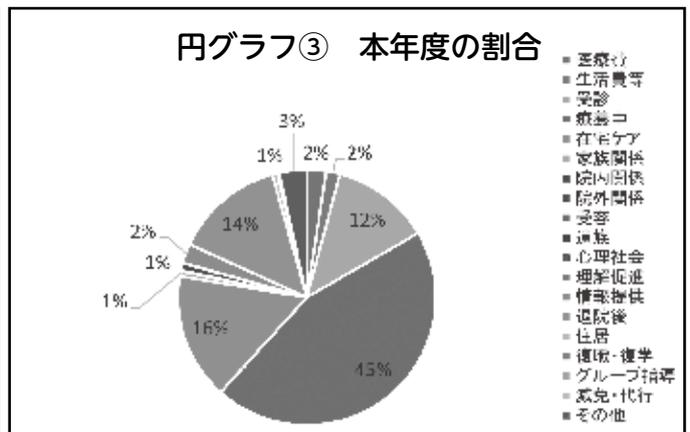
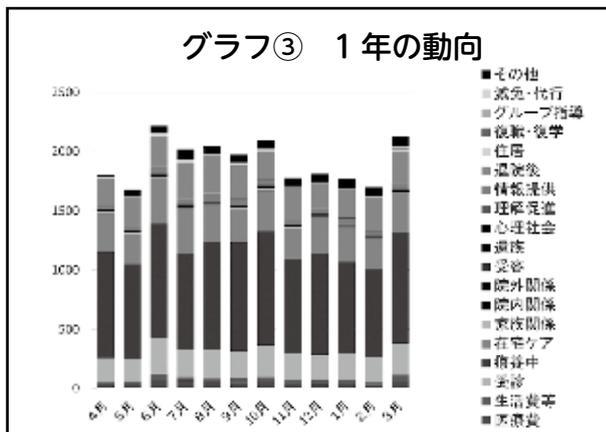


3、援助内容

表③

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度計	2019年度計
医療費	26	37	68	64	53	42	63	41	34	36	28	62	554	491
生活費等	25	23	53	31	27	42	33	29	32	34	23	49	401	460
受診	202	188	309	240	252	237	273	229	223	231	209	276	2,869	2,498
療養中	902	805	965	813	906	915	959	801	859	769	746	938	10,378	9,319
在宅ケア	322	251	381	372	317	277	342	253	299	292	261	316	3,683	3,720
家族関係	16	11	12	10	12	16	17	14	10	13	9	11	151	195
院内関係	0	1	2	4	1	0	1	1	1	1	4	5	21	29
院外関係	23	15	23	19	10	21	24	14	14	9	14	23	209	286
受容	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	3
遺族	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
心理社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6
理解促進	1	0	3	0	1	1	0	3	0	0	0	1	10	11
情報提供	27	44	54	46	71	50	47	44	43	55	30	53	564	418
退院後	234	243	260	309	321	283	241	276	219	235	293	272	3,186	3,320
住居	8	7	19	23	5	23	23	3	9	6	7	12	145	119
復職・復学	1	0	0	1	0	1	1	0	0	2	3	6	15	31
グループ指導	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
減免・代行	1	3	5	4	2	3	2	2	2	1	1	18	44	44
その他	20	47	64	85	67	63	74	68	70	81	73	81	793	490

(件)

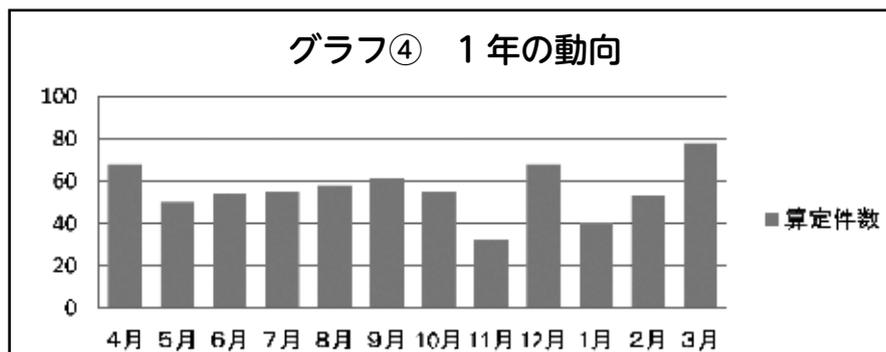


4、退院支援計画書算定

表④

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度計	2019年度計
算定件数	68	50	54	55	58	61	55	32	68	40	53	78	672	658

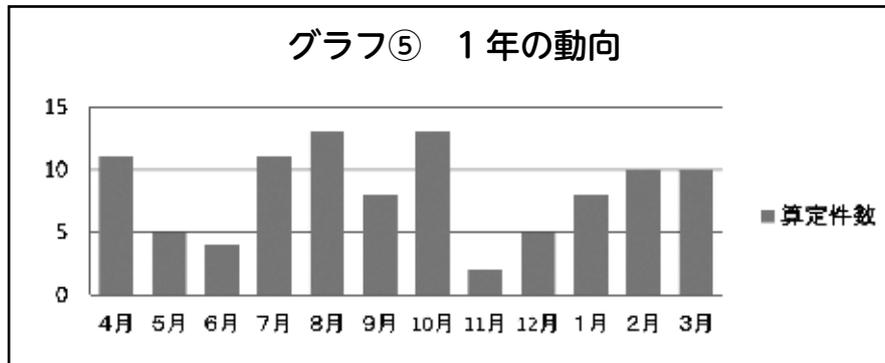
(件)



5、介護支援連携指導料算定

表⑤

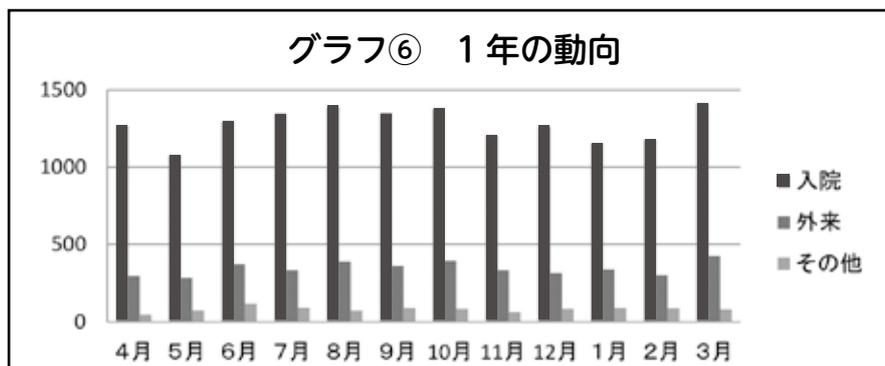
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度計	2019年度計
算定件数	11	5	4	11	13	8	13	2	5	8	10	10	100	113



6、入院 / 外来区分

表⑥

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2020年度計	2019年度計
入院	1,267	1,075	1,296	1,345	1,389	1,349	1,377	1,203	1,262	1,153	1,175	1,413	15,304	14,747
外来	297	283	373	333	389	360	394	332	314	337	303	426	4,141	3,630
その他	46	73	116	90	72	87	83	61	82	88	86	80	964	648



7、定期会議・委員会・地域活動等

院内	1-3地域包括ケア病棟運用会議、科課長師長会、外事務部会来救急運営会議、看護学院授業、関連施設委員会、事務部課長会、事務部管理会議、新型コロナウイルス感染症終息病院管理会議、祈願及び邪気払い、新型コロナウイルス感染症対策会議	1名
	患者支援カンファレンス	2名
	地域包括ケア病棟運用会議	3名
	ボランティア運営委員会、課長補佐会議	1名
	1-3病棟初期カンファレンス	2名
	精神科新規入院カンファレンス	3名
	3-5病棟カンファ	2名
	3-4病棟退院調整カンファレンス	2名
	3-2病棟退院調整カンファレンス	3名
	相談室会議	6名
	3-3病棟退院調整カンファレンス	2名
	1-3病棟カンファレンス、5-2病棟カンファレンス、クリニカルパス委員会、係長・主任会議	1名
	美化活動	5名
	3-5退院支援委員会	1名

院内	医療観察法多職種チーム会議、地域移行支援会議	2名
	3-6病棟カンファレンス、行動制限最小化委員会、接遇・サービス向上委員会	1名
	エコ委員会	1名
院外	障害支援区分認定審査会	1名
	2020年度豊郷町多職種協働会議参加、彦根市立病院患者カンファレンス、湖東地域ネットワーク会議、入退院支援ルール評価検討事業コア会議	1名
	ひこっとパス研究会、湖東地域脳卒中地域連携検討会ワーキング部会、湖東地域脳卒中地域連携検討会、東近江市脳卒中地域連携連絡会議	1名

8、各種研修会等

6月	ことう地域チームケア研修会	1名
7月	認知症疾患医療センター相談員交流会	1名
8月	ほめたつ研修会	1名
10月	院内感染研修	4名
11月	滋賀県MSW協会スキルアップ研修	2名
1月	院内研修:個人人権学習	2名
2月	令和2年度 滋賀のみんなでつくる地域精神保健医療福祉チーム事業研修会	1名
	人権学習(DVD)	6名
3月	新型コロナウイルス接種説明動画視聴	2名
	抗菌薬適正使用研修	1名

〈事 務 部 門〉

〈診療情報管理室部門〉

〈各種統計資料〉

事務部理念

豊郷病院事務部は病院の基本理念に基づき、医療の質とサービスの向上につとめ、合理的で安定した運営管理を行い、地域医療に貢献する

基本目標

1. 地域に必要な医療設備と患者さま本位の快適な環境の整備に努める。
2. 人権を尊重し、思いやりの心で明るく優しい対応に努める。
3. 優秀な人材確保と育成に努める。
4. 法令遵守と安全・安心・信頼を築く。
5. ムダをなくし、経費削減に努め、健全経営を行う。
6. 地域に開かれた運営と連携に努める。

1 事務部・診療情報管理室事業報告

管理課

① 概要

職員の労務管理。

具体的には労働時間管理、給与・福利厚生、ライフイベントに沿って生じる諸手続きの管理、任免・賞罰、労使関係、教育研修、職員採用、人権関係などを行う。

② スタッフ

課長 宇野玲子、課長補佐 熊木英夫、主任 北川未奈実、課員 1 名

③ 活動実績

看護職のための豊郷病院見学・相談会（コロナにより年度途中から個別対応に変更）

5/30、6/20、7/18、8/20、9/26、11/28（コロナにより中止） 計 6 回開催

6 組参加（1 名就職、2 名奨学生決定）

〈一般活動〉

- ・「働き方改革」の実現に向けた取り組み
 - ① 労働時間法制（有給休暇取得・労働時間の管理等）
 - ② 同一企業内における正規・非正規の間の不合理な待遇差の解消
- ・外国人材確保に向けた取り組み
- ・人権教育の推進
- ・各種法改正への対応

④ 研修活動

〈課内研修会等〉

TQM 活動

人権研修

接遇研修

企画財務課

① 概要

2018 年 12 月より経営企画部門を新たに設置、総務課経理係と統合し、『企画財務課』として発足。
なお、事務所は管理課と同室。

② スタッフ

課長 山本 保 課長補佐 山本洋道 課員 2 名

③ 活動実績

- ・収益 UP に向けた企画立案
- ・コンサルトタント会社と法人各担当者と折衝
- ・各部署の目標や課題、その取り組み内容の把握と、実績評価
- ・現・預金の出納管理
- ・各税金・保険料等の納税納付
- ・法定調書の作成
- ・財務諸表の作成・分析
- ・固定資産台帳作成・管理
- ・公益法人手続き関連
- ・各金融機関・行政・税務署などと交渉、調整

2020.06.05 会計監査

決算役員会、中間役員会、予算役員会、みなし決済

④ 研修活動

TQM 活動

2020.06.15 課内人権研修

2020.10.28 事務部勉強会 テーマ：入院収入最大化検討セミナー

2021.03.18 事務部勉強会 テーマ：アンガーマネジメント研修

2021.03.22 事務部勉強会 テーマ：確定申告、医療費控除の方法について

診療情報管理室

① 概要

患者と職員が診療情報を共有し、相互の信頼関係を深め、質の高い医療を提供するための診療情報の管理と情報の提供を行う。また、診療情報の統一を行い、その情報が広域的に活用されることにより、患者および病院や地域の医療・保健・福祉に貢献する。院内のシステム機器の管理や修理・調整をおこない、診療を円滑にする環境を提供する。

② スタッフ

担当課長 山本 保、係長 清水宏美、主任 大矢進 室員 2 名

③ 活動実績

個人情報資料の破棄

電子カルテサーバー定期再起動（年 3 回）

④ 研修活動

EF ファイルを用いた研修会を実施

医療支援室

① 概要

今年度より医療支援室として独立し、業務拡大を行った。

② スタッフ

課長 山本 保、主任 平木真理奈、課員 寺口実加子 ニチイ学館 3名

③ 活動実績

- ・待ち時間削減を目的とした外来医師補助業務
- ・年間 3,000 件以上の診断書作成補助
- ・書類全般の問い合わせ窓口
- ・カルテ代行入力や診断書補助による医師の事務作業軽減

④ 研修活動

- ・コロナ禍にて例年通りの研修会等に行えなくなった。
- ・医療クラーク内勉強会（1回/月）

医事課

① 概要

診療報酬明細書（レセプト）作成業務、各種請求業務、外来受付業務、入退院業務、患者サービスに係る業務、健康診断（人間ドック）、各種データ作成・分析、未収金管理など。

② スタッフ

課長 岡村昌彦、係長 上林真紀・森田克哉、主任 関口康江、課員 10名 外部委託 23名

③ 活動実績

毎月の保険請求業務
毎月の診療内容の分析及び報告
未収金対策

④ 研修活動

〈医事課内活動〉

医事課内 人権学習（1回/年）

医事課内 個人情報研修（1回/年）

医事課内 接遇研修（1回/年）

TQM 活動

〈医事課内委員会〉

保険診療減点等検討会（毎月1回 10日頃）

レセプト博士委員会（不定期）

サービス向上委員会（毎月1回 月末）

保険証確認強化日（毎月2回）

業務改善委員会（毎月1回 20日頃）

未収金強化日（毎月1回）

〈院外活動〉

豊郷町人権問題学習講座への参加（数回に分かれての参加）

総務課

① 概要

総務、資材、営繕、リネン、宿舎、電気、保育、学童、警備、清掃を担当。

- ・公益財団法人豊郷病院の開設事項、役員会の業務、施設の改変事務、設備管理、社宅管理、施設基準、諸補助金並びに各種申請報告に関すること。
- ・諸契約事項及び通達、文書物件の収発管理に関すること。
- ・病院内諸会議事項及び病院内連絡調整に関すること。
- ・当直業務、保安、警備、防災、救急情報センター業務、電話交換業務、自動車運行管理に関すること。
- ・リネン、清掃、給食業務の各委託業務管理に関すること。
- ・病院のボイラー、給水湯、冷暖房、自家発電装置、電気、ガス、上下水道、廃水、コ・ジェネレーション等設備管理に関すること。
- ・医療機器、事務機器、医療材料消耗品、事務消耗品、被服、伝票類、発注購買、検収、保管、管理及び入出庫業務に関すること。

② スタッフ

岩佐 武、山本真弓、吉田章人、木村貴子、堀 智帆、渡邊由美子、土田利絵、丸橋作彦、金子三喜夫、北川悟司、松田和男

③ 活動実績

TQM 活動

決算役員会（みなし決議）2020年6月15日、24日

上期決算役員会（みなし決議）2020年11月26日

予算役員会（みなし決議）2021年3月24日

④ 研修活動

人権研修

接遇研修

診療情報管理室

2 各種統計資料

各科月別新患者統計（保険別）

（自2020.4.1～至2021.3.31）

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器科	国保	8	6	7	7	9	10	4	4	3	10	9	9	86
	健保	17	10	19	27	23	18	18	18	6	15	21	16	208
	後期高齢	6	12	16	11	5	12	8	5	11	14	9	14	123
	生保		1	2	3		2	2	1			1	1	13
	労災													0
	自費	4	1		1	3	2			1	3	1	3	19
	その他													0
	合計	35	30	44	49	40	44	32	28	21	42	41	43	449
消化器科	国保	10	15	28	31	11	24	23	22	16	22	10	21	233
	健保	28	22	33	43	40	40	55	33	27	47	39	46	453
	後期高齢	12	7	7	17	23	12	19	20	10	15	15	12	169
	生保	2		2	2	1	1		2	1		1	2	14
	労災			1	1									2
	自費	4	3	1	1			8	2	2	1	2	5	29
	その他			1										1
	合計	56	47	73	95	75	77	105	79	56	85	67	86	901
内科(糖尿・透析)	国保	8	2	5	6	7	4	4	2	4	1	4	3	50
	健保	7	9	15	10	14	10	10	5	9	3	8	8	108
	後期高齢	7	6	3	5	5	1	2	1	2	5	4	2	43
	生保		2		1	1			1			1		6
	労災													0
	自費	3	2	2			2	2	1	1	2	2	6	23
	その他													0
	合計	25	21	25	22	27	17	18	10	16	11	19	19	230
呼吸器内科	国保	27	9	15	20	23	18	16	19	10	26	24	24	231
	健保	65	28	35	44	71	31	49	83	43	68	46	85	648
	後期高齢	12	19	13	25	23	17	23	14	16	8	18	21	209
	生保			2		1	1	1	2		1	3	4	15
	労災				1									1
	自費	14	1	2	5	1	2	4	20	3	6	3	10	71
	その他													0
	合計	118	57	67	95	119	69	93	138	72	109	94	144	1,175
呼吸器外科	国保													0
	健保													0
	後期高齢													0
	生保													0
	労災													0
	自費													0
	その他													0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	国保	6	8	13	12	11	8	16	14	8	9	12	18	135
	健保	24	12	29	19	17	16	33	13	16	22	21	25	247
	後期高齢	18	13	15	12	11	14	19	8	8	9	20	21	168
	生保		2	1	1	1		2	1				3	11
	労災												1	1
	自費	3				1					2			6
	その他													0
	合計	51	35	58	44	41	38	70	36	32	42	53	68	568

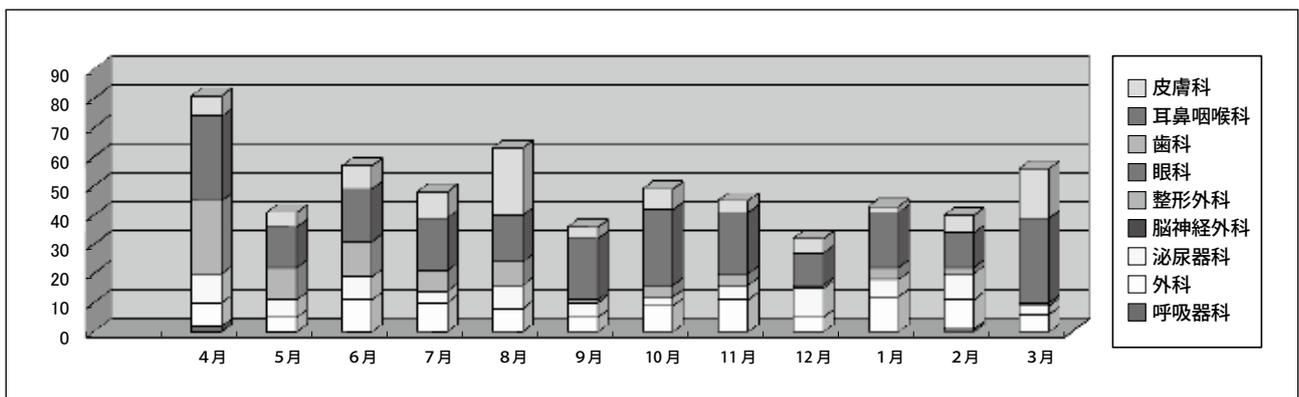
科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析	国保			1											1
	健保							1							1
	後期高齢														0
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
	合計		0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
外科	国保	11	7	17	17	21	21	10	18	4	10	6	16	158	
	健保	22	17	29	45	39	37	33	26	24	17	17	25	331	
	後期高齢	19	17	15	14	13	13	21	8	7	11	19	8	165	
	生保	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2			12	
	労災		1	2										3	
	自費	10	12	15	10	6	11	13	11	6	5	4	17	120	
	その他			2	3	1	2	1			1			10	
	合計	63	56	81	90	81	85	79	64	42	46	46	66	799	
脳神経外科	国保	3	5	8	12	7	8	7	5	4	5	8	12	84	
	健保	5	12	16	22	14	15	15	10	2	12	7	11	141	
	後期高齢	10	8	8	9	9	6	14	8	5	8	7	10	102	
	生保				1		1	3	1		1		2	9	
	労災			1						1				2	
	自費			2	1	2			1	3				9	
	その他		1	1	1						2	1	1	7	
	合計	18	26	36	46	32	30	39	25	15	28	23	36	354	
脳神経内科	国保	1		1		3	4		1		1		2	13	
	健保	2	1	3	3	4	1	4	2	2				22	
	後期高齢	1		2	7	1	1		1	2	1			16	
	生保	1												1	
	労災													0	
	自費													0	
	その他													0	
	合計	5	1	6	10	8	6	4	4	4	2	0	2	52	
整形外科	国保	36	46	69	51	49	55	52	34	31	33	32	37	525	
	健保	65	76	119	91	115	93	88	72	36	59	60	92	966	
	後期高齢	32	40	41	54	49	43	48	20	22	29	40	38	456	
	生保	3	4	3	1	3	2	5		1	3	1	3	29	
	労災	1		1	1	1			2	1				7	
	自費	17	6	12	11	24	12	1	9	6	3	5	12	118	
	その他	7	5	4	4	9	5	5	2	3	7	9	14	74	
	合計	161	177	249	213	250	210	199	139	100	134	147	196	2,175	
眼科	国保	11	13	26	21	21	27	24	14	11	26	23	23	240	
	健保	17	29	29	30	30	21	28	25	14	13	19	28	283	
	後期高齢	14	22	26	35	27	29	22	16	8	16	16	22	253	
	生保	1	1	3	2	1	2	3	4		1	2	2	22	
	労災					1			1				1	3	
	自費				1		3			1		2	1	8	
	その他													0	
	合計	43	65	84	89	80	82	77	60	34	56	62	77	809	

科別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
耳鼻咽喉科	国保	12	14	16	10	5	10	14	14	2	3	11	23	134
	健保	18	34	22	26	20	32	31	17	22	22	32	38	314
	後期高齢	7	12	21	15	8	16	14	8	12	7	10	8	138
	生保	1		1	3	2	3	1	4	2	2	5	4	28
	労災													0
	自費						2			1				3
	その他											1		1
	合計	38	60	60	54	35	63	60	43	39	34	59	73	618
皮膚科	国保	10	15	14	13	13	14	20	7	6	8	13	7	140
	健保	12	26	27	25	31	7	18	12	7	12	16	28	221
	後期高齢	15	11	18	16	16	14	17	12	6	11	18	13	167
	生保		2	4		4	3	2	1	3	1	3	2	25
	労災				1									1
	自費					1	1		1					3
	その他													0
	合計	37	54	63	55	65	39	57	33	22	32	50	50	557
歯科・歯科口腔外科	国保	27	23	33	41	28	31	39	23	17	39	32	41	374
	健保	52	47	78	48	58	53	59	53	34	57	61	65	665
	後期高齢	40	27	47	47	33	56	63	46	33	51	45	58	546
	生保	4	8	7	5	7	6	4	4	1	3	6	3	58
	労災													0
	自費					1				1		1	2	5
	その他		1									1		2
	合計	123	106	165	141	127	146	165	126	86	150	146	169	1,650
婦人科	国保	1	1	3	1	4	2	5	3	1	2	1	5	29
	健保	4	1	4	3	2	5	5	4	2	2	3	3	38
	後期高齢	1	3	1	3	4	3	2	4	1		2	4	28
	生保	1							1					2
	労災													0
	自費													0
	その他													0
	合計	7	5	8	7	10	10	12	12	4	4	6	12	97
小児科	国保	4	4	11	13	9	18	9	10	3	10	2	4	97
	健保	26	22	44	36	47	65	37	34	32	35	31	46	455
	後期高齢													0
	生保	1	1	2	1	1	1	1	2		2	1	1	14
	労災													0
	自費	1			2				1					4
	その他													0
	合計	32	27	57	52	57	84	47	47	35	47	34	51	570
精神科	国保	16	14	16	13	17	11	19	17	11	15	14	16	179
	健保	21	12	23	22	26	20	22	20	24	26	21	20	257
	後期高齢	24	23	33	25	33	35	31	21	32	21	25	34	337
	生保	2	2	1	2	1	3	5	5	2	4	1	3	31
	労災													0
	自費	2	1	5	3	2	2	3	4	1	1	1	2	27
	その他													0
	合計	65	52	78	65	79	71	80	67	70	67	62	75	831

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心療内科	国保														0
	健保														0
	後期高齢														0
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	国保		191	182	283	268	238	265	262	207	131	220	201	261	2,709
	健保		385	358	525	494	551	465	505	427	300	410	402	536	5,358
	後期高齢		218	220	266	295	260	272	303	192	175	206	248	265	2,920
	生保		17	25	29	23	24	26	30	30	11	20	25	30	290
	労災		1	1	5	4	2			3	2			2	20
	自費		58	26	39	35	41	37	31	50	26	23	21	58	445
	その他		7	7	8	8	10	7	6	2	3	10	12	15	95
	合計		877	819	1,155	1,127	1,126	1,072	1,137	911	648	889	909	1,167	11,837

手術の件数

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(消化器内科)															0
呼吸器科			2										1		3
外科			8	5	11	10	8	5	9	11	5	12	10	6	100
泌尿器科			10	6	8	4	8	5	3	5	10	6	9	3	77
脳神経外科															0
整形外科			25	11	12	7	8	1	4	4	1	4	2	1	80
眼科			29	14	18	18	16	21	26	21	11	19	12	29	234
歯科			7	5	8	9	23	4	7	4	5	2	6	17	97
耳鼻咽喉科															0
精神科			5	6	4		1	8	1						25
皮膚科															0
合計			86	47	61	48	64	44	50	45	32	43	40	56	616



各科診療取扱患者数《外来・通所》

(自 2020.4.1 ～至 2021.3.31)

(医 療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		778	693	792	792	769	756	853	708	797	686	695	779	9,098
消化器内科		458	378	489	537	507	509	558	466	462	473	431	550	5,818
内科一般		451	404	474	452	476	450	459	427	441	387	404	454	5,279
呼吸器内科		909	691	794	858	805	813	866	942	851	783	799	982	10,093
呼吸器外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科		309	281	336	403	336	353	338	310	257	238	230	274	3,665
泌尿器科		636	539	588	608	580	585	673	549	591	551	556	647	7,103
透析		608	630	633	657	678	679	688	579	615	548	564	633	7,512
皮膚科		211	241	283	262	288	201	261	203	182	173	199	280	2,784
脳神経外科		114	106	133	165	130	135	158	111	112	118	105	132	1,519
脳神経内科		57	43	69	67	63	74	83	83	87	55	77	63	821
整形外科		1,340	1,277	1,440	1,285	1,415	1,273	1,143	890	763	825	781	922	13,354
婦人科		50	35	57	46	55	53	63	52	45	28	33	66	583
耳鼻咽喉科		224	234	248	263	227	292	249	238	204	207	226	328	2,940
眼科		611	572	708	685	647	657	662	599	536	571	560	696	7,504
歯科		551	395	539	491	468	502	513	454	364	446	419	526	5,668
小児科		120	80	141	150	152	172	148	128	134	142	101	177	1,645
心療内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科		1,613	1,452	1,568	1,642	1,604	1,787	1,748	1,625	1,677	1,559	1,499	1,803	19,577
合計		9,040	8,051	9,292	9,363	9,200	9,291	9,463	8,364	8,118	7,790	7,679	9,312	104,963

(介 護)

訪問看護ステーション	1,623	1,510	1,650	1,579	1,514	1,534	1,698	1,539	1,544	1,447	1,398	1,661	18,697
介護老人保健施設	269	229	331	314	259	292	344	288	267	271	293	376	3,533
彦根デイサービス	784	819	811	866	808	800	897	800	748	719	719	804	9,575
甲良デイサービス	471	466	460	436	411	407	440	413	400	375	377	438	5,094

各科診療取扱患者数《入院・入所》

(自 2020.4.1 ～至 2021.3.31)

(医 療)

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器内科		604	427	424	383	493	494	511	606	503	586	555	542	6,128
消化器内科		499	331	305	376	669	704	474	441	417	472	542	588	5,818
内科一般		100	69	76	131	138	168	106	100	82	194	114	97	1,375
心療内科		118	93	136	208	181	241	235	176	202	280	313	229	2,412
呼吸器内科		750	657	585	709	754	731	563	523	475	415	521	721	7,404
呼吸器外科		282	212	302	308	327	244	204	203	246	267	226	342	3,163
外科		538	574	383	561	683	626	690	712	759	703	799	704	7,732
泌尿器科		160	209	258	219	264	275	402	312	249	156	261	323	3,088
脳神経外科														0
整形外科		550	403	376	393	279	53	84	75	7	0	0	0	2,220
眼科		79	40	61	47	42	56	76	61	28	56	28	77	651
歯科		25	9	10	36	38	4	17	8	12	2	10	23	194
小児科														0
精神科		3,089	2,997	3,107	3,344	3,310	3,106	3,137	3,028	3,097	3,082	2,632	2,875	36,804
1-3病棟		435	413	588	670	775	658	503	664	753	710	653	723	7,545
回復期リハ		838	889	836	909	831	852	871	877	863	903	794	852	10,315
合計		8,067	7,323	7,447	8,294	8,784	8,212	7,873	7,786	7,693	7,826	7,448	8,096	94,849

(介 護)

介護老人保健施設	2,618	2,602	2,535	2,662	2,710	2,642	2,508	2,490	2,800	2,818	2,560	2,770	31,715
彦根グループホーム	256	279	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3,271
甲良グループホーム	246	279	262	258	217	214	248	270	279	279	252	279	3,083

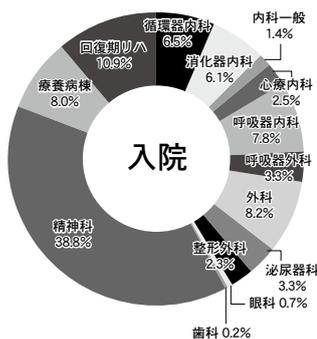
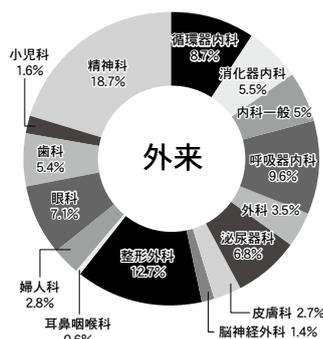
外来地域別診療患者数 (自2020.4.1～至2021.3.31)

郡 市	犬 上 郡			愛知郡	三 市			その他	合 計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡市		
内 科	1,062	761	229	1,112	1,103	447	26	85	4,825
消化器内科	1,024	578	233	1,273	988	438	24	83	4,641
循環器内科	2,480	1,096	392	2,084	1,664	512	58	141	8,427
外 科	491	312	130	591	556	141	8	49	2,278
脳神経外科	264	119	45	283	410	112	5	73	1,311
整形外科	1,803	1,340	550	1,789	2,278	627	62	181	8,630
婦 人 科	121	48	17	143	96	28	6	17	476
耳鼻咽喉科	680	372	107	560	548	155	11	51	2,484
眼 科	1,539	1,031	405	1,618	1,346	434	39	75	6,487
精 神 科	1,087	627	440	1,267	5,487	2,620	441	733	12,702
脳神経内科	81	55	24	177	247	77	6	7	674
歯 科	855	338	94	615	1,052	347	34	98	3,433
呼吸器科	1,269	708	453	1,654	3,271	894	132	201	8,582
泌尿器科	1,094	814	446	1,486	1,417	606	34	98	5,995
皮 膚 科	705	358	129	458	493	133	13	53	2,342
小 児 科	473	92	44	581	109	12	0	25	1,336
透 析	182	98	16	118	140	26	0	0	580
オアシス	171	253	167	278	848	221	12	34	1,984
合 計	15,381	9,000	3,921	16,087	22,053	7,830	911	2,004	77,187

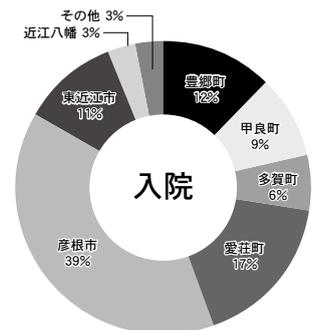
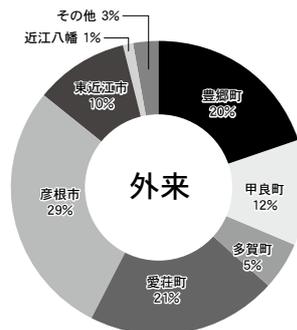
入院地域別診療患者数 (自2020.4.1～至2021.3.31)

郡 市	犬 上 郡			愛知郡	三 市			その他	合 計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡市		
内 科	17	10	9	23	30	0	0	0	89
消化器内科	103	35	15	75	137	24	2	4	395
循環器内科	75	41	37	48	133	4	0	6	344
外 科	98	65	33	169	195	46	9	12	627
脳神経外科	11	9	14	30	77	12	2	10	165
整形外科	42	63	37	51	207	26	4	17	447
眼 科	39	34	10	49	40	6	1	1	180
精 神 科	48	50	66	116	647	280	103	82	1,392
歯 科	12	7	6	21	44	7	0	1	98
呼吸器科	123	62	44	149	174	62	15	11	640
泌尿器科	43	52	19	72	56	31	0	0	273
心療内科	23	38	22	71	245	53	12	10	474
合 計	634	466	312	874	1,985	551	148	154	5,124

各科別収容比率



地域構成比率



診療科別・月別・患者数(入院実人数)

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検
総数	計	1,946	178	149	155	166	203	183	191	138	153	119	144	167	135	-
	男	995	87	83	84	81	92	101	105	70	75	62	70	85	80	-
	女	951	91	66	71	85	111	82	86	68	78	57	74	82	55	-
内科	計	43	2	3	-	2	7	5	6	3	6	1	4	4	3	-
	男	19	2	1	-	1	2	3	4	1	2	-	2	1	1	-
	女	24	-	2	-	1	5	2	2	2	4	1	2	3	2	-
消化器科	計	186	15	5	14	13	21	23	18	19	13	13	16	16	25	-
	男	111	8	4	10	8	11	15	10	13	9	8	7	8	17	-
	女	75	7	1	4	5	10	8	8	6	4	5	9	8	8	-
循環器科	計	133	12	8	12	9	5	13	13	11	17	8	12	13	32	-
	男	49	1	2	3	2	5	4	10	2	9	2	5	4	14	-
	女	84	11	6	9	7	-	9	3	9	8	6	7	9	18	-
外科	計	327	21	29	24	28	35	27	29	29	24	23	28	30	13	-
	男	174	10	16	13	16	12	18	18	18	12	11	14	16	7	-
	女	153	11	13	11	12	23	9	11	11	12	12	14	14	6	-
脳神経外科	計	48	3	7	4	3	5	4	8	-	5	1	1	7	-	-
	男	26	3	4	2	2	3	1	4	-	2	-	-	5	-	-
	女	22	-	3	2	1	2	3	4	-	3	1	1	2	-	-
整形外科	計	151	23	14	9	17	24	8	9	8	11	6	9	13	1	-
	男	40	6	7	2	5	5	3	3	2	2	2	1	2	-	-
	女	111	17	7	7	12	19	5	6	6	9	4	8	11	1	-
婦人科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科	計	167	20	10	11	15	10	15	22	14	11	12	8	19	-	-
	男	75	9	7	7	6	5	6	10	2	4	6	5	8	-	-
	女	92	11	3	4	9	5	9	12	12	7	6	3	11	-	-
精神神経科	計	171	11	13	8	16	18	17	19	11	12	18	14	14	5	-
	男	61	6	6	4	4	5	5	3	6	5	7	5	5	3	-
	女	110	5	7	4	12	13	12	16	5	7	11	9	9	2	-
歯科 口腔外科	計	75	10	5	9	8	23	5	7	5	3	-	-	-	-	-
	男	36	5	3	5	4	10	4	3	1	1	-	-	-	-	-
	女	39	5	2	4	4	13	1	4	4	2	-	-	-	-	-
呼吸器科	計	195	21	19	19	16	13	23	21	9	13	10	12	19	25	-
	男	123	11	11	10	14	6	18	14	6	6	5	7	15	16	-
	女	72	10	8	9	2	7	5	7	3	7	5	5	4	9	-
泌尿器科	計	182	16	15	20	12	16	15	14	15	19	10	14	16	7	-
	男	148	14	13	14	9	12	13	13	11	17	9	10	13	6	-
	女	34	2	2	6	3	4	2	1	4	2	1	4	3	1	-
呼吸器外科	計	95	9	10	7	10	15	9	9	4	6	5	7	4	20	-
	男	72	8	6	5	7	12	5	7	4	3	5	6	4	14	-
	女	23	1	4	2	3	3	4	2	-	3	-	1	-	6	-
皮膚科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小児科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
心療内科	計	173	15	11	18	17	11	19	16	10	13	12	19	12	4	-
	男	61	4	3	9	3	4	6	6	4	3	7	8	4	2	-
	女	112	11	8	9	14	7	13	10	6	10	5	11	8	2	-
麻酔科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

時間内救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転帰別	入院	36	26	32	39	48	32	37	38	31	44	45	51	459
	その他	66	42	72	69	65	64	60	54	51	43	44	46	676
	計	102	68	104	108	113	96	97	92	82	87	89	97	1,135
来院方法	救急車	18	14	26	21	28	18	18	17	18	14	12	18	222
	その他	84	54	78	87	85	78	79	75	64	73	77	79	913
	計	102	68	104	108	113	96	97	92	82	87	89	97	1,135
種別	交通事故	3	2	6	7	5	3	1	0	3	0	0	0	30
	その他	99	66	98	101	108	93	96	92	79	87	89	97	1,105
	計	102	68	104	108	113	96	97	92	82	87	89	97	1,135
1日平均	4.1	3.0	4.0	4.3	4.5	4.0	3.6	4.0	3.4	3.8	4.0	3.7	3.9	
日数	25	23	26	25	25	24	27	23	24	23	22	26	293	

※平日 8:30～16:50

土曜日 8:30～12:40

時間外救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転帰別	入院	20	13	18	23	27	17	17	15	22	13	13	12	210
	その他	55	105	75	83	93	82	65	59	58	54	48	60	837
	計	75	118	93	106	120	99	82	74	80	67	61	72	1,047
来院方法	救急車	32	20	32	19	32	13	23	19	29	18	19	19	275
	その他	43	98	61	87	88	86	59	55	51	49	42	53	772
	計	75	118	93	106	120	99	82	74	80	67	61	72	1,047
種別	交通事故	2	4	6	8	4	1	3	4	0	1	0	7	40
	その他	73	114	87	98	116	98	79	70	80	66	61	65	1,007
	計	75	118	93	106	120	99	82	74	80	67	61	72	1,047
1日平均	2.5	3.8	3.1	3.4	3.9	3.3	2.6	2.5	2.6	2.2	2.2	2.3	2.9	
日数	30	31	30	31	31	30	31	31	30	31	31	28	31	365
診療科別	内科	24	27	22	18	31	18	21	15	33	19	16	14	258
	心療内科						1		1					2
	呼吸器科	3	8	5	4	8	5	6	2	3	4	8	5	61
	外科	24	27	28	32	31	27	27	16	16	17	15	20	280
	泌尿器科	1	3	3	3	1	3	3	5	2	1	2	2	29
	皮膚科		1											1
	脳神経外科			2						1		1	1	5
	整形外科	13	37	22	38	31	27	13	22	13	18	9	24	267
	婦人科											1		1
	耳鼻咽喉科	1			1	1	4	1				2	1	11
	眼科		3			3								6
	小児科													0
	精神科	9	12	11	9	14	14	10	13	12	8	7	5	124
	オアシス				1			1						2
	歯科・歯科口腔外科													0
	透析													0
計	75	118	93	106	120	99	82	74	80	67	61	72	1,047	

※日曜・祭日 8:30～ 翌8:30

土曜日 12:40～ 翌8:30

(統計:総務課)

病歴統計

疾病別・診療科別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼吸器	皮膚科	小児科	心内	麻酔科	
	不明	計	21	1	2	3	3	-	2	-	-	-	3	-	1	3	2	-	-	1	-
		男	9	1	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-
		女	12	-	1	2	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
	総数	計	1925	42	184	130	324	48	149	-	167	168	75	194	179	93	-	-	-	172	-
		男	986	18	110	48	174	26	38	-	75	61	36	123	145	71	-	-	-	61	-
		女	939	24	74	82	150	22	111	-	92	107	39	71	34	22	-	-	-	111	-
I	感染症及び寄生虫症	計	34	2	11	5	10	-	1	-	-	-	1	-	2	1	-	-	-	1	-
		男	16	1	4	2	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-
		女	18	1	7	3	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
II	新生物(悪性新生物)	計	198	-	18	-	74	1	1	-	-	-	1	3	12	69	18	-	-	1	-
		男	138	-	11	-	35	-	-	-	-	-	1	2	9	65	14	-	-	1	-
		女	60	-	7	-	39	1	1	-	-	-	-	1	3	4	4	-	-	-	-
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	9	-	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
		男	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
		女	7	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	54	18	9	11	10	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	2	-
		男	27	7	6	6	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
		女	27	11	3	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-
V	精神及び行動の障害	計	315	-	6	2	13	-	-	-	-	155	-	-	-	-	2	-	-	137	-
		男	116	-	3	1	6	-	-	-	-	55	-	-	-	-	1	-	-	50	-
		女	199	-	3	1	7	-	-	-	-	100	-	-	-	-	1	-	-	87	-
VI	神経系の疾患	計	88	1	1	4	6	3	2	-	-	6	-	-	39	1	20	-	-	5	-
		男	56	-	1	-	2	2	-	-	-	1	-	-	30	1	17	-	-	2	-
		女	32	1	-	4	4	3	-	-	-	5	-	-	9	-	3	-	-	3	-
VII	眼及び付属器の疾患	計	167	-	-	-	-	-	-	-	167	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	75	-	-	-	-	-	-	-	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	92	-	-	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	8	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
		男	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		女	6	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計	131	1	9	50	24	34	-	-	-	1	-	2	-	-	2	-	-	8	-
		男	60	1	3	19	12	20	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	3	-
		女	71	-	6	31	12	14	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	5	-
X	呼吸器系の疾患	計	202	9	11	25	2	-	-	-	-	1	-	111	1	40	-	-	-	2	-
		男	134	5	7	15	1	-	-	-	-	1	-	71	-	33	-	-	-	1	-
		女	68	4	4	10	1	-	-	-	-	-	-	40	1	7	-	-	-	1	-

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼吸器	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
XI	消化器系の疾患	計 261	1	93	4	94	-	-	-	-	-	-	68	1	-	-	-	-	-	-
	男	155	-	63	-	62	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-
	女	106	1	30	4	32	-	-	-	-	-	-	38	1	-	-	-	-	-	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計 14	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	男	11	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	女	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII	筋骨格及び結合組織の疾患	計 49	1	4	2	9	6	15	-	-	-	-	-	6	4	-	-	-	-	2
	男	19	-	2	-	2	4	6	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-
	女	30	1	2	2	7	2	9	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	2
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計 126	6	6	19	6	-	-	-	-	-	-	-	6	79	2	-	-	-	2
	男	74	3	2	4	2	-	-	-	-	-	-	-	3	58	1	-	-	-	1
	女	52	3	4	15	4	-	-	-	-	-	-	-	3	21	1	-	-	-	1
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	男	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計 7	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	男	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	5	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計 231	1	1	2	57	4	128	-	-	-	3	2	4	13	4	-	-	-	12
	男	82	-	1	1	31	2	30	-	-	-	1	2	2	9	1	-	-	-	2
	女	149	1	-	1	26	2	98	-	-	-	2	-	2	4	3	-	-	-	10
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計 30	-	7	-	7	-	2	-	-	-	-	-	1	10	3	-	-	-	-
	男	16	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9	2	-	-	-	-
	女	14	-	3	-	6	-	2	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-
XXII	特殊目的用コード	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別・在院期間別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
	不明	計	21	3	3	3	2	2	4	2	-	-	419.2
		男	9	2	2	1	1	2	1	-	-	-	26.1
		女	12	1	1	2	1	-	3	2	-	-	71.4
	総数	計	1925	708	203	147	127	342	229	127	24	10	8
		男	986	394	124	82	71	142	87	67	13	4	2
		女	939	314	79	65	56	200	142	60	11	6	6
I	感染症及び寄生虫症	計	34	12	8	5	3	1	1	3	1	-	-
		男	16	7	3	3	2	-	-	1	-	-	-
		女	18	5	5	2	1	1	1	2	1	-	-
II	新生物(悪性新生物)	計	198	85	41	19	16	18	6	10	2	-	1
		男	138	54	33	14	10	14	5	7	1	-	-
		女	60	31	8	5	6	4	1	3	1	-	1
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	9	4	1	2	1	1	-	-	-	-	-
		男	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	7	3	-	2	1	1	-	-	-	-	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	54	14	11	13	4	5	5	2	-	-	-
		男	27	5	5	10	3	3	1	-	-	-	-
		女	27	9	6	3	1	2	4	2	-	-	-
V	精神及び行動の障害	計	315	27	23	21	24	102	64	29	11	8	6
		男	116	7	8	9	11	33	28	12	4	3	1
		女	199	20	15	12	13	69	36	17	7	5	5
VI	神経系の疾患	計	88	59	3	5	2	11	5	2	1	-	-
		男	56	47	1	1	1	3	2	1	-	-	-
		女	32	12	2	4	1	8	3	1	1	-	-
VII	眼及び付属器の疾患	計	167	165	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	75	73	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	92	92	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	8	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-
		男	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	6	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計	131	13	13	13	9	25	21	32	4	1	-
		男	60	6	7	6	5	7	6	19	4	-	-
		女	71	7	6	7	4	18	15	13	-	1	-
X	呼吸器系の疾患	計	202	19	19	26	27	57	29	23	2	-	-
		男	134	10	14	14	20	39	19	16	2	-	-
		女	68	9	5	12	7	18	10	7	-	-	-

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数	
XI	消化器系の疾患	計	261	181	35	10	10	13	7	2	3	-	13.7	
		男	155	109	22	5	4	8	3	2	2	-	-	13.7
		女	106	72	13	5	6	5	4	-	1	-	-	13.7
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	14	1	3	4	1	2	1	1	-	-	115.6	
		男	11	1	2	3	-	2	1	1	-	-	-	142
		女	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	18.7
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	49	11	2	3	5	16	10	2	-	-	41.5	
		男	19	3	1	3	3	5	4	-	-	-	-	37.1
		女	30	8	1	-	2	11	6	2	-	-	-	44.3
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	126	40	25	10	21	16	9	4	-	1	-	26.7
		男	74	30	15	5	12	7	3	1	-	1	-	23.2
		女	52	10	10	5	9	9	6	3	-	-	-	31.8
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
		男	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類不能	計	7	3	2	2	-	-	-	-	-	-	9.4	
		男	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	13
		女	5	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計	231	47	10	13	4	72	68	17	-	-	48	
		男	82	25	7	9	-	19	15	7	-	-	-	38.8
		女	149	22	3	4	4	53	53	10	-	-	-	53
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	30	22	2	-	-	3	3	-	-	-	16	
		男	16	13	1	-	-	2	-	-	-	-	-	9.4
		女	14	9	1	-	-	1	3	-	-	-	-	23.6
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

疾病別・年齢階層別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	0歳~4歳	5歳~9歳	10歳~14歳	15歳~19歳	20歳~29歳	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~69歳	70歳~79歳	80歳~84歳	85歳~89歳	90歳~94歳	95歳~99歳	100歳~	平均年齢	
	不明	計	21	-	-	-	-	-	2	4	6	2	5	1	1	-	76.6	
		男	9	-	-	-	-	-	1	2	3	1	2	-	-	-	74.7	
		女	12	-	-	-	-	-	1	2	3	1	3	1	1	-	78	
	総数	計	1925	2	9	33	45	83	126	232	518	287	302	176	63	8	73	
		男	986	2	5	12	20	45	72	145	311	138	125	70	15	3	71.6	
		女	939	-	4	21	25	38	54	87	207	149	177	106	48	5	74.4	
I	感染症及び寄生虫症	計	34	-	-	1	5	-	4	2	6	4	6	6	-	-	69.4	
		男	16	-	-	1	2	-	4	2	2	1	1	3	-	-	64.3	
		女	18	-	-	-	3	-	-	-	4	3	5	3	-	-	74	
II	新生物(悪性新生物)	計	198	-	-	-	1	2	3	26	88	45	18	9	5	-	76.5	
		男	138	-	-	-	1	1	2	16	66	29	14	4	5	-	77.2	
		女	60	-	-	-	1	1	1	10	22	16	4	5	-	-	74.8	
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	9	-	-	-	-	-	1	-	2	2	1	2	-	-	75.8	
		男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82.5	
		女	7	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	2	-	-	73.9	
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	54	-	-	-	-	1	4	3	15	2	20	6	3	-	80.4	
		男	27	-	-	-	-	1	2	1	10	2	9	1	1	-	77.7	
		女	27	-	-	-	-	-	2	2	5	-	11	5	2	-	83.1	
V	精神及び行動の障害	計	315	-	1	8	11	14	31	33	26	61	47	57	22	3	1	68.5
		男	116	-	-	1	3	7	11	9	9	26	16	20	12	2	-	70.8
		女	199	-	1	7	8	7	20	24	17	35	31	37	10	1	1	67.2
VI	神経系の疾患	計	88	-	-	-	1	8	12	19	22	13	6	6	1	-	61	
		男	56	-	-	-	1	8	7	14	16	8	2	-	-	-	56.4	
		女	32	-	-	-	-	-	5	5	6	5	4	6	1	-	69	
VII	眼及び付属器の疾患	計	167	-	-	-	-	-	4	29	80	31	20	3	-	-	75.7	
		男	75	-	-	-	-	-	2	17	34	13	7	2	-	-	75.3	
		女	92	-	-	-	-	-	2	12	46	18	13	1	-	-	76.1	
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	8	-	-	-	-	1	-	1	1	1	2	1	1	-	78.1	
		男	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	69.5	
		女	6	-	-	-	-	-	-	1	1	1	2	-	1	-	81	
IX	循環器系の疾患	計	131	-	-	-	-	1	3	16	28	22	32	14	11	1	80.5	
		男	60	-	-	-	-	2	3	11	18	12	13	1	-	-	75.8	
		女	71	-	-	-	-	1	1	5	10	10	19	13	11	1	84.5	
X	呼吸器系の疾患	計	202	-	-	-	1	2	7	15	54	35	39	32	12	4	80.8	
		男	134	-	-	-	1	2	1	7	45	24	25	24	3	2	80.9	
		女	68	-	-	-	-	1	6	8	9	11	14	8	9	2	80.6	

コード	国際分類大項目分類	総数	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	平均年齢	
XI	消化器系の疾患	計	261	-	1	8	20	21	7	14	23	49	60	20	17	16	5	-	60.4
		男	155	-	1	5	9	10	3	8	16	37	40	13	6	6	1	-	60.5
		女	106	-	-	3	11	11	4	6	7	12	20	20	7	11	10	4	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	14	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	5	3	2	-	-	81.1
		男	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	3	3	2	-	-	80.3
		女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	84.3
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	49	-	-	-	-	-	-	1	4	5	19	6	9	4	1	-	76.8
		男	19	-	-	-	-	-	-	-	2	3	8	2	4	-	-	-	74.1
		女	30	-	-	-	-	-	-	1	2	2	11	4	5	4	1	-	78.4
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	126	-	-	-	1	5	5	8	17	29	20	19	16	4	4	2	75.3
		男	74	-	-	-	3	3	8	3	8	15	23	6	8	6	1	1	71.7
		女	52	-	-	-	1	2	2	2	6	14	11	10	10	3	3	1	80.4
XV	妊娠,分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形,変形及び染色体異常	計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
		男	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状,徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計	7	-	-	-	-	1	-	1	-	2	1	1	1	1	-	-	70.3
		男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	85
		女	5	-	-	-	-	1	-	1	-	2	2	-	-	1	-	-	64.4
XIX	損傷,中毒及びその他の外因の影響	計	231	-	-	-	4	3	3	9	11	19	44	36	49	36	17	-	77.6
		男	82	-	-	-	1	2	1	8	8	10	18	10	14	8	2	-	71.4
		女	149	-	-	-	3	1	2	1	3	9	26	26	35	28	15	-	81
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	30	-	-	-	1	1	-	1	-	2	13	4	3	5	1	-	77.2
		男	16	-	-	-	1	1	-	1	-	1	10	2	1	-	-	-	69.9
		女	14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	2	2	2	5	1	-
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

コード	I C D 分類	総数		内科		消化器		循環器		外科		脳外科		整形外科		婦人科		耳鼻科		眼科		精神科		歯科		呼吸器		泌尿器		呼吸器		皮膚科		小児科		心内		麻酔科		剖検率					
		死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検						
XXI	(Z00-Z99)健康状態に影響をおよぼす要因お	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)		
	計	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)		
	男	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
	女	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
XXII	(U04-U89)特殊目的用コード	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
	計	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
	男	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
	女	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)

II

介護事業の部

訪問看護レインボウ全体の利用者数は△3%となりました。要因は圏域のステーションの増加や人材の定着が図れなかったことなどですが、コロナ禍の影響等もあり、年度末には重症度の高い利用者の在宅看取りも増え収益に繋がってきました。

介護老人保健施設パストラールとよさとは入所については、平均入所者数は、86.9人（前年89.1人）と若干減少しました。前半のコロナの影響が出ました。今後も目標の90人を達成できるよう取り組んでいきます。

通所については、平均利用者数13.7人（前年13.3人）と若干伸びました。

従いまして利用者確保が一番の課題であったことからショートのエリアも少し拡大をしました。そのことによる効果検証やその他の手段による利用者確保も考えていきます。

また、本来業務以外についても、委託事業の受託や拡大を考えており、委託先と調整を進めているところです。

「マックスとよさと」は、2020年3月より3名体制となり8月より特定事業所加算の算定を開始し、市町からの新規の依頼を積極的に受けることにより増加に繋がりました。

「マックスひこね」は新型コロナウイルスのまん延に伴い、利用者・家族との関り方、地域の医療機関や介護事業所との連携方法にも大きな変化がありましたが、継続することができました。

「地域包括支援センターきらら」は、新型コロナウイルス感染症予防から地域での出前講座等の活動が減少したが、総合相談は、1,539件/年あり医療・福祉・関連行政機関や社協・地域の自治会長、民生委員等と地域ケア会議（随時・個別）開催を行い地域支援を行っています。

「きらら」は、年間実績が1日平均31.5名となりました。

毎月の稼働状況を居宅介護支援事業所へ情報提供を行い積極的な受け入れ策を行ってきましたが、コロナウイルス感染防止の為に休まれる方や年度末に週4～5の利用の方が数名退所され利用者数の減少となりました。

「ゆうゆう」は、4月以降、入退居はなく安定した運営となりました。

「けやき」の年間利用者数は16.4人で、前年比若干のマイナスとなりました。

「らくらく」は、2020年入居者の入院などから2ヶ月近く空床となってしまいましたが、職員の調整、経費の見直し等で年間を通して改善することが出来ました。

経営理念

施設を通じて地域社会に密着し人間らしく
心豊かに暮らせるよう 仁愛の精神で奉仕し
生活文化向上に役立ち社会に貢献する

基本方針

- ・自立支援と家庭復帰をめざす。
- ・明るい家庭的雰囲気づくり。
- ・施設、地域、家庭の結びつき重視。
- ・親切、快適、安心、満足、可能性の追求。

行動規範

- ・誠心誠意のサービスの提供をしよう。
- ・柔軟発想で創造しよう。
- ・バイタリティーあふれる考動をしよう。
- ・頑強な心身をつくろう。

バストラールとよさと

経営理念

しあわせな老後をめざし普通の生活を活力
をつけてゆったり気分で仲間といっしょに
楽しむためにあたたかいもてなしの心で提
供し、地域社会に貢献する。

彦根市デイサービスセンター **きらら**
彦根市在宅介護支援センター
甲良町デイサービスセンター **けやき**

彦根市グループホーム **ゆゆう**
甲良町グループホーム **らくらく**

1 介護事業・各事業所業績

1 各種教室・講師派遣

本年はなし。

2. 研修受入状況

① 実習受け入れ

○レインボウとよさと・サテライトレインボウはたしょう

・滋賀県立大学 3クール ・聖泉大学 6クール ・神戸常磐大学 1クール

○レインボウひこね

・県立大学：10/19～10/30 (3名) 11/23～12/4 (3名) 4/13～15 (2名)、4/16～18 (2名)

・聖泉大学：11/10～12 R2,1/6～8 (2名)、1/19～21 (2名) 1/22～26 (2名)

② パストラールとよさと

学生受け入れ

学生受入：延べ 33人

学校：滋賀県立大学 京都文教短期大学 京都橘大学

③ デーサービスセンターきらら

上半期（4～9月）はコロナウイルス感染拡大防止の為、受け入れ中止。

豊郷病院准看護学院 9月16日・30日 2名 在宅介護実習

豊郷病院新人看護師見学会 10月13日 30名 職場見学

④ グループホームゆうゆう

○豊郷病院附属・准看護学院

令和2（2020）年 9月16日（水） 女性2名

令和2（2020）年 9月30日（木） 女性2名

令和2（2020）年 10月22日（木） 男性・女性18名

○びわこ学院大学短期大学部

コロナウイルス感染予防のため、受け入れず。

2 介護事業・各事業所別事業報告



概要

開設日	平成13年5月1日
責任者	吉田 環
定員(サービス提供量)	理学療法士1名当たり12回/日
職員	理学療法士3名(山田知美 水野美枝 木村香奈子)

事業経過

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問回数(回)	448	392	451	409	363	391	397	362	356	360	346	352
利用者数(人)	39	41	39	38	39	37	35	35	34	38	35	37
新規者数(人)	1	2	2	3	3	2	1	2	1	4	0	3
終了者数(人)	1	2	3	2	3	3	2	1	1	3	1	7

要介護度	要支援 1.2	8	年齢	40歳代	0	地域	彦根市	31	疾患	脳血管	17
	要介護 1	12		50歳代	2		豊郷町	11		整形	30
	要介護 2	18		60歳代	4		甲良町	5		特定疾患	5
	要介護 3	12		70歳代	17		多賀町	4		呼吸器	2
	要介護 4	10		80歳代	33		愛荘町	10		内科	0
	要介護 5	1		90歳代	5		圏域外	0		廃用	7

利用状況

- 延べ利用者数は447名、延べ訪問回数は4627回。
1か月平均で利用者数は約37.3名、訪問回数は約385.5回と昨年より減少。
- 新規利用は1年間で24名、短期集中加算対象者は10名と昨年に比べ短期集中加算対象者は減少した(昨年短期集中加算対象者17名)。終了者は29名。
- 要介護度では、要介護1・2が4.9割、要介護3～5が3.8割、要支援は1.3割となった。前年度の割合と大きな変化はみられなかった。
- 年齢別では前年度同様、80歳代が多く利用の約5割。
- 地域別では前年同様に彦根市の利用が最も多い。
- 疾患別では整形外科疾患が最も多く、全体の5割。次いで脳血管疾患で全体の2.7割と昨年と比べて大きな変化はなし。
- 当事業所スタッフはPTのみのため、2020年12月までOTが必要な利用者1名に対し訪問看護ステーションよりOT1名応援あり。
- 2020年3月より育休のためリハビリテーション科に欠員があり、2021年4月～10月まで週3回午後からパストラルに応援を行うため、訪問回数の増加には至らなかった。
- 妊娠しているスタッフがいたため、終了には至らないが週の訪問回数が減った利用者もあり、訪問回数の増加には繋がらなかった。
- スタッフの1人が2021年3月中旬より産休に入り2人体制となるため、終了者も多く訪問回数の増加には繋がらなかった。
- 終了件数は昨年より増加し、回転率は上昇したため、本年度も社会参加支援加算の算定が可能となった。



概要

レインボウとよさと

所長・統括所長兼務 谷川 明美

看護師 常勤6人 非常勤3人 OT1人常勤、1人非常勤(3ステーション兼務) 事務員1人

レインボウはたしょう

所長・西川 くるみ

看護師 常勤5人 非常勤2人 事務員1人(パート)

レインボウひこね

所長 山田 里美

看護師 常勤7人 非常勤3人 PT1人常勤(3ステーション兼務) 事務員1人

事業経過

2020(令和2)年度 訪問看護ステーション事業報告

2020年度は10月にレインボウはたしょうととよさとを統合し新しい体制となりました。とよさとの大規模化により郡部を中心に柔軟に地域ニーズに対応していき、また、ひこねは彦根市訪問看護ステーションの縮小に伴い重度在宅療養者の増加もみられました。しかし、圏域のステーションの増加や人材の定着が図れず、結果としてレインボウ全体の収支前年度比は-23%、平均利用者数は1%増加と横ばいとなりました。

<レインボウとよさと・サテライトレインボウはたしょう>

統合してから新規利用者の平均は7.0人/月から8.8人/月と増えています。スタッフの数だけ強みがあり、それぞれの強みを生かした看護を展開していきます。統合による組織力を生かし、柔軟な対応で地域の中核となり多様化するニーズに応えていきます。

<レインボウひこね>

今年度は一日平均利用者数22.4人で前年比-3%、平均収入は570万と安定していましたが、人件費が+7%で収益が伸びない状況でした。そのような中でも安定した精神訪問看護の提供や重度在宅療養者支援を実践でき、ことう地域チームケア研究会では「ひきこもり」に関して事例提供を行いPRとなりました。今後は機能の高いステーションとして評価されるよう戦略的に取り組んでいきたいと思っております。

職員研修

<レインボウとよさと・サテライトレインボウはたしょう>

講師派遣・会議	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県訪問看護連絡協議会役員会(西川) ・湖東地域歯科保健調整会議(西川) ・チーム多賀(西川)・愛荘町医歯薬連携会議(西川) ・愛荘町虐待防止ネットワーク会議(西川) ・全世代型地域包括ケア推進フォーラム(松宮) ・看護ネットワーク推進会議(西川) ・豊郷町多職種会議(角間) ・愛荘町地域ケア個別ケース会議 	
2020年度研修	5月21日～7月8日	訪問看護初任者研修
	7月21日～11月26日	訪問看護eラーニング
	8月1日	看護基礎教育及び在宅看護で教育を考える
	9月2日～9月11日	訪問看護指導者養成プログラム
	9月17日	訪問看護の制度・報酬の仕組みを学ぶ
	10月16日～10月18日	精神訪問看護算定要件研修
	11月14日	GAF研修
	12月5日	コロナウイルス対応研修会
	1月9日	ハラスメント研修会
	1月22日	難病医療従事者研修会
	3月10日	高齢者虐待防止研修会
	奇数月	ことう地域チームケア研究会

<レインボウひこね>

講師派遣・会議	<ul style="list-style-type: none"> 彦根市自殺未遂者対策ネットワーク会議（山田） 彦根市地域ケア会議（山田） オレンジ定例会（右近） オレンジキャラバンメイト研修会（右近） ・圏域ごとの企画会議（山田） 	
2020年度研修	5月	ZOOM研修「訪問看護初任期研修」
	6月	ZOOM研修「精神科訪問看護基本療養費算定研修」
	7月	「訪問看護eラーニング 訪問看護基礎講座」
	8月	ZOOM研修「介護サービス事業者等感染管理リスクマネジメント」
		「新型コロナウイルス感染症との向き合い方」
	9月	「訪問看護制度・報酬のしくみを学ぶ」
		「ことう地域チームケア研究会（地域リハビリ）」
	10月	ZOOM研修「高齢者の慢性疼痛の病態とリハビリテーション」
	11月	「小児在宅医療体制整備事業 実技研修会」
		ZOOM研修「GAF尺度」
12月	「滋賀県における災害・感染症発生時の訪問看護S T同士の連携システム構築」	
1月	ZOOM研修「在宅死に関する研修会」	

事業所別利用者前年比較表

		2019年度	2020年度	増加率	備 考
とよさと	新規利用者	71	95	-14%	10月より とよさと・はたしょう 合併 (グループホーム4ヶ所 定期訪問)
	延べ人数	1,399	2,309	-5%	
	訪問延べ回数	6,625	12,143	5%	
はたしょう	新規利用者	40			
	延べ人数	1,029			
	訪問延べ回数	4,894			
ひこね	新規利用者	40	46	15%	(グループホーム1ヶ所 定期訪問)
	延べ人数	1,723	1,730	0%	
	訪問延べ回数	6,741	6,555	-3%	

事業経過・実績報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月間 平均								
利用者数	とよさと	116	115	122	120	110	111	190	194	196	181	184	182	2,309	192								
	はたしょう	80	83	81	80	82	82																
	ひこね	141	144	147	141	140	143									145	148	146	145	144	146	1,730	144
	合計	337	342	350	341	332	336									335	342	342	326	328	328	4,039	337
延べ回数	とよさと	607	557	603	566	542	546	1,136	1,024	1,000	929	897	1,063	12,143	1,012								
	はたしょう	446	447	456	444	424	456																
	ひこね	570	506	591	569	548	532									562	515	545	518	501	598	6,555	546
	合計	1,623	1,510	1,650	1,579	1,514	1,534									1,698	1,539	1,545	1,447	1,398	1,661	18,698	1,558
よる利・ 用者数に	とよさと	14	13	13	10	11	12	27	26	23	22	21	27	286	24								
	はたしょう	9	11	11	11	12	13																
	ひこね	20	19	21	20	16	19									18	19	18	19	18	225	19	
	合計	43	43	45	41	39	44									45	45	41	40	40	45	511	43
よる延・ べ回数に	とよさと	83	69	77	58	60	65	199	172	185	179	170	205	2,022	169								
	はたしょう	60	78	78	93	88	103																
	ひこね	127	88	101	105	93	100									95	99	97	88	100	121	1,214	101
	合計	270	235	256	256	241	268									294	271	282	267	270	326	3,236	270

年齢別

		とよさと・はたしょう		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
年齢別	10歳未満	0	0%	12	1%
	10歳代	17	1%	15	1%
	20歳代	39	2%	26	2%
	30歳代	73	3%	70	4%
	40歳代	102	4%	121	7%
	50歳代	98	4%	191	11%
	60歳代	254	11%	207	12%
	70歳代	518	22%	373	21%
	80歳代	761	33%	586	34%
	90歳～100歳代	447	20%	129	7%
	計	2,309	100%	1,730	100%

地域別

		とよさと・はたしょう		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
地域別	甲良町	256	11%	0	0%
	多賀町	280	12%	0	0%
	豊郷町	420	18%	0	0%
	愛荘町	606	26%	0	0%
	東近江市	41	2%	0	0%
	彦根市	706	31%	1,730	100%
	計	2,309	100%	1,730	100%

疾患別

		とよさと・はたしょう		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
疾患別	脳血管障害	123	5%	132	8%
	呼吸器疾患	117	5%	23	1%
	循環器疾患	354	15%	156	9%
	泌尿器疾患	98	4%	44	3%
	消化器疾患	92	4%	22	1%
	各種癌	214	9%	77	4%
	内分泌疾患	164	7%	15	1%
	骨・筋肉疾患	172	8%	131	8%
	指定難病	118	5%	111	6%
	先天性疾患	13	1%	24	1%
	認知症系	172	8%	211	12%
	精神疾患系	536	23%	753	44%
	その他	136	6%	31	2%
	計	2,309	100%	1,730	100%

介護度別

		とよさと・はたしょう		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
介護度別	申請中	33	3%	9	1%
	要支援1	41	3%	24	3%
	要支援2	69	5%	63	8%
	要介護1	379	28%	262	33%
	要介護2	356	26%	153	19%
	要介護3	249	18%	144	18%
	要介護4	113	8%	70	9%
	要介護5	128	9%	67	9%
	計	1,368	100%	792	100%

加算状況

			とよさと・はたしょう	ひこね
加算状況	介護保険	緊急時訪問看護加算	1,240	702
		特別管理加算	388	76
		退院時共同指導加算	29	10
		初回加算	48	24
		ターミナルケア加算	8	0
		在宅死者数	14	0
	医療保険	24時間対応体制加算	866	877
		特別管理加算	280	102
		退院時共同指導加算	22	12
		退院支援指導加算	12	5
		長時間加算	47	5
		ターミナルケア加算	4	0
		在宅死者数	5	1

指示書構成比

		とよさと・はたしょう		ひこね	
		総数	割合	総数	割合
指示書構成比	院内	1,074	47%	478	28%
	院外	1,235	53%	1,252	72%



(施設入所・短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション)

概要

平成 8 年 (1996) 6 月開設	R C	3 階建	
敷地面積	6,012.00m ²	1 F	管理棟／通所リハ棟
建築面積	1,795.22m ²	2 F	一般棟 (竹生・沖)
延床面積	4,376.38m ²	3 F	専門棟 (比良・伊吹・鈴鹿)
		屋上	機械棟
定 員	入所 100人	一般棟 55人 (竹生・沖の 2 グループ)	
		専門棟 45人 (比良・伊吹・鈴鹿のさとの 15人× 3 ユニット)	
		(内短期入所療養介護 4人)	
		通所リハビリテーション 1日 20人	
職 員	施設長 奥田和美	事務長 菅原幸一	師長 井上尚子
	看護師 11名	介護職 47名	支援相談員 2名
	介護支援専門員 1名	P T ・ O T 6名	管理栄養士 1名
	事務 3名	その他職員 7名	合計 81人

事業経過

2020 (令和 3) 年度は、引き続き介護職員の確保と育成に努めています。
また、新型コロナウイルス対策について、感染予防等について、重点的に取り組みました。

利用状況(イ)

平成 28 年 4 月以降の利用状況は次の通り

1. 利用者数 (年度別)

入 所 者	H28	H29	H30	R1	R2
一日平均入所者数 (SS 含)	84	86.85	89.8	89.1	86.9
うち一般棟	47	46	48	47	47
うち専門棟	37	39	40	40	37
平均年齢	85.1	85.7	86.4	86.7	86.3
男女比 (男性%)	15	18.7	16	17.2	17.1
平均入所期間 (日)	240	247	293	282	234

2. 要介護度別利用状況

平均介護度	H28	H29	H30	R1	R2
入 所	3.40	3.15	3.25	3.30	3.12
通 所	2.59	2.59	2.61	2.80	2.62

3. 市町別利用者の割合（年度別）

入所（ショート含） / 通所

（％）

	H28		H29		H30		R1		R2	
	入所	通所	入所	通所	入所	通所	入所	通所	入所	通所
彦根市	29	28	30	26	25	13	25	34	28	36
豊郷町	12	19	9	24	13	7	15	16	16	18
甲良町	20	19	20	18	18	10	17	22	14	22
多賀町	11	10	12	11	11	4	12	8	10	6
愛荘町	12	22	11	21	17	8	19	18	20	17
東近江市	13	0	15	0	8	0	8	0	10	0
(旧)一市七町外	3	2	3	2	3	0	3	1	2	1

職員研修

【内部研修】

開催年月日	研修会名	参加人員	研修内容
令和2年 6月 17日	接遇研修	33名	昨年度の家族アンケートの報告
令和2年 7月 22日 8月 19日	身体拘束について	59名	身体拘束についての意識を高める
令和2年 11月 18日 12月 16日	新型コロナウイルスについて	47名	新型コロナウイルスの特徴と感染対策の基本 施設におけるゾーニングの基本の知識を習得し 施設での感染対策を考える

【外部研修】

開催年月日	研修会名	参加人員	研修内容
令和2年 7月 15日	介護老人保健施設における 感染症管理・対策についての研修	3名	感染管理対策について正しい知識を学ぶ
令和2年 8月 21日	新型コロナウイルス感染症対策 研修会	1名	感染予防の基本、介護事業所での発生時の状況を学ぶ
令和2年 9月 4日	令和2年度滋賀県認知症研修会	2名	認知症についての知識を学ぶ
令和2年 9月 23日	令和2年度高齢者施設における ゾーニング研修会	1名	コロナウイルスの基礎知識、 ゾーニングの考え方の基本について学ぶ
令和2年 10月 25日	施設における看取り・ グリーフケア研修	2名	多職種と協働できる看取り・グリーフケアについて学ぶ
令和2年 12月 8日	新任職員フォローアップ研修・ 交流会	2名	県内で働く新人介護職員の交流会
令和2年 12月 17日	診療所・介護施設で働く 看護職の集い	1名	いろいろな立場で働く看護職の連携強化を図る
令和2年 11月 19日 12月 3日 令和3年 1月 22日 1月 27日	日本語と介護技術の オンライン研修	1名	日本語・介護技術のオンライン研修会

デイケア稼働・利用状況

2020年度

パストラールとよさと

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均	
稼働日数		21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	20	
一日平均		12.6	12.3	13.9	14.0	12.2	13.5	14.4	14.3	12.8	13.5	15.5	15.6	13.7	定員
" (前年度)		13.3	13.1	14.3	13.5	12.8	14.2	13.9	13.9	12.4	13.0	12.3	12.9	13.3	20
月平均稼働率(%)		63.1	62.8	69.3	70.0	60.8	67.3	71.8	71.3	64.0	67.6	77.5	77.8	68.6	%
利用 実 人 数	デイケア	45	45	51	46	43	45	44	46	42	42	45	47	45	94%
	予防デイケア	1	1	3	4	3	4	5	4	2	3	3	3	3	6%
	男	17	17	15	18	17	17	17	17	15	16	18	18	17	35%
	女	29	29	39	32	29	32	32	33	29	29	30	32	31	65%
	合計	46	46	54	50	46	49	49	50	44	45	48	50	48	
利用 延 人 数	介護	261	223	279	274	227	246	288	254	245	243	265	340	262	94%
	予防	4	3	26	20	16	23	28	17	11	14	14	18	16	6%
	利用総合計	265	226	305	294	243	269	316	271	256	257	279	358	278	
平均介護度		2.68	2.45	3.21	2.80	2.12	3.15	3.22	2.20	2.47	2.42	2.40	2.36	2.62	
平均年齢		83.1	83.2	82.7	82.6	83.1	83.2	83.0	82.6	82.9	83.7	82.4	82.6	82.9	
短期集中個別リハ 実人数		4	3	0	0	0	0	3	3	4	4	6	6	3	
" 延回数		30	22	0	0	0	0	15	22	27	22	36	39	18	
認知症短期集中(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
重度療養管理加算(延)		4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.6	
入浴加算(延)		51	53	70	59	43	56	74	55	47	48	56	75	57.3	
栄養スクリーニング加算		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
栄養改善加算(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
口腔機能向上加算(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
提供体制加算 4		44	34	47	44	39	42	44	41	41	39	37	46	42	
" 3・2・1		2	0	3	3	2	2	3	2	3	3	3	5	3	
リハマネジメント加算Ⅱ		36	28	30	36	32	36	30	31	28	27	24	32	31	
" Ⅰ		8	5	9	8	9	8	9	6	6	7	3	6	7	
曜日 別	月	10.7	10.6	13.6	11.7	10.0	11.3	12.0	10.4	13.2	13.0	15.5	14.8	12.2	61.2%
	火	13.5	13.6	14.8	14.7	14.0	14.2	14.5	11.0	11.7	11.5	12.6	15.2	13.4	67.2%
	水	12.7	12.0	10.7	15.0	11.0	11.2	11.8	12.2	10.2	13.2	14.7	14.4	12.4	62.1%
	木	12.6	12.7	14.2	13.7	11.8	13.7	14.2	14.2	12.2	11.2	13.3	14.5	13.2	66.0%
	金	12.5	12.7	12.7	13.2	10.0	11.0	12.8	13.0	13.7	14.7	16.5	15.0	13.2	65.8%
地域 別	彦根市	18	18	20	18	17	17	17	17	17	17	17	17	18	36%
	豊郷町	8	8	9	9	8	8	9	9	8	8	9	10	9	18%
	甲良町	11	11	12	11	11	12	11	12	8	10	10	10	11	22%
	多賀町	4	3	4	3	2	3	3	3	2	2	3	4	3	6%
	愛荘町	5	6	8	9	8	9	9	9	9	8	9	9	8	17%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%



概要

ケアプラン作成・給付管理業務・介護相談や代行手続き業務・施設紹介
関係機関との連絡調整・家庭訪問・認定調査受託（介護保険調査）等

定員 39人／介護支援専門員 1人

職員 マックスとよさと

管理者 山口 康子

所長 高田 奈緒

村上 真有美

マックスひこね

管理者・所長 西野 祐生

上田 紀子

三浦 麻知子

谷口 節子（非常勤）※ 2021.3 退職

事業経過

マックスとよさととは職員3名体制を1年間継続しています。マックスひこねは年度途中で職員1名減、3名体制となりました。各市町で、医療・介護の連携の推進・地域共生社会の実現を意識して業務に務めてきました。新型コロナウイルスのまん延に対して、訪問や会議、入退院支援等の業務に影響が出ましたが、Webの活用や照会等による情報共有を図ることで、利用者の生活に負担がかからない方法を実践できました。ケアマネジャーの専門性を高める各種研修会への積極的参加、令和3年度介護保険法改正の情報収集にも努めています。また、他法人の事業所との合同事例検討会を1回実施しました。

年間実績

	新規	終了	給付数
マックスとよさと	53人	13人	667人
マックスひこね	28人	28人	1,121人

職員研修

※定期開催 彦根市地域ケア会議・地域包括すばる事例検討会・ことう地域チームケア研究会
<2020年>

7月16日「管理者研修会」

7月26日「災害研修」

9月4日「滋賀県認知症研修会」

9月8日「新型コロナウイルス感染症対策研修会」

9月18日「認知症の人と家族が地域で安心して暮らし続けるために～介護者のお話から考える～」

9月18日「滋賀県難病医療ネットワーク研修会」

9月26日「ACPアドバンスケアプランニング実践研修会」

11月9日「合同研修会～感染症対策について～」

11月12日「人権研修：企業と行政との交流研修会」

※「ケアマネジメント支援会議」①7/3・21 ②9/4・15 ③11/6・17

<2021年>

1月26日「滋賀県介護支援専門員研究大会」

1月28日「合同研修会～災害研修～」

2月21日「最期まで目一杯生きる」

2月23日「2021年度 介護報酬改定の準備対策研修」

2月25日「介護サービス事業所・施設管理者等研修～新型コロナウイルス感染症にかかる人権侵害～」

3月11日「地域ケア会議推進研修会」

3月19日「主任介護支援専門員フォローアップ研修」

【外部会議】

8月28日/12月9日 湖東地域退院支援ルール評価検討事業合同会議

9月17日/2月18日 「口腔チェックシート」の活用に関するコア会議

3月24日 彦根認知症検討会

④ 彦根市デイサービスセンター **きらら** (通所介護・介護予防通所介護)

概 要

所在地	彦根市川瀬馬場町1015-1	サービス地域	彦根市(全域)
建物・構造	鉄骨平屋建		豊郷町・甲良町(一部)
敷地	3,100㎡	定員	1日40名(介護予防を含む)
実施時間	月曜日～土曜日 きらら：午前9:50～午後15:55 (休日：日曜日、年末年始 12/29～1/3)	職員配置	(2021年3月末現在)
		所長	土川 裕人
		介護職員	16人
		看護師	2人
		相談員	3人
		運転手	2人

事業経過

年間実績は月平均804名、1日平均31.5名、平均稼働率78%。

毎月の稼働状況を把握し、居宅介護支援事業所へ情報提供を行い積極的な受け入れを行ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染防止の為に休まれる方や年度末に週4～5の利用の方が数名退所され利用者数の減少に繋がり、また、当日のキャンセル(体調不良や家の都合等)や入院・入所もあり、年間を通して利用者数の目標値(平均33名)を達成することが出来なかった。

中重度ケア体制加算・認知症ケア加算・サービス提供体制加算の算定については全て要件を満たし継続して算定できています。

新年度は介護保険改定の年でもあり、可能な加算については利用者家族の同意のもと算定していき、引き続き居宅介護支援事業所に情報提供と施設アピールを徹底し、平均利用者数33名/日を目標に運営してまいります。

利用実績(きらら)

	開所 日数	各月末登録者数							計
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4月	26	3	5	18	24	22	12	4	88
5月	26	3	3	17	25	22	13	5	88
6月	26	4	5	18	26	23	12	5	93
7月	27	5	4	17	25	22	12	5	90
8月	26	3	4	18	24	24	13	4	90
9月	26	4	3	17	24	26	13	4	91
10月	27	4	4	17	23	25	14	5	92
11月	25	4	4	20	23	25	14	5	95
12月	24	4	4	20	23	26	12	5	94
1月	24	3	5	15	21	24	13	5	86
2月	24	3	5	12	22	27	13	5	87
3月	27	5	4	14	23	26	15	4	91
計	308	45	50	203	283	292	156	56	1085

	1日 あたりの 利用者数	利用者数(延べ人数)							計
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4月	30	10	32	147	231	216	127	24	787
5月	32	12	20	147	259	229	121	31	819
6月	32	13	33	133	254	255	111	37	836
7月	32	23	32	151	235	259	130	41	871
8月	32	12	26	147	215	258	137	31	826
9月	31	17	22	151	194	285	122	27	818
10月	33	23	26	169	202	297	151	29	897
11月	32	19	20	162	184	268	117	30	800
12月	31	18	23	154	175	249	98	32	749
1月	29	16	31	115	159	251	120	27	719
2月	30	12	34	107	163	262	116	26	720
3月	30	30	23	123	177	287	147	23	810
計	31	205	322	1706	2448	3116	1497	358	9652

職員研修

施設外

開催日	研修名	内容	対象者
8/3・17・26	滋賀の福祉人材育成研修(リーダー)	尊厳と自立に基づく介護理念の理解を深め、介護現場の課題が理解できるように知識と技術の習得を目指す。また、職場内で、中心的な役割を担っていることを自覚し、判断してケアが提供できるようになることを目指す。	1名
9/1・14・30	権利擁護推進委員	利用者の権利擁護、身体拘束廃止に向けた人材の育成について。	1名
9/29	滋賀の福祉人材育成研修(新任)	倫理観や利用者理解、権利擁護等、介護に携わる職員がキャリアに応じて習得すべき利用者理解、福祉の本質や権利擁護意識を習得し、必要とされる知識・技術・モラルについて。	1名
10/9・13	滋賀の福祉人材育成研修(新任)	倫理観や利用者理解、権利擁護等、介護に携わる職員がキャリアに応じて習得すべき利用者理解、福祉の本質や権利擁護意識を習得し、必要とされる知識・技術・モラルについて。	1名
11/9	合同研修会(感染症)	感染対策について～介護現場での新型コロナウイルス感染症対策と課題～会場とオンラインにて研修。	6名
11/11・12	甲種防火管理新規講習会	施設の防火管理等について。	1名
11/13	認知症介護基礎研修	認知症高齢者についての理解を深めて、認知症高齢者の介護に関する基本理念と基本的知識等を学ぶ。	1名
12/10・17	対人支援のための記録入門研修	対人支援における記録についてその意義と基本知識を学び、専門職としての基礎能力等を学ぶ。	1名
1/29	安全運転管理者講習	滋賀県や彦根市の交通事故の実態と傾向と安全運転管理者の役割等について。	1名
2/25	施設管理者研修	コロナと人権をテーマに人権問題を考える。令和3年度の介護報酬改定について。	1名

施設内

開催日	研修名	内容	対象者
4月	個人情報とプライバシー	個人情報とプライバシーの取り扱い、漏えい事故事例報告について学ぶ。不参加者は後日、資料回覧。	20名
5月	倫理・法令順守	施設の基本方針や経営目標などから見た、倫理・法令順守について学ぶ。不参加者は後日、資料回覧。	20名
6月		中止	
7月	身体拘束	身体拘束(フィジカル・ドラック・スピーチロック)について。拘束が必要な時の対応や記録について。不参加者は後日、資料回覧。	22名
8月		中止	
9月	認知症	資料回覧。 認知症の行動と心理症状について学ぶ。	20名
10月	緊急時対応	送迎時における、緊急時対応について学ぶ。 不参加者は後日、資料回覧。	10名
11月	感染予防	新型コロナウイルスについて学ぶ。 不参加者は後日、資料回覧。	13名
12月	感染予防	施設におけるインフルエンザ等の感染予防、ノロなどを含む感染予防について学ぶ。 不参加者は後日、資料回覧。	20名
1月	事故再発防止	事故報告やヒヤリハットをもとに施設内の事故の傾向を知り、対策(再発防止)について学ぶ。 不参加者は後日、資料回覧。	10名
	人権	コロナ感染から生まれる人権問題(DVD)を見て自分ができることを考える。	22名
2月	内服の作用と副作用	利用者の内服や塗布薬の作用と副作用について学ぶ。 不参加者は後日、資料回覧。	20名
3月		中止	

自主事業（行事）

開催日	事業(行事)名	内容・回数	参加者数
4/2～7	お花見	きらら中庭に提灯を飾り雰囲気を作り、花見を(桜)行う。 おやつには好きなお菓子を選んで抹茶でくつろいでいただく。	1日30名程度
5/4・5	菖蒲湯	浴槽に菖蒲を浮かべ、季節風呂を味わっていただく。	1日20名程度
5/25	春季避難訓練	地震と火災を想定しての訓練と避難についての説明を行う。 防災クイズ	31名
7/2～7	七夕笹飾り作り	みどり幼稚園から頂いた笹に、飾りや短冊などを付けていただく。	30名
8/18～21	夏祭り行事	夏祭り(ヨーヨー釣り、射的等)を行い、雰囲気等を楽しんでいただく。	1日30名程度
9/22～25	敬老行事	職員の出し物(手品、ハンドベル等)を見て、聞いて楽しんでいただく。	1日30名程度
10/13～16	運動会	紅白に分かれて、座布団リレー、満水リレー、玉入れ、借り物競争等を行う。	1日30名程度
11/25	秋季避難訓練	地震と火災を想定しての訓練と避難についての説明を行う。 防災クイズ	30名程度
12/21・22	ゆず湯	冬至でゆず湯を行い、季節感を味わっていただく。	1日30名程度
12/24・25	クリスマス行事	職員によるハンドベルに合わせて一緒に歌い、楽しんでいただく。	1日30名程度
1/12～16	新春ビンゴ大会	年初めの「運試し」としてビンゴゲームを楽しんでいただく。	1日30名程度
2/2	節分	職員が鬼役となり、利用者さんに豆まきを行っていただく。 おやつの中にはおやつと生姜湯を召し上がっていただく。	30名程度
2/11	開所イベント	きらら・ゆうゆう開所19周年 昼食はイベントメニューでおやつは紅白饅頭を用意させていただきます。	29名
3/3	ひな祭り	皆さんでひな祭りをお祝いし、甘酒等を飲んでいただき楽しい時間を過ごしていただく。	31名
毎月1回	イベントメニュー	季節の食材や行事にちなんだ食事を提供し、視覚、聴覚、嗅覚で食事を味わっていただく。	1日30名程度
毎月	ボランティア来所	様々なボランティアさんに、定期的に来ていただき、楽器演奏や劇、紙芝居などを見て、聞いて楽しんでいただく。 コロナウイルス感染拡大防止の為中止。	中止
毎月	お誕生会	その月の誕生日の方をお祝いさせていただき、色紙をプレゼントさせていただきます。	1日30名程度

自主事業（教室・講座等）

開催日	事業(教室・講座)名	内容・回数	参加者数
毎月6回程度	いきいき健康教室	3グループが活動中。 地域の高齢者の介護予防を目的に、筋力維持・向上体操を行う。 (①準備体操②筋力体操③整理体操) 4月～コロナウイルス感染拡大防止の為中止。	1日 20名程度
7/5 11/1	川瀬馬場地区清掃	地域の清掃活動に参加する。	職員2名派遣
	夏祭り	施設を開放して、利用者、家族や地域住民を招待しゲームや模擬店、ビンゴ大会など楽しんでいただく。 コロナウイルス感染拡大防止の為中止。	中止

彦根市グループホーム **ゆうゆう** (認知症対応型共同生活介護)

概要

職員 所長 小島 由香里
介護職 常勤：4名
非常勤：5名

特色・実績

要支援2、要介護1～5の認知症高齢者。介護度に拘らず、その時々の利用者の状況を勘案し、入退居判定会議の上で決定。

事業経過

令和2年度は4月の新規入居者受入れ以降、入退居がなく安定した運営が行えました。しかしながら、入居者の平均年齢が87.2歳と上がってきており、要介護平均も2.4と昨年に比べ高くなってきました。要介護3の方が急速に増え、特養申込みをされていることから、立て続けに退居される可能性があります。

新型コロナウイルスの流行を受け、外出や行事が軒並み中止となり、ご家族様の面会も制限をかけることになってしまいました。入居者の方々には、窮屈な生活を強いる事となり、少しでもストレスが減らせるように、とホーム内で楽しめる企画を職員間で考え、実行しました。

利用状況

R2 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3 1月	2月	3月
8.5名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名	9.0名

職員研修

開催日	研修名	内容	対象者
8月19日	身体拘束について	関連施設である、パストラールとよさと主催の内部研修に参加する。身体拘束について、グループワークで話し合いをする。	水野 小島
11月9日	令和2年度 合同研修会 第2回 感染症について	新型コロナウイルス感染症による、クラスターを経験された県内特養の代表者による講演。	水野 小島
12月26日～ 1月22日	高齢者介護施設における ゾーニング・ 感染予防対策について	関連施設である、パストラールとよさと“感染委員会”が作成されたDVDを、左記期間中に視聴し、新型コロナウイルスを正しく理解し、予防する。	全職員
1月28日	令和2年度 合同研修会 “災害対策”	彦根市危機管理課の川添氏、福島県で東日本大震災を経験された訪問介護職員の体験談を聞き、災害を知る事で介護に役立てる。	小島
2月1日～ 2月17日	人権についての研修	人権啓発ビデオのDVDを左記期間中に職員各自が観て、感じたこと・仕事で活かそうなことを用紙に書く。	全職員

彦根市地域包括支援センター **きらら** (担当学区：若葉 城陽 亀山 河瀬)

概要

設 立	平成24年4月	業務内容	①総合相談業務
営 業 日	月～土		②介護予防
営業時間	8時30分～16時50分 (土曜日のみ8時30分から12時40分)		ケアマネジメント業務
利 用 料	無料		③包括的・継続的
担当学区	河瀬・亀山・城陽・若葉		ケアマネジメント業務
職 員	所長(管理者) 高橋 ひとみ		④権利擁護業務
	保健師 高橋 ひとみ		
	主任介護支援専門員 青峰 龍誓		
	社会福祉士 上田 康正 濱田由紀子		
	介護支援専門員 坂田 健一		

事業経過

昨年は、コロナウイルス感染予防から各地域での自主サロン・金亀体操教室等が自粛となり出前講座などの依頼も8件/年と減少しました。各学区の民児協に出席し民生児童委員との情報交換、顔の見える関係作りや地域づくり、地域包括システムを念頭に業務をおこなっています。

また地域支えあい推進員と毎月のミーティングの継続や、虐待・支援困難ケースに関しては関係機関と連携し協働で支援を行っています。

利用状況(実績報告)

総合相談

年間延べ回数

相談内容 相談方法	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
	介護 方法	医療	認知症 (疑いを 含む)	保険・ 福祉 サービス等	実態 把握	介護 保険	福祉 用具等	施設 入所・ 退所等	住宅 改修	虐待 (疑いを 含む)	権利 擁護	消費 生活	金銭 管理 困難	介護 保険外 サービス	近隣 トラブル	苦情
電 話	6	84	30	5	77	187	24	8	4	52	22	2	38	5	1	4
来 所	3	4	5	2	15	14	0	3	2	6	1	0	2	2	0	0
訪 問	1	37	14	5	138	293	18	2	6	11	23	4	5	6	1	1
その他	0	1	0	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
計	10	126	49	13	232	495	44	13	12	69	46	6	45	13	2	6

相談内容 相談方法	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	年間 累計
	経済的 問題	安否 確認	医療 機関の 入退院	在宅 看取り	障害 福祉	精神 障害	ケアマネ ジメント	生活 支援	介護 予防	家族 支援	支援 拒否	申請 手続き 支援	他機関 への 引継ぎ	その他	
電 話	17	7	84	0	2	16	14	20	1	6	0	4	0	31	751
来 所	0	0	3	0	0	0	0	4	0	3	0	0	0	4	73
訪 問	3	26	31	0	0	8	16	3	1	0	0	3	1	10	667
その他	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	11
計	20	33	118	0	2	25	30	27	2	10	0	7	1	46	1,502

指定介護予防支援事業（予防支援給付件数）

延べ件数

請求対象月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
地域包括支援センター 給付件数	129	127	133	139	132	138	139	131	130	131	133	135	1,597

- ・ 総合相談支援のためのネットワーク構築の取り組み 66回
- ・ 包括的、継続的ケアマネジメント支援のための取り組み 66回
- ・ 地域ケア会議 定期ケア会議（軽度認定者） 4回
 随時ケア会議（支援困難等） 25回
 地域包括支援センター単位地域ケア会議 4回

職員研修

研修日	研修参加者の職種・氏名	研修内容	内部・外部 研修の区分
2020/9/15～	介護支援専門員/坂田	主任介護支援専門員研修(9日間)	外部
2020/9/18	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	キャラバンメイト研修	外部
2020/9/25	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田・濱田	障害福祉サービスと介護保険への円滑な移行について	外部
2020/9/26	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	ACP実践研修会	外部
2020/10/1	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	認知症事例検討会	外部
2020/10/1～	主任介護支援専門員/高橋	主任介護支援専門員更新研修(8日間)	外部
2020/10/3	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田・高橋	河瀬学区民児協研修会	外部
2020/11/9	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	令和2年度 合同研修会(感染症)	外部
2020/11/12	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	ことう地域チームケア研究会(引きこもり)	外部
2020/12/4	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	県ケアマネ協研修(地域づくりについて)	外部
2020/12/14	主任介護支援専門員/青峰	生活支援コーディネーター学習情報交換会	外部
2020/12/14	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	令和2年度 介護支援専門員研修 (内臓機能不全について知識を深める)	外部
2020/12/22	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田・濱田	令和2年度 地域ケア会議推進研修会 (聴こう話そう多機関との連携について)	外部
2021/1/28	主任介護支援専門員/高橋 社会福祉士/濱田	引きこもり支援研修	外部
2021/2/10	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	彦愛犬ケアマネ協研修「倫理」	外部
2021/2/15	社会福祉士/濱田	身体拘束ゼロセミナー	外部
2021/3/11	主任介護支援専門員 看護師/高橋	令和2年度地域ケア会議推進研修会 (インフォーマルサービスの活用とケアプランへの位置付け)	外部
2021/3/13	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	県MSW研修「実践につながるソーシャルワークアプローチの倫理」	外部
2021/3/22	主任介護支援専門員 看護師/高橋	令和2年度湖東地域脳卒中学習会および介護予防ケアマネジメント 研修	外部
2021/1/21	主任介護支援専門員/青峰	ことう地域チームケア研究会(お薬の話)	外部
2021/2/25	主任介護支援専門員 管理者/高橋	令和2年度介護サービス事業所・施設管理者等研修会	外部
2021/3/19	主任介護支援専門員 /青峰・上田	彦愛犬CM協 主任介護支援専門員フォローアップ研修「地域資源」	外部
2021/3/22	主任介護支援専門員 看護師/高橋	湖東地域脳卒中学習会	内部
2021/3/25	主任介護支援専門員 社会福祉士/上田	引きこもり支援ネットワーク会議	外部

甲良町デイサービスセンター **けやき** (通所介護、第一号通所事業)

概要

所在地	犬上郡甲良町在士625	職員	
建物・構造	鉄骨平屋建	センター長	1名
敷地	約2,820㎡	管理者	1名
延床面積	201.68㎡	介護職員	7名(うち1名、事務職員兼務)
定員	1日25名(月～土)	看護職員	3名(うち1名、機能訓練指導員兼務)
実施時間	午前9:20～午後16:25 (休日:日曜日、年末年始(12/29～1/3))	生活相談員	1名
		環境整備員	3名(清掃員1名、厨房業務2名)

事業経過

社会の在り方同様、デイサービスにもパーテーションやマスク着用、利用者との距離や徹底した換気や消毒等、今までには考えられない環境の変化が生まれた一年でした。

甲良町からの委託事業の介護予防普及啓発事業(認知症フォーラム)においては、新型コロナウイルス等の影響等により初の中止となりましたが、中学校へのキャラバンメイト活動は予定通り実施しました。

新型コロナウイルスによる直接的な影響は無く、無事に安定した経営をすることが出来ました。生活の在り方同様に、デイサービスもまた新しい在り方を求められる一年となりました。

利用状況

月延人数(名)

	開所 日数	各月未登録者数								計
		介護度による区分								
		非該当	要支援1 事業対象者	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	26	0	2	2	16	11	17	7	1	56
5月	26	0	3	2	15	11	17	5	2	55
6月	26	0	3	1	14	12	17	5	2	54
7月	27	0	2	2	15	10	16	4	2	51
8月	25	0	2	2	14	10	16	4	2	50
9月	26	0	2	2	17	9	16	4	3	53
10月	27	0	2	2	18	8	14	5	3	52
11月	25	0	3	1	18	10	13	6	2	53
12月	24	0	4	1	19	11	13	5	2	55
1月	24	0	4	1	15	12	12	6	2	52
2月	24	0	4	0	17	11	11	6	2	51
3月	27	0	3	0	18	15	11	5	3	55
計	297	0	34	16	196	130	173	62	26	637

延人数 (名)

	1日あたりの 利用者数	利用者数 (延人数)								
		介護度による区分								計
		非該当	要支援1 事業対象者	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	18.1	0	7	10	124	103	172	53	2	471
5月	17.9	0	11	8	121	107	162	44	13	466
6月	17.7	0	11	4	127	94	176	38	10	460
7月	16.1	0	9	10	120	81	171	35	10	436
8月	15.8	0	6	6	115	82	156	34	12	411
9月	15.7	0	8	6	132	76	139	33	13	407
10月	16.3	0	7	5	151	67	145	42	23	440
11月	16.5	0	10	3	136	73	133	47	11	413
12月	16.0	0	13	3	135	75	128	35	11	400
1月	15.0	0	16	3	117	91	106	30	12	375
2月	15.1	0	16	0	126	83	98	44	10	377
3月	17.5	0	14	0	160	114	103	35	12	438
計		0	128	58	1,564	1,046	1,689	470	139	5,094
平均	16.5									

職員研修

開催年月日	研修内容	主催者	講師
2020年7月22日	感染症対策セミナー	滋賀県介護サービス事業者 協議会	感染症. Com運営事務局 株式会社アトラス 代表取締役 向田 朋之 氏
2020年10月13日 2020年10月14日	防火管理講習会	一般財団法人 日本防火・防災協会	
2021年12月15日	身体拘束ゼロセミナー	滋賀県社会福祉協議会	社会福祉法人グループ リガール 人材・開発研究センター主任研究員 認知症看護認定看護師 西村 優子 氏
2021年2月25日	介護サービス事業所・施設管理 者等研修会	滋賀県介護サービス事業者 協議会	天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌 氏
2021年2月25日	第4回合同研修会「法令順守」	彦愛犬介護保険事業者 協議会	小濱介護経営事務所 代表 小濱 道博 氏


甲良町グループホーム 555 (認知症対応型共同生活介護)
概 要

所在地 甲良町在士 625
 建物・構造 木造平屋建
 敷 地 約 2,820 m²
 延床面積 275.75 m²
 定 員 9 名
 職 員 11 人

利用状況

2020年4月1日～2021年3月31日
 平均月間 9 名

事業経過

- ・甲良町の委託事業としてスタートした認知症カフェ「よってっ亭」は地域に根づいた事業として、月1回の開催を続けていましたが、新型コロナウイルスの影響により、らくらくでの開催が困難になりました。2021年からは場所を改め、新しい事業としてスタートします。
- ・甲良町家族介護支援事業は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の為2回程中止になりましたが、それ以降は予定通り開催されました。
- ・「～利用者・家族・職員～三者の笑顔をたいせつに」をスローガンに接遇の向上を目指します。

職員研修

開催年月日	研修会名称	参加者数
2020年7月21日	感染症対策セミナー	1名
2020年7月22日	身体拘束について	1名
2020年11月9日	合同研修会「感染症」	1名
2020年12月3日	認知症介護基礎研修	1名
2021年2月15日	身体拘束基礎研修	1名
2021年2月25日	介護サービス事業所・施設管理者等研修会	1名

III

教育研究事業の部

准看護学院は、コロナウイルスの影響により授業や行事を予定通り行うことができませんでした。4月の緊急事態宣言を受け、4月14日～5月15日までの20日間を休校に致しました。5月18日以降は、対面授業とオンライン授業との併用になり、各学年での密を避けながらの登校としました。1年生と2年生の交流は感染を避けるため、レクリエーションも行いませんでした。

臨床精神医学研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。

毎年発行する臨床精神医学研究所年報は、2019（令和元）年度版も11月に第10巻として出版し、関係各位に配布しました。

公益財団法人豊郷病院 附属准看護学院 令和2年度(2020)事業報告

准看護学院では、林学院長のもと法人の基本理念に基づき、人を思いやる、温かな心を育む人間教育に力を注ぎました。

さて、1年生では、7月の宿泊研修において、専門指導員による活動体験プログラムを取り入れ、活動を通じて他者とかかわる力・思いやる力を引き出し、さらに他者と協力して課題を克服する力など、仲間づくりの基本的な力を育む教育に取り組みました。後期には学院祭りの企画運営・実習・ホームグループ活動を通じて、さらにその力を強められるような働きかけを行いました。

2年生では、研修旅行で東京都にある国立療養所多摩全生園の園内にある、国立ハンセン病資料館を見学し、学芸員の方の説明、DVDによる語り部の方の講演、展示資料の見学を通じて、我が国初のハンセン病施策における人権侵害の歴史について、深く学び考える機会としました。

1年生：入学 9名 退学 1名 留年 1名

2年生：進級 11名 卒業 11名（准看護師資格試験 全員合格）

卒業生進路内訳：進学 7名（済生会看護専門学校5名、大宮医師会看護専門学校1名、
大垣市医師会看護専門学校1名）

就職 4名（当院1名、滋賀県内病院3名）

スタッフ（令和3年7月現在）

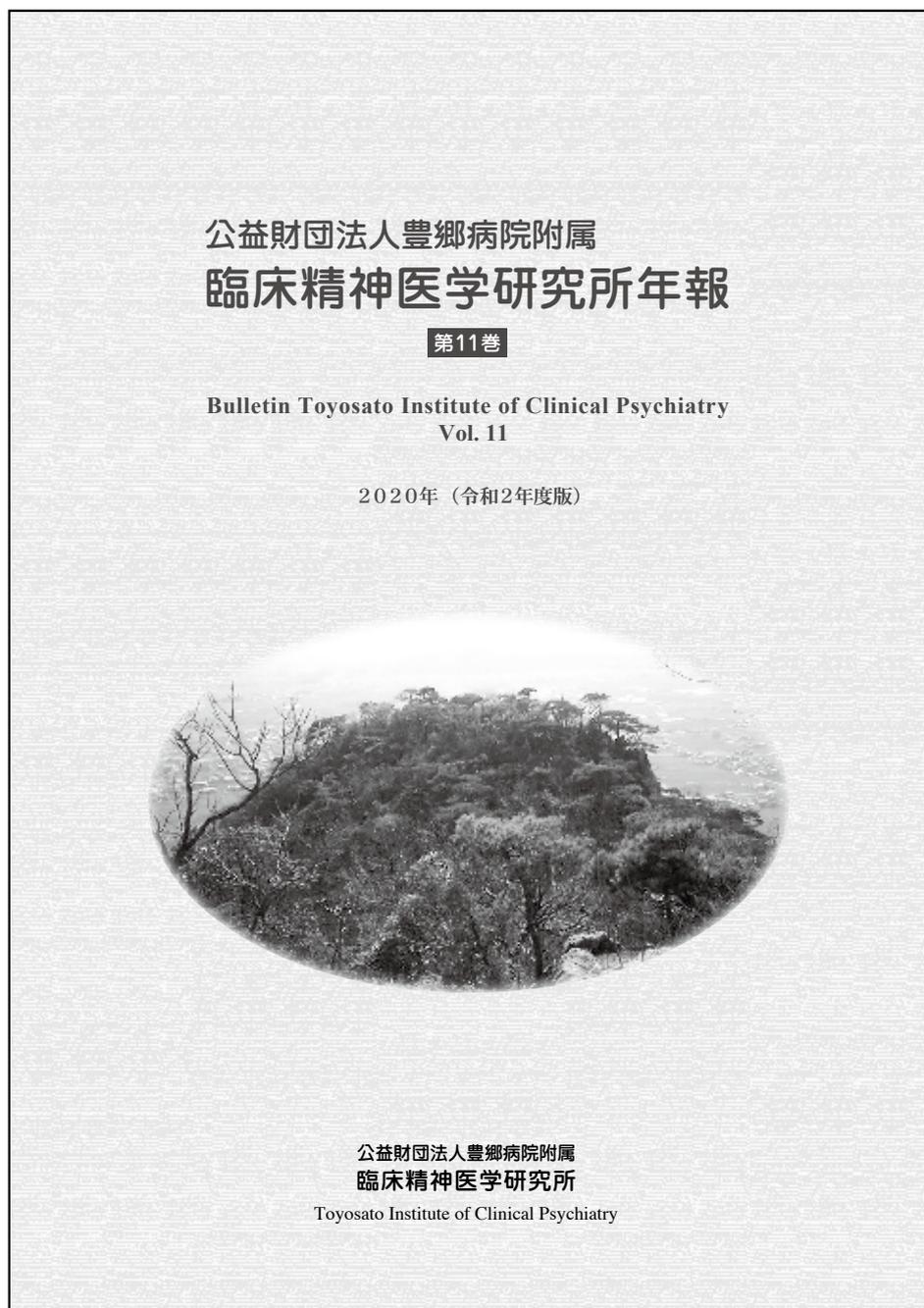
学院長	林 拓二
教務主任	川合小百合
専任教員	安居 容子
専任教員	江田 裕子
事務長	川村 宏
事務員	岸 誠子

臨床精神医学研究所 研究報告

当研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。

毎年発行する臨床精神医学研究所年報は、第10巻となりますが、2019（令和元）年度版も11月に出版し、関係各位に配布しました。

下記第11巻 2020年（令和2年度版）は現在編集中。



編集後記

昨年からの新型コロナウイルス感染症の爆発的な発生が世界規模で蔓延し、何回も形を変えて襲って来るこの恐怖を感じながら、終わる目途のないままで医療や介護の仕事を続けていかなければなりません。オリンピックも一応終了はしましたが、市中の感染者は増加の一途で未だ先行きが見通せなく、ワクチン接種も思うように進んでおりません。更に長期化と各業界の大幅な収益の減少や雇用環境の悪化など社会に「大きなダメージ」を与えております。一方、法人内におきましても患者様に大きな影響を及ぼし、業績も相当な低下に見舞われ、あらゆることの見直しや中止など、すべてが停滞致しました。そしてもう1つは社会に「大きな変化」をもたらすことになりました。これからの社会は、この変化をチャンスと捉えどう組立てていくかが大きなポイントとなりそうです。

2020（令和2）年度版vol.20の年報を発行しましたのでご高覧くださいますようお願い致します。

2021（令和3）年 8月 広報委員会

2020（令和2年度版）
公益財団法人 豊郷病院 紀要・年報
vol.20

発行 公益財団法人 豊郷病院
〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12
TEL(0749)35-3001 FAX(0749)35-2159

編集 公益財団法人 豊郷病院 広報委員会

印刷 近江印刷株式会社
滋賀県愛知郡愛荘町川原771-1
TEL(0749)42-8400(代) FAX(0749)42-6700



公益財団法人 豊郷病院

〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12

TEL. 0749(35)3001 FAX. 0749(35)2159

<http://www.toyosato.or.jp/>

E-mail:toyosato@toyosato.or.jp